



*Portable Grand™*

**DGX-205**

PORTATONE

**PSR-295**

*Portable Grand™*  
**DGX-295**  
PORTATONE

取扱説明書



# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

# 警告

## 電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの (PA-5D、PA-3C) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

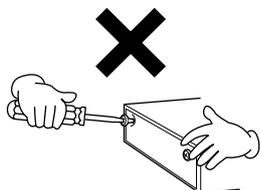
禁止

## 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

禁止



## 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

感電や火災、または故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

禁止

## 火に注意



本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

## 異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

必ず実行

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

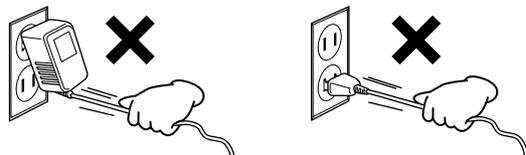
# 注意

## 電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



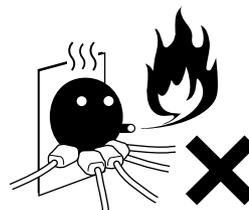
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしなさい。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



## 乾電池



乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。  
正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。

必ず実行

発熱、火災、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。  
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

禁止



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。  
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

禁止



長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。

必ず実行

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



乾電池は子供の手の届くところに置かない。  
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。  
失明や化学やけどなどのおそれがあります。

禁止

## 設置



直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。  
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

禁止



不安定な場所に置かない。  
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。

禁止



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。  
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

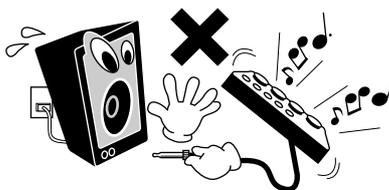
指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。  
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどは使用しない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

## 使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。  
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。  
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。

禁止



## データの保存

### 作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

パネル設定など一部のデータ (42 ページ) は、保存しないで電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータは内部のフラッシュメモリーに保存 (42 ページ) してください。また、保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、お使いのコンピュータに送信し、バックアップしておくことをおすすめします。送信方法は機能設定 (FUNCTION) の Bulk Send 項目 (64 ページ) をご覧ください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態 (電源スイッチが「切 (STANDBY)」の状態) でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本文中のイラストはことわりのない限り、DGX-205 を使用しています。PSR-295 とは鍵盤数が異なりますので、ご注意ください。  
(DGX-205 : 76 鍵、PSR-295 : 61 鍵)

- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

### 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会  
「音のエチケット」キャン  
ペーンのシンボルマークで  
す。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

## 著作権について

内蔵ソングの3曲については権利者から適正な許諾を得て使用しています。

曲名 : Don't Know Why  
作詞作曲者名 : Jesse Harris  
Copyright © 2002 Sony/ATV Songs LLC and Bearly Songs  
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music Square West, Nashville, TN 37203  
International Copyright Secured All Rights Reserved

曲名 : My Favorite Things  
from THE SOUND OF MUSIC  
作詞者名 : Oscar Hammerstein II  
作曲者名 : Richard Rodgers  
Copyright © 1959 by Richard Rodgers and Oscar Hammerstein II  
Copyright Renewed  
WILLIAMSON MUSIC owner of publication and allied rights throughout the world  
International Copyright Secured All Rights Reserved

曲名 : Killing Me Softly With His Song  
作詞者名 : Norman Gimbel  
作曲者名 : Charles Fox  
Copyright © 1972 Rodali Music and Fox-Gimbel Productions, Inc. (P.O. Box 15221, Beverly Hills, CA 90209 USA)  
Copyright Renewed  
All Rights on behalf of Rodali Music Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music Square West, Nashville, TN 37203  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**ご注意：**これらの曲の権利者の許諾なく、複製したり、公の場で演奏したり、インターネットで配信したり、放送することは、法律で禁じられています。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または付属しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

## パネルに印刷されているロゴ



### GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



### XGライト

「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



### USB

USBとは、Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)の略で、コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。また、コンピューターの電源を入れたまま周辺機器との接続ができます。

## ごあいさつ

このたびはヤマハ DGX-205、PSR-295をお買いもとめいただき、  
まことにありがとうございます。

DGX-205、PSR-295のさまざまな機能を十分に活用するために、  
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、  
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

### 付属品(お確かめください)

DGX-205、PSR-295本体には、以下のものが付属しています。ご確認ください。

- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 和文シート
- ・ アクセサリー CD-ROM
- ・ ソングブック
- ・ 電源アダプター PA-5D(DGX-205)、PA-3C(PSR-295)
- ・ 譜面立て
- ・ 保証書

#### ●付属のCD-ROMについて

この楽器に付属しているCD-ROMには、コンピューターとこの楽器を接続して使う場合に必要な以下のソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアはWindowsのみに対応しています。

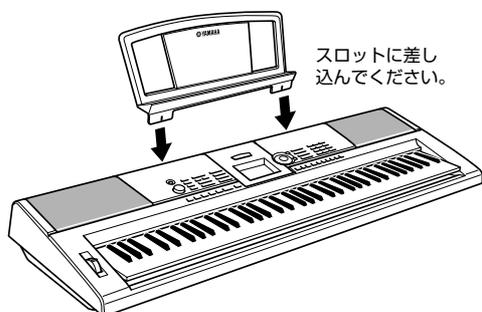
- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Musicsoft Downloader(ミュージックソフト ダウンローダー)

USB-MIDI ドライバーをインストールすると、コンピューターと電子楽器を接続して情報をやりとりできます。Musicsoft Downloaderをインストールすると、インターネットでダウンロードしたソングデータや、このCD-ROMの中にあるMIDIソングデータを、この楽器本体のフラッシュメモリーに転送できます。詳しくは『アクセサリー CD-ROM インストールガイド』(70ページ)およびそれぞれのソフトウェアに付属の電子マニュアルをご覧ください。



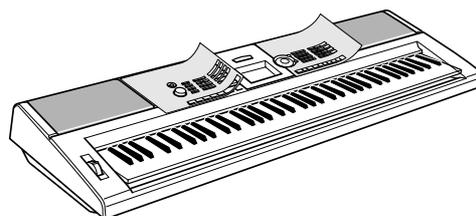
- ・ 付属のCD-ROMは、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。聴覚障害になったり、CDプレーヤーやスピーカーが破損したりするおそれがあります。

#### ●譜面立ての取り付け方



#### ●和文シート

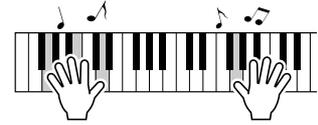
付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



~DGX-205、PSR-295のおすすめ機能~

■パフォーマンスアシスタント ▶ 14ページ

この機能をオンにして、ソングを鳴らします。そして鍵盤を弾くと…？ どの鍵盤を弾いても外れた音が鳴りません！ 両手をじゃんけんのパーの形にして右手と左手で交互に鍵盤をおさえても、なんだかオリジナルの曲を演奏しているように聞こえます。気をつけることといえば、ソングのリズムに合わせて弾くことだけ。両手を使って、ピアニスト気分演奏しましょう。



■いろいろな楽器音で弾く ▶ 18ページ

この楽器では、鍵盤を弾いたときに鳴る音を、バイオリン、フルート、ハーブなど、さまざまな楽器の音に変えられます。ピアノのために作られた曲をバイオリンの音で演奏すると、またちがった味わいを楽しめるように、楽器を変えることで一つの曲からさまざまな表情を引き出せます。



■楽しいレッスン機能 ▶ 32ページ

簡単に弾き映えのするソングや、華やかなピアノ曲など、この楽器には聞いて楽しく、弾いても楽しめるいろいろなジャンルのソングが内蔵されています。片手練習から始めることはもちろん、レッスン中は鍵盤を一つ一つ確かめるようにゆっくり弾いても大丈夫。ソングのほうがあなたの演奏テンポに合わせてくれます。インターネットからダウンロードしたソングもレッスンに使えるので、弾きたかった曲にチャレンジ。レッスン後は演奏を採点するGRADE表示で、上達ぶりを確かめちゃいましょう！

Excellen

■スタイル(伴奏)を鳴らしながら鍵盤を弾く ▶ 24ページ

賑やかに演奏したい、という人は、スタイル(自動伴奏)を使ってみてください。スタイルとは、簡単に言うとバックバンドのようなものです。ワルツや8ビート、ユーロトランスなど、さまざまなジャンルのリズムを鳴らすことができるので、それに合わせて弾いてみてください。演奏がぐっと華やかになります。

PopBossa  
080

# もくじ

著作権について.....	6
パネルに印刷されているロゴ.....	6
付属品(お確かめください).....	7
~DGX-205、PSR-295のおすすめ機能~.....	8
<b>演奏の準備</b> .....	<b>10</b>
電源の準備.....	10
ヘッドフォン/外部出力端子について.....	11
フットスイッチの接続(SUSTAIN端子).....	11
コンピューターとの接続(USB端子).....	11
電源を入れる.....	11
<b>各部の名称</b> .....	<b>12</b>
フロントパネル.....	13
リアパネル.....	13
<b>クイックガイド</b> .....	<b>14</b>
<b>ピアニスト気分を満喫しよう!</b> .....	<b>14</b>
両手で華やかに弾いてみよう.....	14
ソングのテンポを変えたい場合は.....	17
デモソングを鳴らしてみよう.....	17
<b>いろいろな楽器音で弾いてみよう</b> .....	<b>18</b>
楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう.....	18
2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう.....	19
右手と左手で違う楽器音(ボイス)を弾く.....	20
グランドピアノの音で弾いてみよう.....	22
ピッチベンドを使ってみよう(DGX-205のみ).....	22
鍵盤を押さえる強弱で音量を変える.....	22
<b>面白い音を鳴らそう</b> .....	<b>23</b>
ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう.....	23
おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう.....	23
<b>スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう</b> .....	<b>24</b>
スタイルを鳴らして自分も演奏しよう.....	24
ハーモニー音を加える.....	26
スタイルのいろいろなスタート方法とストップ方法.....	28
<b>ソングの使い方</b> .....	<b>30</b>
ソングを選んで聞いてみよう.....	30
ソングの種類.....	31
<b>曲を選んでレッスンしてみよう</b> .....	<b>32</b>
レッスン1:正しい音を弾く.....	32
レッスン2:タイミングを合わせて正しい音を弾く.....	34
レッスン3:ソングに合わせて正しい音とタイミングで弾く.....	35
くり返し練習しよう.....	35
<b>ソングの雰囲気を変えてみよう</b> .....	<b>36</b>
イージーソングアレンジャー機能を使う.....	36
<b>自分の演奏を録音しよう</b> .....	<b>38</b>
トラックの構成.....	38
録音の手順.....	39
ユーザーソングの消去(ソングクリア).....	41
ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア).....	41
<b>バックアップと初期化</b> .....	<b>42</b>
バックアップ.....	42
初期化.....	42
<b>基本操作と画面表示</b> .....	<b>43</b>
基本操作.....	43
画面の表示について.....	45

<b>リファレンス</b> .....	<b>46</b>
<b>演奏するときの便利な機能</b> .....	<b>46</b>
リバーブ効果をかける.....	46
コーラス効果をかける.....	47
メトロノームを鳴らす.....	48
鍵盤を弾く強弱で音量を変える.....	49
ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS).....	49
音色を微調整する.....	50
ハーモニー音量を変える.....	50
パネルサステイン.....	50
<b>スタイル(自動伴奏)に関する機能</b> .....	<b>51</b>
スプリットポイントの設定.....	51
スタイルのリズムだけを鳴らす.....	51
リズムなしでコード音を鳴らす.....	52
スタイル音量の設定.....	52
伴奏コードの押さえ方.....	53
コードディクショナリーでコードを調べる.....	55
<b>ソングの再生に関する設定</b> .....	<b>57</b>
ソング音量の設定.....	57
ソングの一部をくり返して聞く.....	57
ソングの一部をミュート(消音)する.....	57
ソングのキーを変える.....	58
ソングを早送り、巻き戻し、一時停止するには.....	58
メロディ音色を変える.....	59
<b>好みのパネル設定を記憶させよう</b> .....	<b>60</b>
レジストレーションメモリーに記録する.....	60
<b>機能設定(FUNCTION)</b> .....	<b>62</b>
各設定の変更.....	62
<b>コンピューターと接続してお使いになりたい方へ</b> .....	<b>65</b>
MIDIとは.....	65
コンピューターとの接続.....	66
MIDI設定.....	66
コンピューターと接続する際のMIDI設定(PCモード).....	67
パソコンからのソングファイルの転送.....	67
<b>アクセサリー CD-ROMインストールガイド</b> .....	<b>70</b>
CD-ROMの内容.....	70
ソフトウェアの動作環境.....	71
ソフトウェアのインストール.....	71
<b>資料</b> .....	<b>75</b>
故障かな?と思ったら.....	75
仕様一覧.....	77
楽器リスト.....	78
ドラムキットリスト.....	82
スタイルリスト.....	84
ソングリスト.....	85
エフェクトタイプリスト.....	86
MIDIインプリメンテーション・チャート.....	87
MIDIデータフォーマット.....	88
さくいん.....	89
保証とアフターサービス.....	91



# 演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

## 電源の準備

この楽器は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

### ■家庭用コンセントから電源をとるときは

- 1 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている)ことを確認してください。



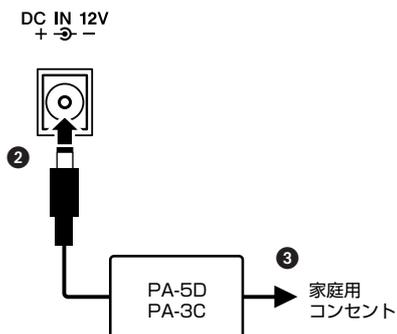
- ・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプターPA-5D、PA-3Cをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。

- 3 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



- ・長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。

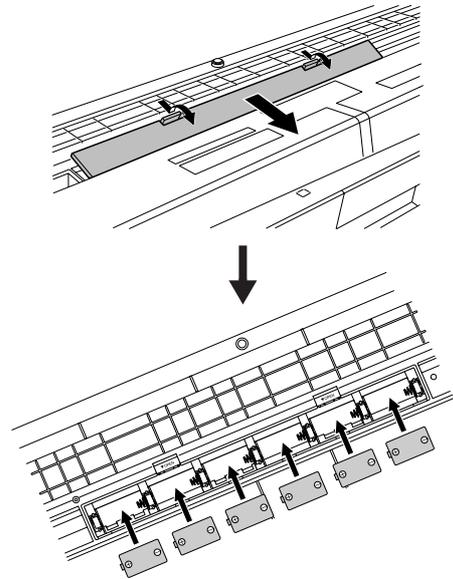


### ■乾電池を使うときは

- 1 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池プタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。乾電池はマンガン電池かアルカリ電池を使用してください。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池プタを閉めます。

#### NOTE

- ・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。



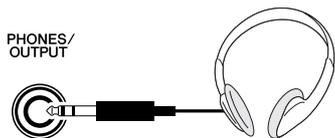
乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、画面左上に電池交換の表示が出ます。この表示がされたら、必要なデータを保存(42ページ)したあとで、以下のことに注意して、ただちに乾電池を交換してください。必要に応じてバックアップ(42ページ)を行なってください。



- ・乾電池はマンガン電池かアルカリ電池を使用してください。それ以外の電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。フラッシュメモリーへのデータ転送中に電池残量が急激に減ると、転送中のデータだけでなく、転送先にあったデータの読み出しができなくなるおそれがあります。
- ・乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ・乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ・長時間使用しない場合や、乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- ・フラッシュメモリーにデータを転送する場合は、電源アダプターをご使用ください。乾電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。フラッシュメモリーへのデータ転送中に電池残量が急激に減ると、転送中のデータだけでなく、転送先にあったデータが失われますので、ご注意ください。

以下の接続は必要に応じて、**電源を入れる前**に行ないます。

## ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的にDGX-205、PSR-295のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT 端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、DGX-205、PSR-295の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

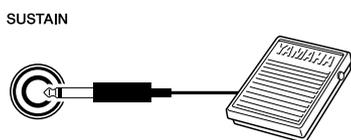


・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



・DGX-205、PSR-295を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

## フットスイッチの接続(SUSTAIN端子)

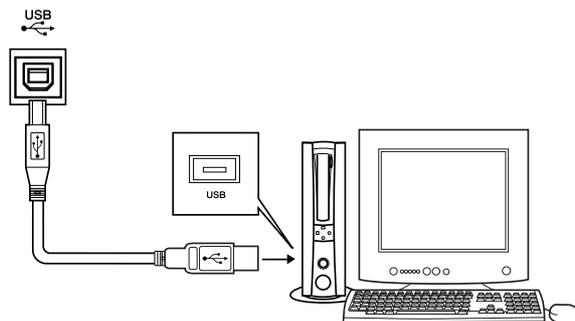


別売りのフットスイッチ(FC5またはFC4)をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。

### NOTE

- ・フットスイッチを使用するときは、SUSTAIN端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

## コンピューターとの接続(USB端子)



この楽器のUSB端子を使うと、お使いのコンピューターとこの楽器のあいだで演奏情報やソングファイルのやりとりができます(66ページ)。そのためには以下の操作が必要です。

- ・この楽器のUSB端子とコンピューターのUSB端子を、USBケーブルで接続する
- ・コンピューターに「USB-MIDIドライバー」をインストールする

「USB-MIDIドライバー」のインストール方法は71ページをご参照ください。

またコンピューター上のソングファイルを、この楽器のフラッシュメモリーへコピーするときは、「Musicsoft Downloader」をご使用ください(73ページ)。

なお、「USB-MIDIドライバー」および「Musicsoft Downloader」は付属のCD-ROMに入っています。

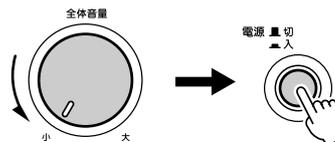
### NOTE

- ・USBケーブルは楽器店、電気店などで買い求めください。

## 電源を入れる

[全体音量](MASTER VOLUME)を左に回し、音量を最小にしておいてから、[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れます。

もう一度押すと電源が切れます。



この楽器では電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータ(42ページ)があれば、そのデータを読み込みます。電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータがなければ各バックアップ項目は初期値になります。



- ・[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチが切れている状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



- ・書き込み中は、電源を切らないでください。本体内のデータが失われるおそれがあります。



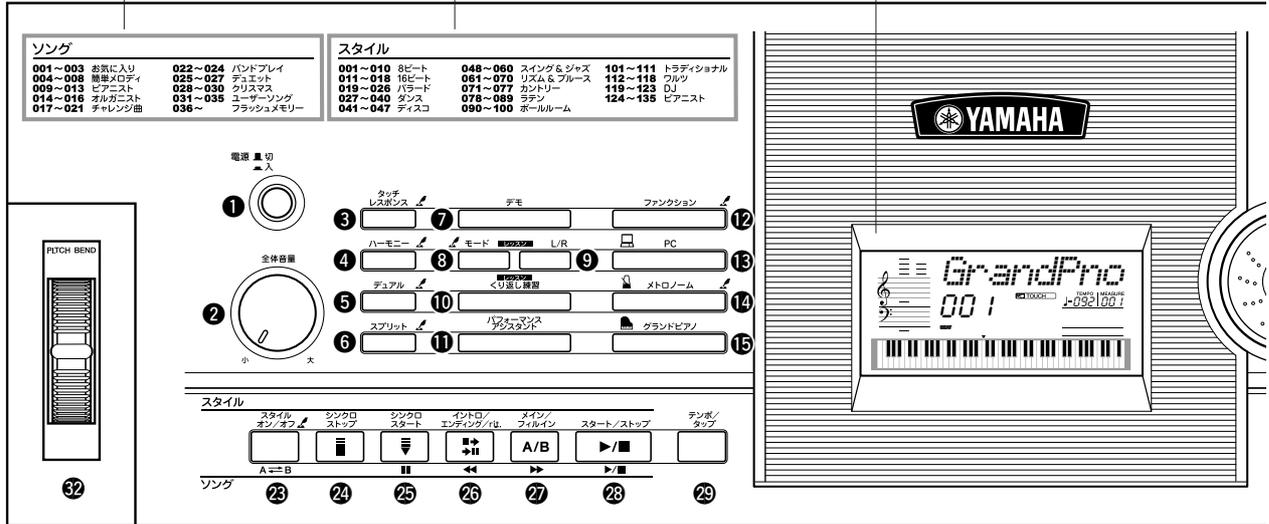
# 各部の名称

## DGX-205のフロントパネル

ソングカテゴリリスト  
(31、85ページ)

スタイルカテゴリリスト  
(84ページ)

画面  
(45ページ)

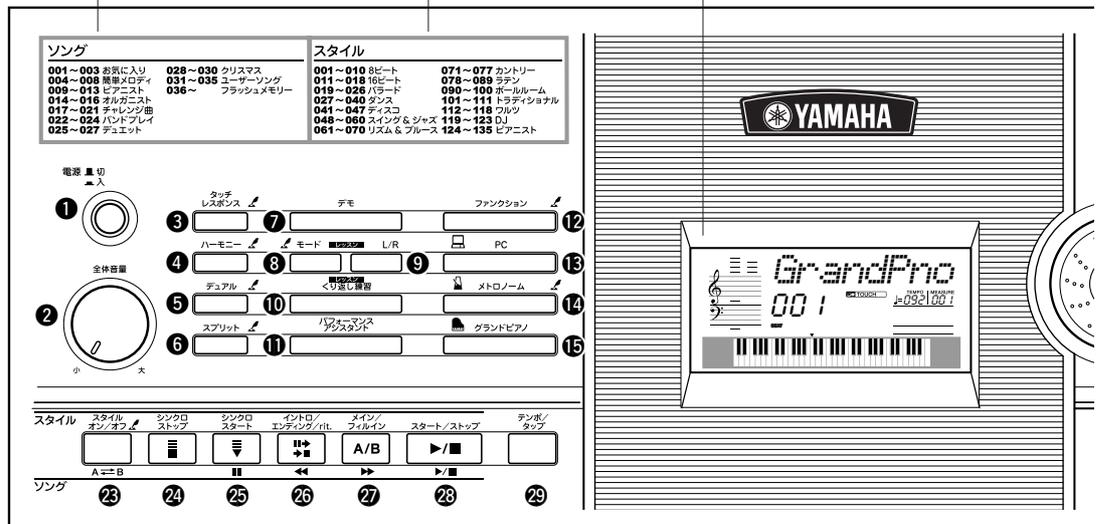


## PSR-295のフロントパネル

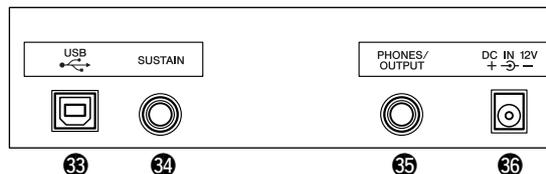
ソングカテゴリリスト  
(31、85ページ)

スタイルカテゴリリスト  
(84ページ)

画面  
(45ページ)



## DGX-205/PSR-295のリアパネル



楽器カテゴリーリスト  
(78ページ)

楽器			
001~006 ピアノ	040~047 ベース	082~087 プラス	115~126 ドラムキット
007~012 エレピ	048~059 ストリングス	088~094 フルード	127~487 XGlite
013~025 オルガン	060~063 コーラス	095~101 シンセリード	000 OTS
026~029 アコーディオン	064~074 サックス	102~106 シンセパッド	
030~039 ギター	075~081 トランペット	107~114 パーカッション	

↑-長く押す

メモリ: ● 1 2 ● 録音 右手 左手 スタイル  
パンク レジストレーションメモリー ソングメモリー クリア

30 31

楽器カテゴリーリスト  
(78ページ)

楽器			
001~006 ピアノ	060~063 コーラス	107~114 パーカッション	
007~012 エレピ	064~074 サックス	115~126 ドラムキット	
013~025 オルガン	075~081 トランペット	127~487 XGlite	
026~029 アコーディオン	082~087 プラス	000 OTS	
030~039 ギター	088~094 フルード		
040~047 ベース	095~101 シンセリード		
048~059 ストリングス	102~106 シンセパッド		

↑-長く押す

メモリ: ● 1 2 ● 録音 右手 左手 スタイル  
パンク レジストレーションメモリー ソングメモリー クリア

30 31

フロントパネル

- ① [電源 切/入] (STANDBY/ON)スイッチ ..... 11 ページ
- ② [全体音量] (MASTER VOLUME) コントロール ..... 11、15 ページ
- ③ [タッチレスポンス] (TOUCH) ボタン ..... 22、49 ページ
- ④ [ハーモニー] (HARMONY) ボタン ..... 26 ページ
- ⑤ [デュアル] (DUAL) ボタン ..... 19 ページ
- ⑥ [スプリット] (SPLIT) ボタン ..... 20 ページ
- ⑦ [デモ] (DEMO) ボタン ..... 17 ページ
- ⑧ [レッスンモード] (LESSON MODE) ボタン ..... 33 ページ
- ⑨ [レッスンL/R] (LESSON L/R) ボタン ..... 32 ページ
- ⑩ [くり返し練習] (LESSON REPEAT & LEARN) ボタン ..... 35 ページ
- ⑪ [パフォーマンス アシスタント] (PERFORMANCE ASSISTANT) ボタン ..... 14 ページ
- ⑫ [ファンクション] (FUNCTION) ボタン ..... 62 ページ
- ⑬ [PC] ボタン ..... 67 ページ
- ⑭ [メトロノーム] (METRONOME) ボタン ..... 48 ページ
- ⑮ [グランドピアノ] (PORTABLE GRAND) ボタン... 22 ページ
- ⑯ ダイヤル ..... 44、62 ページ
- ⑰ カテゴリーボタン [▲]、[▼] ..... 44、62 ページ
- ⑱ [ソング] (SONG) ボタン ..... 30 ページ
- ⑲ [簡単ソングアレンジ] (EASY SONG ARRANGER) ボタン ..... 36 ページ
- ⑳ [スタイル] (STYLE) ボタン ..... 24 ページ
- ㉑ [楽器] (VOICE) ボタン ..... 18 ページ
- ㉒ [0]~[9]ボタン、[+]ボタン、[-]ボタン ..... 44、62 ページ
- ㉓ [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF)/ [A ⇄ B] (ABリピート) ボタン ..... 24、57 ページ
- ㉔ [シンクロストップ] (SYNC STOP) ボタン ..... 28 ページ
- ㉕ [シンクロスタート] (SYNC START)/ [||] (一時停止) ボタン ..... 25、58 ページ
- ㉖ [イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.)/[◀◀] (巻戻し) ボタン ..... 25、58 ページ
- ㉗ [メイン/フィルイン] (MAIN/AUTO FILL)/ [▶▶] (早送り) ボタン ..... 26、58 ページ
- ㉘ [スタート/ストップ] (START/STOP)/ [▶/■] ボタン ..... 24、30、44 ページ
- ㉙ [テンポ/タップ] (TEMPO/TAP) ボタン ..... 17 ページ
- ㉚ レジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY) [●] (メモリー /パンク)、[1]、[2] ボタン ..... 60 ページ
- ㉛ ソングメモリー (SONG MEMORY) [録音] (REC)、[1]~[5]、[A] ボタン ..... 39 ページ
- ㉜ ピッチバンドホイール (DGX-205のみ) ..... 22 ページ

リアパネル

- ③③ USB端子 ..... 11、66 ページ
- ③④ SUSTAIN端子 ..... 11 ページ
- ③⑤ PHONES/OUTPUT端子 ..... 11 ページ
- ③⑥ DC IN 12V端子 ..... 10 ページ



# ピアニスト気分を満喫しよう!

この楽器にはパフォーマンスアシスタントという機能が内蔵されています。ソングを鳴らしながらこの機能を使えば、どんな風に弾いても外れた音が出ません。でたらめに弾いても、きれいな和音やフレーズのような音が鳴ります。ピアノが弾けなくても、譜面が読めなくても大丈夫。さあ、やってみましょう!

パフォーマンスアシスタントのタネあかしは、16ページにあります。演奏を楽しんだあと、ご覧ください。

## 両手で華やかに弾いてみよう

パフォーマンスアシスタントを使うには、必ず「コード情報」が含まれたソングを鳴らす必要があります。16ページをご覧ください。

### 1 [ソング](SONG) ボタンを押します

ソング名とソング番号が表示されます。ダイヤルなどを使って、別のソングを選択できる状態にあります。

#### NOTE

・コードの詳細は53、54ページにあります。

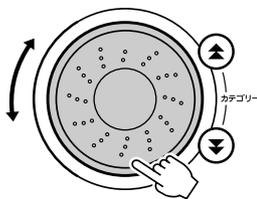


### 2 ソングを選びましょう

画面を見ながらダイヤルをまわし、好きなソングを選びます。ここでは「026 Twinkle (きらきら星)」を選んでみましょう。

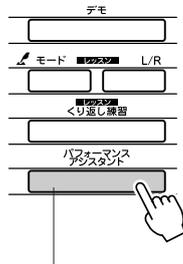
#### NOTE

・アクセサリ CD-ROMの中  
のMIDIソングを楽器に転送  
すると、パフォーマンスアシ  
スタント機能が使えます。(16、  
67ページ)



### 3 [パフォーマンス アシスタント](PERFORMANCE ASSISTANT) ボタンを押します

パフォーマンスアシスタント機能がオンになります。「PERFORMANCE ASSISTANT」と表示され、アイコンが表示されます。



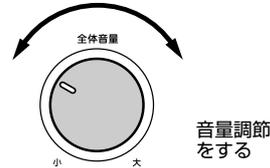
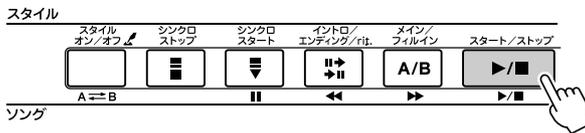
[パフォーマンスアシスタント]  
(PERFORMANCE ASSISTANT)  
ボタンを押すたびに、オン/オフが  
切り替わります。



パフォーマンスアシスタント機能がオン  
になると、アイコンが表示されます。

#### 4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します

ソングの再生が始まります。  
音量は[全体音量](MASTER VOLUME)で調整します。

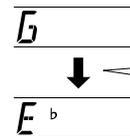


#### 5 鍵盤を弾いてみましょう

まずは、ソングのリズムを感じてください。両手をじゃんけんのパーの形にして、ソングのリズムに合わせて、そのまま交互に鍵盤を押さえて音を鳴らしてください。押さえる鍵盤はどこでもかまいません。



おや！  
音がハズれて  
ない！

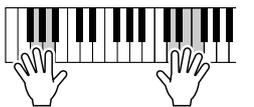


コードの変わり目に  
合わせて左手を弾くと、  
演奏がより本格的に  
聞こえます

どうでしょう？どこを弾いても外れた音が鳴りませんね。  
これが『パフォーマンスアシスタント機能』です！

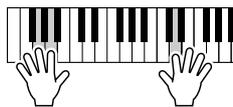
次は、以下の3通りの弾き方を試してみてください。弾き方がちがうと鳴る音も変わります。

●左手と右手を同じタイミングで弾く(1)



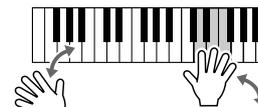
右手は一度に3音  
まとめて弾く

●左手と右手を同じタイミングで弾く(2)



右手は「人さし指→中指→薬指」  
のように1音ずつ弾く

●左手と右手を交互に弾く



右手は一度に3音  
まとめて弾く

慣れてきたら、左手は和音、右手は単音で弾くなど、いろいろな弾き方で楽しみましょう！

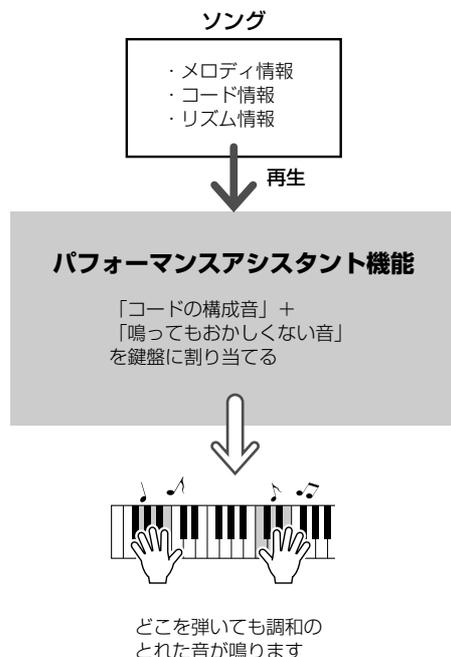
ソングを最後まで再生すると、ソングは自動的にストップします。  
また曲の途中でも[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングはストップします。  
パフォーマンスアシスタント機能を終了する場合は、[パフォーマンスアシスタント](PERFORMANCE ASSISTANT)ボタンを押します。

～パフォーマンスアシスタントの🎵🎹🎵～

## なぜでたらめに弾いてもちゃんとした音が鳴るの？

ソングの中に含まれた「コード情報」をパフォーマンスアシスタント機能が読み取って、「そのときに鳴ってもおかしくない音」だけを鍵盤に割り当てるからです。

コードが変われば鍵盤に割り当てられる音も変わりますから、同じ鍵盤を弾いていても、曲の進行に合わせて自動的に音の高さが変わっていきます。



### ●パフォーマンスアシスタント機能を使えるソング

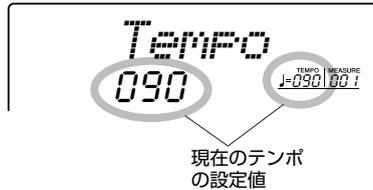
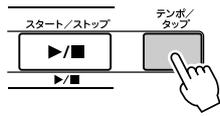
「コード情報」が含まれたソングでなければパフォーマンスアシスタント機能は使えません。内蔵ソング30曲はすべてコードを含んでいるので、パフォーマンスアシスタント機能が使えます。

### ●内蔵曲以外のソングで機能を試したい

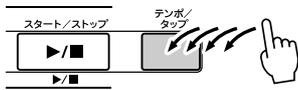
内蔵ソング30曲に加えて、付属のアクセサリーCD-ROMの中にあるMIDIソング70曲も楽器に転送するとパフォーマンスアシスタント機能が使えます。アクセサリーCD-ROMに入っているMIDIソングのリストは85ページにあります。インターネットからダウンロードしたソングも、コード情報を含んでいれば、パフォーマンスアシスタント機能を使うことができます。使いたいソングファイルをコンピューターからこの楽器のフラッシュメモリーに転送します。楽器への転送方法は68ページをご覧ください。

## ソングのテンポを変えたい場合は

パフォーマンスアシスタント機能を使っている場合などに、ソングのテンポが速すぎる(遅すぎる)と感じたら、ソングのテンポを変えてみましょう。**[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)** ボタンを押します。テンポが表示されるので**ダイヤル**や**[+]**、**[-]** ボタン、または数字の**[0]~[9]** ボタンでテンポ(♩=032~280)を変更します。



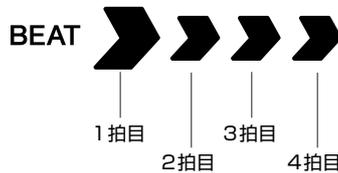
また、4拍子のソングなら4回、3拍子なら3回、**[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)** ボタンを押してテンポを設定することもできます。ゆっくり押すとテンポはゆっくりに、素早く押すとテンポは速くなります。ソング再生中は、2回押すとテンポが変わります。



設定前のテンポに戻したいときは**[+]**、**[-]** ボタンを同時に押します。

### ●ビート表示について

演奏中は、テンポに合わせて4つの矢印(4拍子の場合)が点滅します。



## デモソングを鳴らしてみよう デモ DEMO

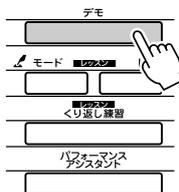
DGX-205、PSR-295には、デモソング3曲を含む、プリセットソングが30曲入っています。この楽器の機能をフルに使ったデモソングを聞いてみましょう。デモソングを鳴らしながら、パフォーマンスアシスタント機能を使うこともできます。

### [デモ] (DEMO) ボタンを押します

デモソングが始まります。

ソング番号001→002→003→001→…の順番でくり返し再生します。

デモソングを終了する場合は、**[スタート/ストップ](START/STOP)** ボタンを押します。





# いろいろな楽器音で弾いてみよう

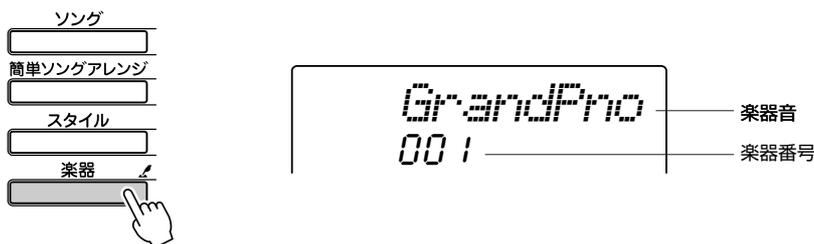
この楽器ではピアノやオルガンはもちろん、ギター、ベース、ストリングス、サクソフーン、トランペット、ドラムやパーカッション、効果音など、さまざまな楽器音(ボイス)を使って演奏することができます。

## 楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう メイン MAIN

鍵盤を押したときに鳴る基本の楽器音を選びます。ここで選ぶ楽器音のことをメインボイスと呼びます。

### 1 [楽器] (VOICE) ボタンを押します

楽器音の番号と名前が表示されます。  
ダイヤルを使って別の楽器音を選べる状態にあります。

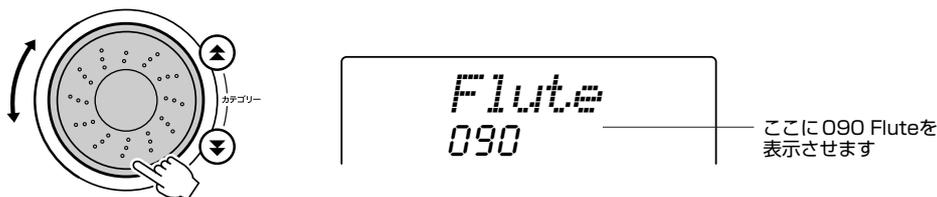


### 2 鳴らしたい楽器音を選びます

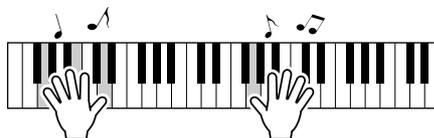
画面を見ながら、**ダイヤル**をまわしてみてください。  
番号と楽器音が次々に表示されます。表示された楽器音がメインボイスになります。  
ここでは「090 Flute(フルート)」を選んでみましょう。

#### NOTE

・ カテゴリーボタン [▲]、[▼] を押して、各カテゴリーから楽器音を選ぶこともできます。(44ページ)



### 3 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろな音を変えて楽しみましょう。

## 2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう デュアル DUAL

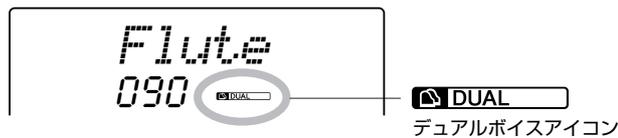
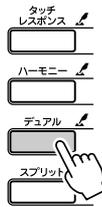
鍵盤を弾いたときに、メインボイスに加えてもう1つ別の楽器音を重ねて鳴らすことができます。メインボイスに加えて鳴らすこの楽器音をデュアルボイスと呼びます。

### 1 [デュアル](DUAL) ボタンを押します

[デュアル](DUAL) ボタンでデュアルボイスのオン/オフを切り替えます。オンにすると画面にデュアルボイスアイコンが表示されます。鍵盤を弾くと、現在選択されているデュアルボイスが鳴ります。

**NOTE**

・ソングレッスン(32ページ)中はデュアルボイスは使えません。

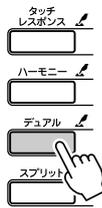


### 2 [デュアル](DUAL) ボタンを1秒以上押します

「D. Voice」と数秒表示されたあと、デュアルボイスが表示されます。

**NOTE**

・[ファンクション](FUNCTION) ボタンを押したあと、カテゴリーボタン[▲]、[▼]でD. Voice項目に移動し、デュアルボイスを選ぶことができます。

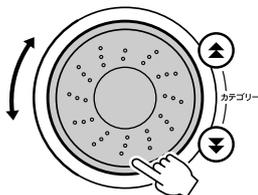


1秒以上押す

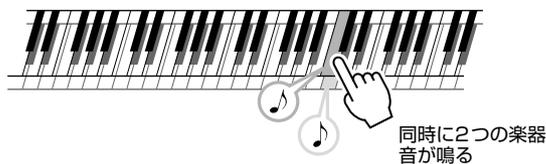


### 3 重ねたい楽器音(デュアルボイス)を選びます

画面を見ながら、**ダイヤル**をまわしてみてください。番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音がデュアルボイスになります。ここでは「107 Vibraphone(ビブラフォン)」を選んでみましょう。



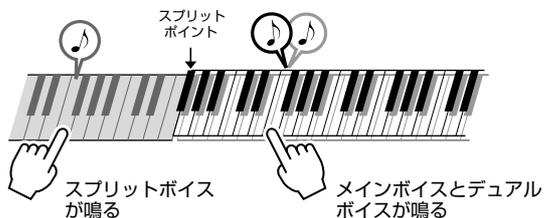
## 4 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろな音を変えて楽しみましょう。

## 右手と左手で違う楽器音(ボイス)を弾く スプリット SPLIT

鍵盤のスプリットポイントを境に、右側の鍵盤と左側の鍵盤で別の楽器音を鳴らします。右側の鍵盤で鳴る楽器音をメインボイスとデュアルボイスといい、左側の鍵盤で鳴る楽器音をスプリットボイスと呼びます。スプリットポイントの設定は変更できます(51ページ)。

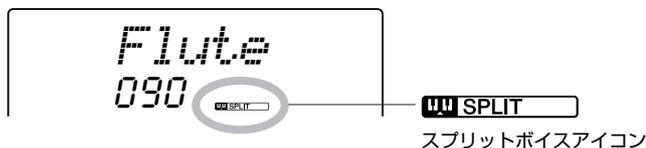


### 1 [スプリット](SPLIT) ボタンを押します

[スプリット](SPLIT) ボタンでスプリットボイスのオン/オフを切り替えます。オンにすると画面にスプリットボイスアイコンが表示されます。スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、現在選択されているスプリットボイスが鳴ります。

**NOTE**

・ソングレッスン(32ページ)中はスプリットポイントは使えません。

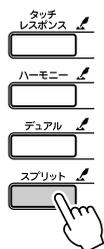


### 2 [スプリット](SPLIT) ボタンを1秒以上押します

「S. Voice」と数秒表示されたあと、スプリットボイスが表示されます。

**NOTE**

・[ファンクション](FUNCTION)ボタンを押したあと、カテゴリーボタン[▲]、[▼]でS. Voice項目に移動し、スプリットボイスを選ぶこともできます。



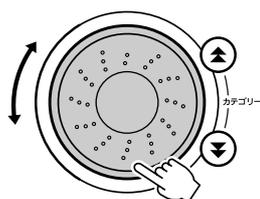
1秒以上押す



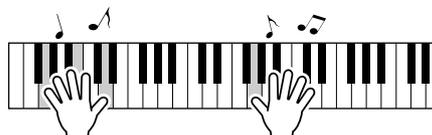
### 3 左側の鍵盤で鳴らしたい音(スプリットボイス)を選びます

画面を見ながら、**ダイヤル**をまわしてみてください。

番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音が左側の鍵盤の音になります。ここでは「031 Folk Guitar(フォークギター)」を選んでみましょう。



### 4 鍵盤を弾いてみましょう



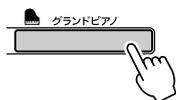
いろいろ音を変えて楽しみましょう。

## グランドピアノの音で弾いてみよう グランドピアノ PORTABLE GRAND

「とにかくピアノの音で弾きたい」というときに便利なボタンです。

### [グランドピアノ](PORTABLE GRAND)ボタンを押します

楽器音が001 グランドピアノの音色になります。



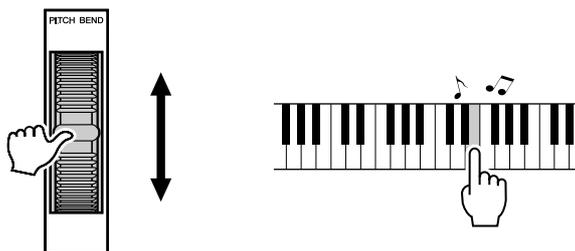
**NOTE**

・[グランドピアノ]  
(PORTABLE GRAND)ボタン  
を押すと、タッチレスポンス  
以外はすべてオフになりま  
す。デュアルやスプリットも  
オフになるので、どの鍵盤を  
弾いてもピアノの音になりま  
す。

## ピッチベンドを使ってみよう (DGX-205のみ) ピッチベンド PITCH BEND

ピッチベンドは鍵盤で弾いた音の音程を滑らかに変化(アップ、またはダウン)させる機能です。

押鍵中にピッチベンドホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。鍵盤の楽器音をたとえば「038 Overdriven(オーバードライブ ギター)」というギターの音色に変えて(18ページ参照)この機能を使うと、とても弦楽器らしい演奏になります。(ピッチベンドはDGX-205だけの機能です。PSR-295にはピッチベンドは付いていません。)



## 鍵盤を押さえる強弱で音量を変える タッチレスポンス TOUCH

「タッチレスポンス」という機能です。鍵盤を強く弾いたときと弱く弾いたときとで、音量に差ができるので、ピアノのように微妙なタッチニュアンスを鍵盤で表現することができます。タッチレスポンスをオフにすると、鍵盤を弾く強さに関係なく、一定音量で演奏できます。

### [タッチレスポンス](TOUCH)ボタンを押します

[タッチレスポンス](TOUCH)ボタンでタッチレスポンスのオン/オフを切り替えます。通常はオンになっています。オンにすると画面にタッチレスポンスアイコンが表示されます。

**NOTE**

・タッチ感度を3段階で設定できます。(49ページ)





# 面白い音を鳴らそう

この楽器には、ドラムキット(打楽器音)や、パーティや余興で使えるユニークな効果音が満載されています。笑い声、小川のせせらぎ、ジェット機の轟音、お化け屋敷のような不気味な扉のきしみ音…。楽しい効果音を使って、パーティを盛り上げましょう！

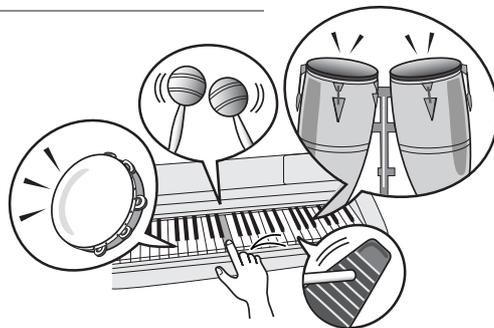
## ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう

ドラムキットとはさまざまな打楽器音の集合体です。メインボイスにバイオリンなど通常の楽器音を選択した場合は、各鍵盤はバイオリンの音しか鳴りませんが、メインボイスにドラムキットを選ぶと、各鍵盤を押したときにそれぞれ異なった打楽器の音が鳴ります。

### ◆ドラムキットを選ぶ手順⇒(18ページ手順1、2参照)

- 1 [楽器](VOICE) ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「115 Std.Kit1」を選びます
- 3 打楽器音を鳴らしましょう

黒鍵も含めて順に弾いていくと、トライアングルやマラカス、ボンゴやドラムなど、さまざまな打楽器の音が鳴ります。ドラムキット(楽器番号115~126)の詳細については82ページの「ドラムキットリスト」をご覧ください。

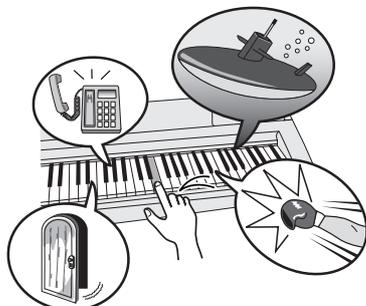


## おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう

効果音(楽器番号125、126)はドラムキットの一部です。楽器音に125や126を選ぶと、各鍵盤を押したとき、さまざまな効果音が鳴ります。

### ◆おもしろい効果音を選ぶ手順⇒(18ページ手順1、2参照)

- 1 [楽器](VOICE) ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「126 SFX Kit2」を選びます
- 3 効果音を鳴らしましょう



黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみてください。海底を潜行する潜水艦の音、電話の呼び出し音、扉のきしむ音、人の笑い声など、さまざまな音が鳴ります。「125 SFX Kit1」を選ぶと、雷雨や水のせせらぎ、嵐、犬の鳴き声などが楽しめます。(効果音が割り当てられていないので、鳴らない鍵盤もあります。) SFXキットの詳細については83ページの「ドラムキットリスト」のSFX Kit1、2の欄をご覧ください。





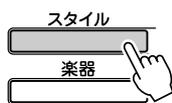
# スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう

この楽器には、左手でコードを押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らす、自動伴奏機能があります。リズムや拍子、アレンジが異なるスタイルが135種類も用意されています。(84ページのスタイルリストをご覧ください)。ここでは、この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

## スタイルを鳴らして自分も演奏しよう スタイル STYLE

### 1 [スタイル](STYLE)ボタンを押します

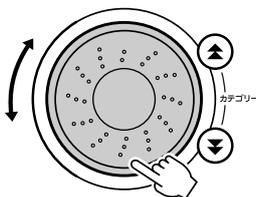
スタイル番号とスタイル名が表示されます。ダイヤルを使って別のスタイルが選べる状態にあります。



現在選ばれているスタイル番号とスタイル名

### 2 使いたいスタイルを選びます

ダイヤルを回して好きなスタイルを選びます。ここでは「080 PopBossa(ポップボサ)」を選んでみましょう。



### 3 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

選ばれているスタイルのリズムだけがスタートします。



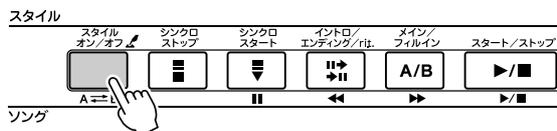
スタイルのリズムがスタート!

### 4 もう一度 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

スタイルのリズムがストップします。

### 5 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押します

スタイルがオン(25ページ)になります。ACMP ONが表示されていることを確認してください。



**ACMP ON**  
スタイルがオンになると、表示されます

#### NOTE

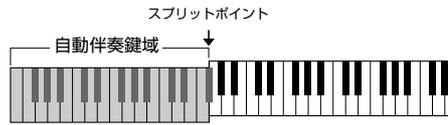
- ・112番のスタイルと、124～135番(ピアニストカテゴリー)のスタイルは、リズムパートを含まないのでリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオン(25ページ)にした状態で28ページのスタート操作を行なうと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

#### NOTE

- ・ACMP ONが表示されていない場合は、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押して、オンにしてください。[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押すたびに、スタイルのオン/オフが切り替わります。

●スタイルがオンになると？

スプリットポイントより左側が、コードを押さえるための鍵域になります。この状態の領域を「自動伴奏鍵域」と呼びます。



この状態で[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとスタイルのリズムだけがスタートします。さらに自動伴奏鍵域でコードを押さえると、リズムだけでなく、コード音やベース音などすべてを含んだスタイルがスタートします。また、28ページにあるように、さまざまな方法でスタイルをスタートさせることができます。

**NOTE**

・自動伴奏鍵域は、スプリットポイントの設定を変える(51ページ)ことで変更できます。

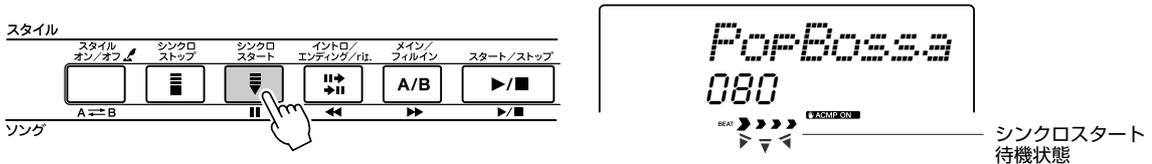
**6** [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押します

画面に“INTRO→A” (またはINTRO→B)と表示されます。伴奏がスタートしたらイントロを再生し、そのあとメインパターンA(またはB)を再生するという設定です。



**7** [シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押します

ビート表示が点滅します。(シンクロスタート待機状態)



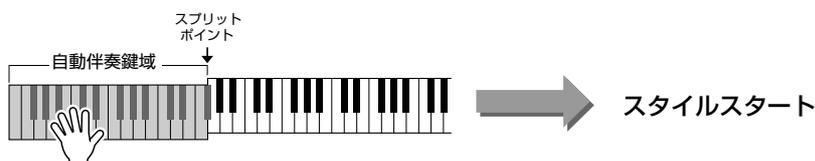
●シンクロスタート待機状態とは？

自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートする状態のことです。シンクロスタート待機状態で、[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。

**8** 自動伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします

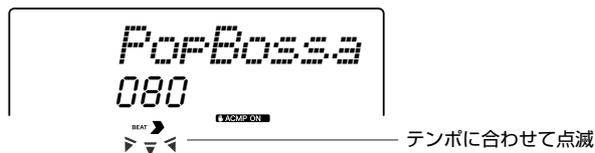
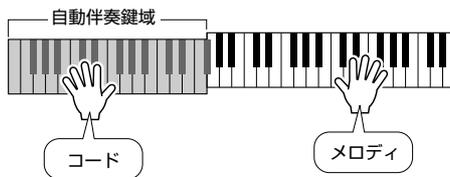
コードを知らない？大丈夫です！この楽器は、鍵盤を1つ押さえただけで「コードが押さえられた」と認識してくれます。詳しいコードの押さえ方は、53ページをご覧ください。

また、コード名を入力すると、どの鍵盤を押さえればよいかを教えてくれる「コードディクショナリー」(55ページ)という機能もあります。



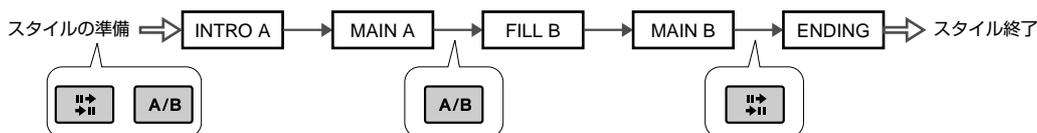
## 9 スタイルに合わせて弾いてみましょう

左手(自動伴奏鍵域)でコードを押さえ、右手でメロディを弾きましょう。  
ビート表示がテンポに合わせて点滅します。



また、スタイルのメインパターンにはAとBの2つのパターンがあります。  
曲中で[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すと、フィルインが鳴った後、もう一方のメインパターンに切り替わります。

### ●ボタンを押して設定するスタイルパターンの1例



## 10 [イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押してスタイルを終了

曲のエンディングにふさわしいフレーズのあと、スタイルが停止します。



## ハーモニー音を加える HARMONY

演奏音(メインボイス)にハーモニー音を加えることができます。

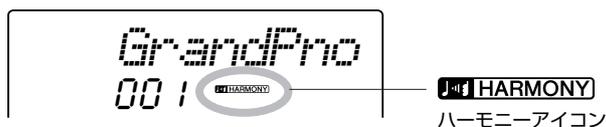
[ハーモニー](HARMONY) ボタンを押してオンにすると、そのとき選ばれているメインボイスに最適なハーモニータイプが自動的に選択されます。ハーモニータイプは26種類あります。メインボイスに関係なくハーモニータイプを選びたいときは、以下の手順で選択してください。ハーモニーのタイプにより、効果の内容や動作条件が異なります。詳しくは、86ページのハーモニータイプリストをご覧ください。

### 1 [ハーモニー](HARMONY) ボタンを押します

[ハーモニー](HARMONY) ボタンでハーモニーのオン/オフを切り替えます。  
オンにすると、画面にハーモニーアイコンが表示されます。

#### NOTE

・ソングレッスン中は、ハーモニーのオン/オフはできません。



## 2 [ハーモニー] (HARMONY) ボタンを1秒以上押します

「HarmType」と数秒表示されたあと、現在選ばれているハーモニータイプが表示されます。**ダイヤル**を使って別のハーモニータイプを選べる状態にあります。

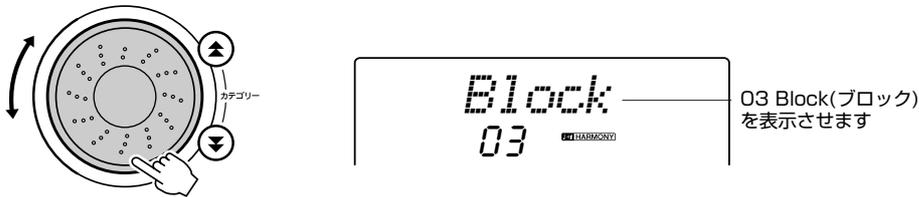


**NOTE**

- ・ [ファンクション] (FUNCTION) ボタンを押してから、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を使ってHarmonyType項目に移動することもできます。(62ページ)

## 3 ハーモニータイプを選びます

ダイヤルを回してハーモニータイプ(01~26)を選択します。ここでは「03 Block(ブロック)」を選択してみましょう。

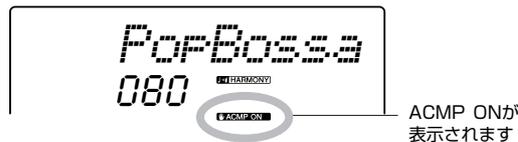


**NOTE**

- ・ ハーモニータイプ01~05は、スタイルがオンの状態(25ページ)で、スタイルを鳴らしているときだけ機能します。自動伴奏鍵域で弾いたコードに従って、右手で弾いた鍵盤の音にハーモニー音が追加されます。
- ・ ハーモニータイプ06~26は、スタイルをオンにしなくても、ハーモニー音を加えることができます。手順4のあと、86ページのハーモニータイプリストで動作条件を確認してから、鍵盤を弾いてください。

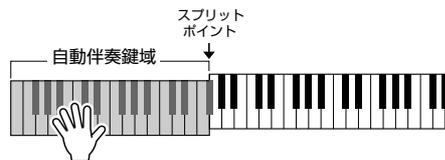
## 4 24ページの手順1、2、3、5を行ないます

スタイルがオンになります。ACMP ONが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、[スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを押して、オンにしてください。



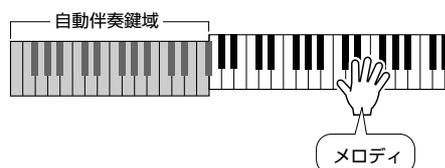
## 5 自動伴奏鍵域でコードを弾きます

スタイルがスタートします。



## 6 鍵盤を弾いてみましょう

右手でメロディを弾くと、ハーモニー音が加わります。



**NOTE**

- ・ ハーモニー機能を使うときは、音程のある楽器音を選んでください。ドラムキットや効果音が選ばれていると、ハーモニー効果がほとんどありません。

## スタイルのいろいろなスタート方法とストップ方法

### ■スタイルのスタート方法

スタイルのスタート方法には、次の4種類があります。

いずれの場合も、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してスタイルをオンにしたあとに、操作します。

どのスタート方法でも、スタート前に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押してスタイルのパターンにイントロを指定しておく、メインパターンに入る前にイントロを再生します。

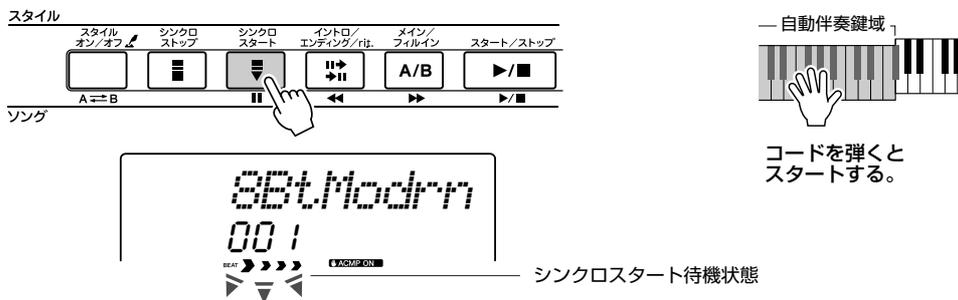
#### ●すぐにスタート

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとすぐにスタイルがスタートし、選ばれているスタイルのリズムだけが鳴ります。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。



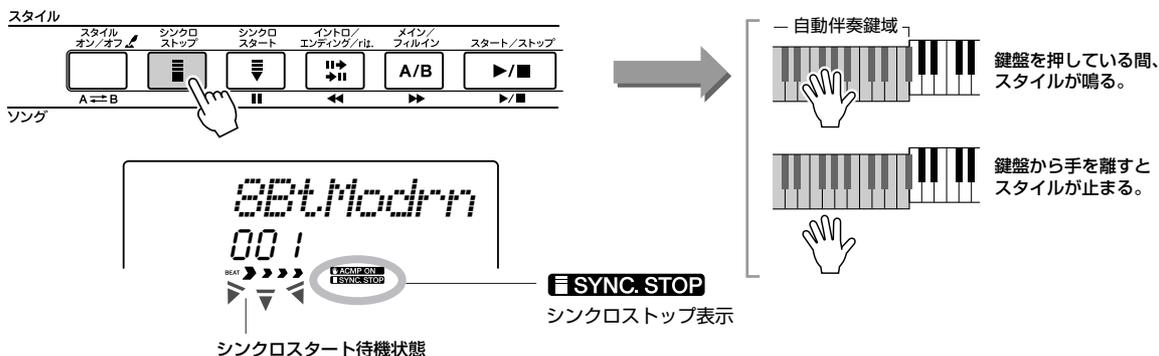
#### ●コードを弾くとスタート

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートします。



#### ●コードを弾くとスタート、手を離すとストップ

[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押します。シンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。スタートの動作はシンクロスタートと同様です。自動伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします。ただし、自動伴奏鍵域から手を離すとスタイルが止まり、シンクロスタート待機状態になります。つまり、自動伴奏鍵域で弾いている間だけスタイルが鳴ります。これをシンクロストップ機能と呼びます。



シンクロストップ機能を解除する場合は、[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押します。

●自分でカウントを出してスタート

4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。

ボタンを押したタイミングをテンポとして、スタイルがスタートします。



自分のカウントでスタートする。

■スタイルのストップ方法 .....

スタイルのストップ方法には、次の3種類があります。

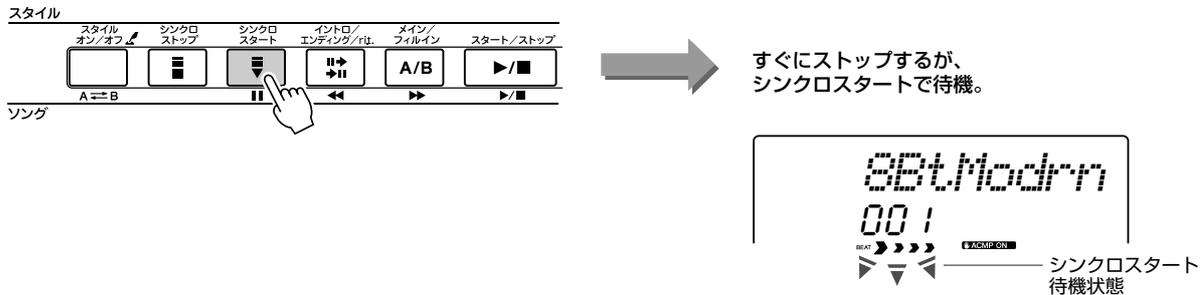
●すぐにストップ

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、すぐにスタイルがストップします。



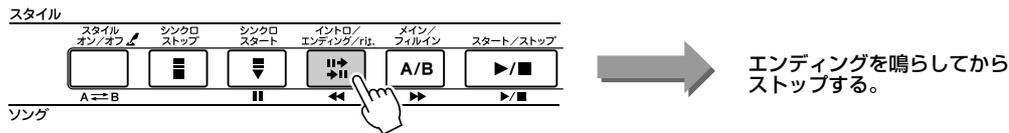
●すぐにストップしてシンクロスタート待機

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとすぐにスタイルがストップし、シンクロスタート待機状態(ビート表示が点滅)になります。



●エンディングを鳴らしてストップ

[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、エンディングを鳴らしたあとでストップします。



また、エンディング再生中に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、エンディングにリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

■鍵盤の楽器音を変えるには .....

スタイル再生中、鍵盤を弾いて鳴る音は、メイン/デュアル/スプリットボイスに設定されている楽器音です。

楽器音を鳴らしたい音に変えましょう。

(→ 18ページをご覧ください。)



# ソングの使い方

この楽器に内蔵されているソング30曲は、聞いて楽しむだけでなく、ほかの機能と組み合わせて使えます。32ページで紹介するレッスン機能と合わせて使うと、曲の弾き方をマスターすることも可能です。また内蔵ソングのほかに、インターネットからダウンロードしたソングファイルなども、本体の機能と組み合わせて使えます。

「SONG(ソング)」とは? ..... メロディ+スタイル(自動伴奏)の組み合わせでできた曲データのことです。

## ソングを選んで聞いてみよう

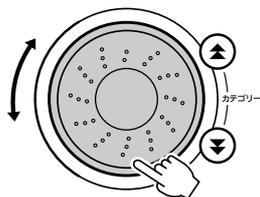
### 1 [ソング](SONG) ボタンを押します

ソング名とソング番号が表示されます。ダイヤルを使って別のソングを選ぶことができる状態にあります。



### 2 好きなソングを選びます

31ページのプリセットソングのカテゴリーリストを参考に、ソングを選びます。ダイヤルを回して、好きなソングを表示させます。



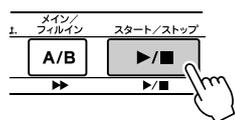
#### NOTE

- ・ダイヤル以外にも、[+]、[-]ボタンで選択したり、数字ボタン[0]~[9]で直接入力して選ぶこともできます。
- ・自分で録音したユーザーソング(38ページ)や、コンピューターからこの楽器のフラッシュメモリーに転送したソング(68ページ)も、同様に選んで再生できます。

### 3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングの再生が始まります。

もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



ソングスタート!

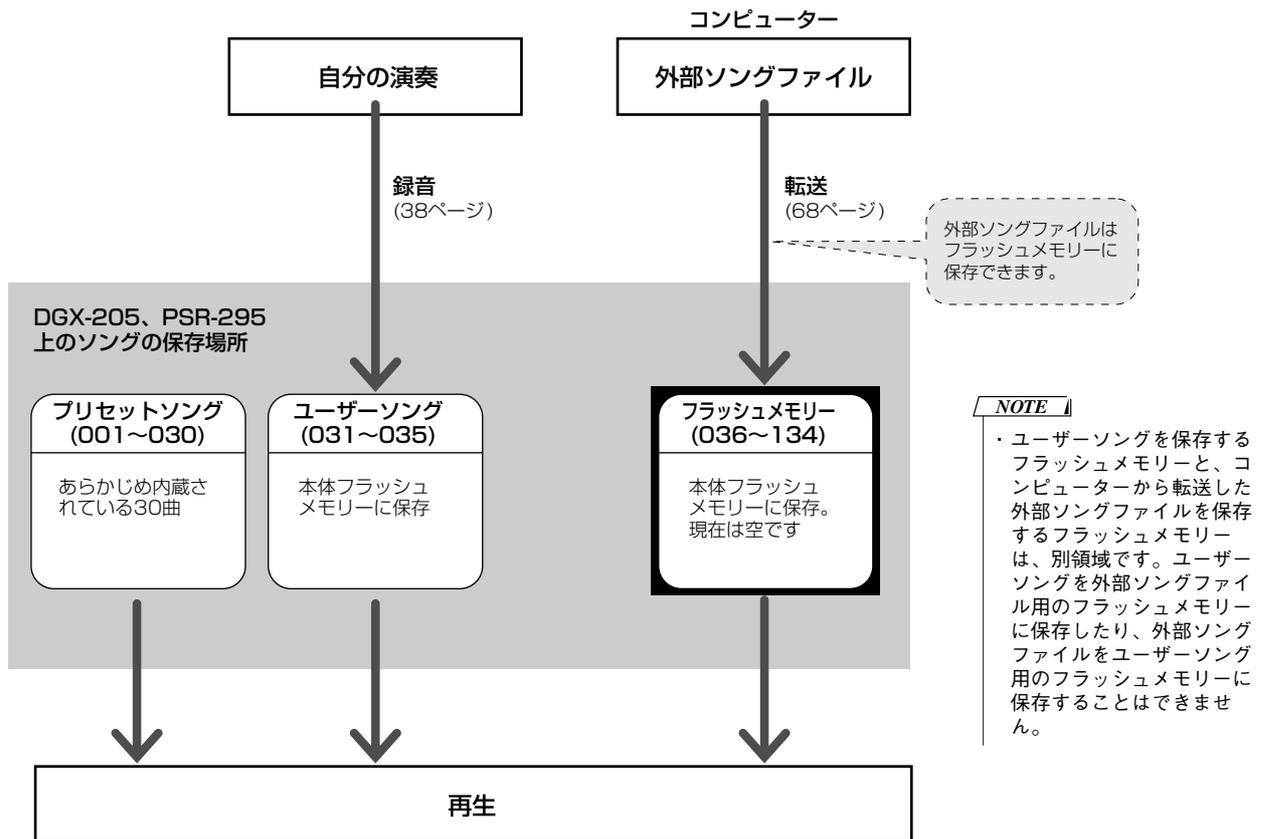
## ソングの種類

DGX-205、PSR-295で扱えるソングは以下の3種類です。

- **プリセットソング**(あらかじめ本体に内蔵されているソング30曲) ..... ソング番号 001~030
- **ユーザーソング**(自分の演奏を録音したもの)..... ソング番号 031~035
- **外部ソングファイル\***(コンピューターから本体へ転送した曲データ) ..... ソング番号 036~

\* アクセサリー CD-ROMには70曲のMIDIソングが入っています。楽器への転送方法は68ページをご覧ください。

ソングの種類によって、保存できるソング番号は異なります。下の表はプリセットソング、ユーザーソング、外部ソングファイルのDGX-205、PSR-295上で保存→再生までの流れを表にまとめたものです。



### ●プリセットソングのカテゴリー

プリセットソング30曲は、レッスンソングとして選びやすくするため、8つのカテゴリーに分かれています。レッスンソングを選ぶときは、この表を参考にして選んでください。

カテゴリー名	ソング番号	こんな方におすすめ
お気に入り	001~003	ポップス曲。ポップスを弾いてみたい方に
簡単メロディ	004~008	右手のメロディ曲。はじめての方のレッスンに最適
ピアニスト	009~013	民謡をピアノアレンジした曲。クラシックな曲を弾きたい方に
オルガニスト	014~016	オルガン曲。敬虔な雰囲気の曲を弾きたい方に
チャレンジ曲	017~021	華やかな曲。片手レッスンからステップアップしましょう
バンドプレイ	022~024	スローなバラード曲。バンドの中のキーボーディストの役割を味わいたい人に
デュエット	025~027	2つの右手メロディで構成された曲。連弾したい方に
クリスマス	028~030	弾き映えのするクリスマス曲。レパートリーを増やしたい方に

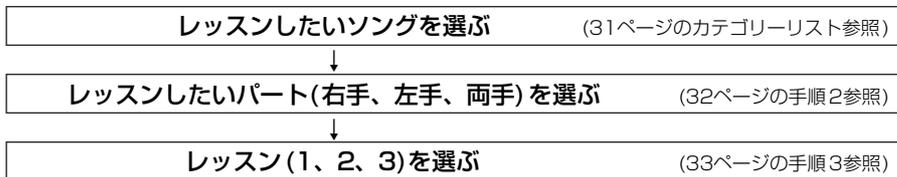


# 曲を選んでレッスンしてみよう

## Yamaha Education Suite 4

好きなソングを選んで、右手、左手、両手の3段階のレッスンができます。  
インターネットからフラッシュメモリーにダウンロードしたSMFフォーマット0のソングデータもレッスンに使えます(67~69ページ参照)。レッスン中は、ゆっくり弾いても、弾く音を間違えても大丈夫。弾く人のテンポに合わせてソングがペースタウンしてくれるので、自分のペースでゆったり練習できます。  
さあ、やってみましょう!

レッスン手順は次のとおり!



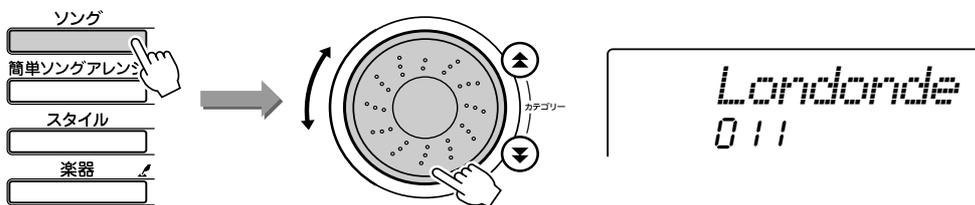
- レッスン1.....(正しい音を弾くレッスン)：正しい音を弾くまで、ソングは進まず待ってくれます。
- レッスン2.....(タイミングに合わせて正しい音を弾くレッスン)：弾く人のペースに合わせてソングのペースが変化します。音を弾き間違えたときはソングのテンポがゆっくりに。マイペースで練習したい人におすすめです。
- レッスン3.....(ソングに合わせて正しい音を正しいタイミングで弾くレッスン)：仕上げの練習に。

レッスンに使えるのはSMFフォーマット0(67ページ参照)のソングだけです。インターネットからダウンロードした曲をレッスンに使うときは、どのチャンネルを右手/左手パートで再生させるのか指定してください(69ページ)。

## レッスン1：正しい音を弾く ウェイティング Waiting

### 1 レッスンしたいソングを選びます

[ソング](SONG)ボタンを押し、ダイヤルを回してレッスンしたいソングを表示させます。ソングは31ページのリストにあるようにさまざまなタイプがあります。ここでは「011 Londonderry Air(ロンドンデリーの歌)」を選んでみましょう。

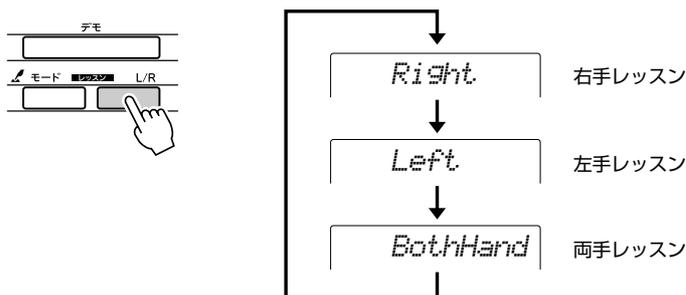


#### NOTE

・ソング番号004~008の「簡単メロディ」カテゴリーのソングは、右手レッスン用です。左手、両手レッスンはできません。

### 2 レッスンしたいパート(右手、左手、両手)を選びます

[レッスンL/R](LESSON L/R)ボタンを押してパートを選びます。  
[レッスンL/R](LESSON L/R)ボタンを押すたびに、レッスンパートは右手→左手→両手→右手...の順番で切り替わります。選択されたパート名は画面表示されます。



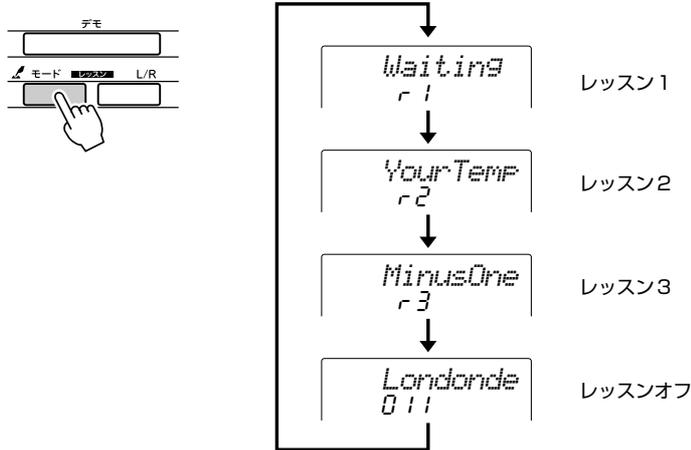
### 3 [レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを押してレッスン1を始めましょう

[レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを押してレッスン1を選びます。  
 [レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを押すたびにレッスンモードは「レッスン1」→「レッスン2」→「レッスン3」→「オフ」→「レッスン1」…の順番で切り替わり、画面に表示されます。

**NOTE**

表示の見方

	右手	左手	両手
レッスン1	r 1	l 1	lr 1
レッスン2	r 2	l 2	lr 2
レッスン3	r 3	l 3	lr 3

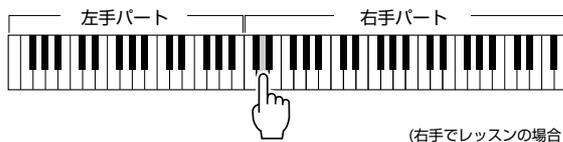
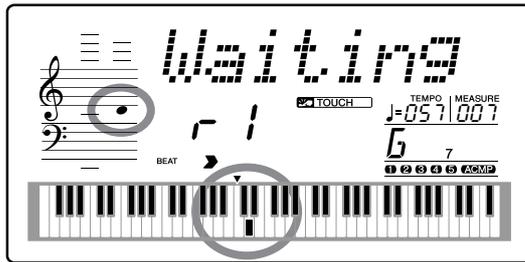


レッスン1を選ぶとソングが自動的にスタートします。



レッスンスタート!

画面に表示された音符を弾いてみましょう。正しい鍵盤が押されると、次に弾く音符が表示されます。ソングは、正しい鍵盤を押さえるまで待ってくれます。



## ■評価をみてみましょう.....

Excellent	
Very Good	
Good	
OK	

ソングを最後まで再生してレッスンを終了すると、その演奏が4段階(OK, Good, Very Good, Excellent)で評価され、画面に表示されます。Excellent が最もよい評価です。

評価の表示後、ソングが最初から自動的にスタートし、再びレッスンが始まります。ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとレッスン機能が終了します。

レッスン1ができるようになったら、次はレッスン2に進みましょう！

**NOTE**

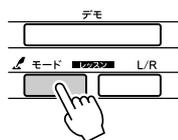
・評価はオフにすることもできます。→機能設定のGrade項目。(64ページ)

## レッスン2：タイミングを合わせて正しい音を弾く ユアテンポ Your Tempo

**1** ソングとレッスンパートを選びます⇒(32ページの手順1、2)

**2** [レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを2回押してレッスン2を始めましょう

[レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3と切り替わります。



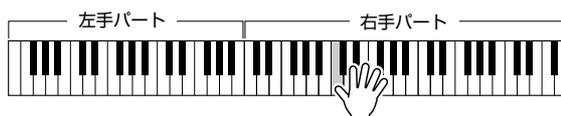
この画面では、右手のレッスン2を意味する「r2」が表示されています

レッスン2を選ぶとソングが自動的にスタートします。



レッスンスタート！

画面に表示された音符を弾いてみましょう。ソングのテンポが下がっても、正しい音を正しいタイミングで弾くと、徐々に本来のテンポに戻っていきます。



(右手でレッスンの場合)

ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとレッスン機能が終了します。

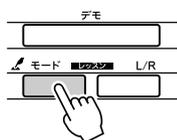
レッスン2ができるようになったら、次はレッスン3に進みましょう！

## レッスン3：ソングに合わせて正しい音とタイミングで弾く マイナスイワン Minus One

**1** ソングとレッスンパートを選びます⇒(32ページの手順1、2)

**2** [レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを3回押してレッスン3を始めましょう

[レッスンモード](LESSON MODE)ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3と切り替わります。



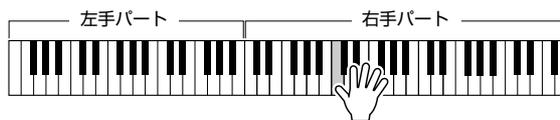
この画面では、右手のレッスン3を意味する「r3」が表示されています

レッスン3を選ぶとソングが自動的にスタートします



レッスンスタート!

カラオケのように、あなたの弾くパートだけが鳴らずにソングが進みます。ソングをよく聞いて演奏しましょう。



(右手でレッスンの場合)

ソングを最後まで再生させると、評価が表示されます。

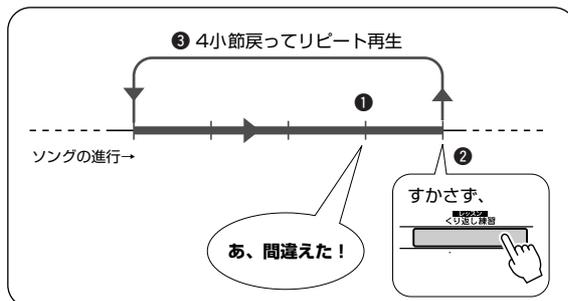
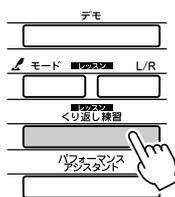
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとレッスン機能が終了します。

## くり返し練習しよう リピート&ラーン Repeat & Learn

レッスン中に間違ったところを少し手前から弾きなおしたい、苦手なところをくり返して練習したい。こんなときは[くり返し練習](LESSON REPEAT & LEARN)ボタンを使いましょう。

レッスン中に[くり返し練習](LESSON REPEAT & LEARN)ボタンを押します

ソングが押した時点から4小節前まで戻り、1小節カウントしたあと再生されます。押した時点までくると、また4小節前まで戻ってくり返し再生するので、「あっ、間違えた」というときにポンと押せば、間違えた部分も含んで何度でも練習できます。



**NOTE**  
 ・リピート再生中に[0]~[9]の数字ボタンを押すと、くり返す小節数を変えることができます。



# ソングの雰囲気を変えてみよう

この楽器には、好きなスタイル（自動伴奏）でソングを鳴らすことができる「イージーソングアレンジャー」という機能があります。この機能を使えば、本来バラード調のソングをボサノバ調で鳴らしたり、ヒップホップ調で鳴らしたりできます。ソングはメロディとスタイル(自動伴奏)の組み合わせでできているので、スタイル部分を変えることによって、まったく異なる雰囲気のアレンジができます。また、ソングのメロディの楽器音や、鍵盤の楽器音を変えることもできるので、ソングのイメージを変えて楽しんでみましょう。

## イージーソングアレンジャー機能を使う

### 1 [簡単ソングアレンジ](EASY SONG ARRANGER)ボタンを押します

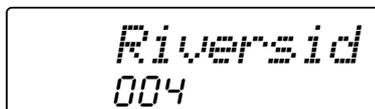
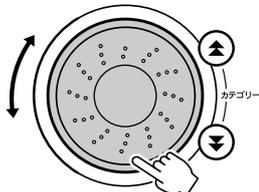
ソング番号とソング名が表示されます。ダイヤルを使って別のソングを選べる状態にあります。



現在選ばれているソング番号とソング名

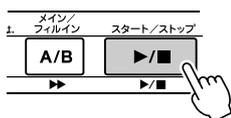
### 2 ソングを選びます

ダイヤルを回して好きなソングを選びます。ここでは「004 Down By The River (ダウン・バイ・ザ・リバーサイド)」を選んでみましょう。



### 3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとソングが始まります。ソングを鳴らしたまま次の手順に進んでください。



ソングスタート!

#### NOTE

・ソング番号022～024の曲は、イージーソングアレンジャーを使っているとき、メロディが入っているトラックが自動的にミュート(消音)されるため、メロディが鳴りません。メロディを鳴らすためにはソングメモリー (SONG MEMORY) の[3]～[5]ボタンを押してください。

### 4 [簡単ソングアレンジ](EASY SONG ARRANGER)ボタンを押します

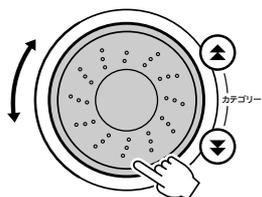
スタイル番号とスタイル名が表示されます。ダイヤルを使って別のスタイルを選べる状態にあります。



現在選ばれているスタイル番号とスタイル

## 5 スタイルを選びます

ダイヤルを回してどんどんスタイルを変えてみてください。ソングのスタイルだけが次々に切り替わっていくのがわかります。好きなスタイルを選んだら、ソングを鳴らしたまま次の手順に進んでください(手順の途中でソングが終わってしまった場合は、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと再びソングが始まります)。

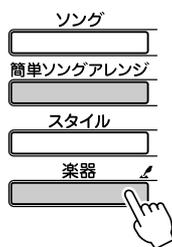


### NOTE

- ・ イージーソングアレンジャーでのコード指定にはソングデータが用いられるので、自動伴奏鍵域を弾いてもコードは指定できません。[スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンも機能しません。
- ・ ソングとスタイル (自動伴奏) の拍子が異なる場合は、ソングの拍子で再生されます。

## 6 [楽器] (VOICE) ボタンを押します

楽器音の番号と名前が表示されます。ダイヤルなどを使って別の楽器音を選べる状態にあります。



現在選ばれている楽器音の番号と名前

## 7 楽器音を選びます

ダイヤルを回して好きな楽器音を選びます。

## 8 [楽器] (VOICE) ボタンを1秒以上押します

「MELODY VOICE CHANGE」と表示されたあと、手順7で選んだ楽器音がソングのメロディ音色になります。



1秒以上押す





# 自分の演奏を録音しよう

自分の演奏を録音して、ユーザーソングとして031～035のソング番号に、5曲まで保存することができます。保存した曲は再生できます。パフォーマンスアシスタント機能を使って演奏した音も録音できます。

## ■録音できるデータ

メロディ演奏5トラックとスタイル(コード演奏)1トラックの、合計6トラックに録音できます。

録音はトラックごとに行ないます。

●メロディトラック[1]～[5] .....メロディ演奏を録音します。

●スタイルトラック[A] .....コード演奏を録音します。

### ●メロディトラック[1]～[5]に録音できるデータ

- ・ノート オン/オフ(鍵盤を押す/離す)
- ・ベロシティ(鍵盤を弾く強さ)
- ・楽器番号
- ・リバーブタイプ\*
- ・コーラスタイプ\*
- ・ハーモニー音
- ・サステイン オン/オフ
- ・テンポ\*/拍子\*
- (スタイルトラックが録音されていない場合のみ有効)
- ・ピッチベンド(DGX-205のみ)
- ・ピッチベンドレンジ(DGX-205のみ)
- ・デュアル オン/オフ
- ・パネルサステイン オン/オフ
- ・メイン/デュアルボイスの音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル

### ●スタイルトラック[A]に録音できるデータ

- ・コード変更、コードを弾くタイミング
- ・スタイルパターンの変更
- ・スタイル番号\*
- ・リバーブタイプ\*
- ・コーラスタイプ\*
- ・テンポ
- ・拍子\*
- ・スタイル音量\*

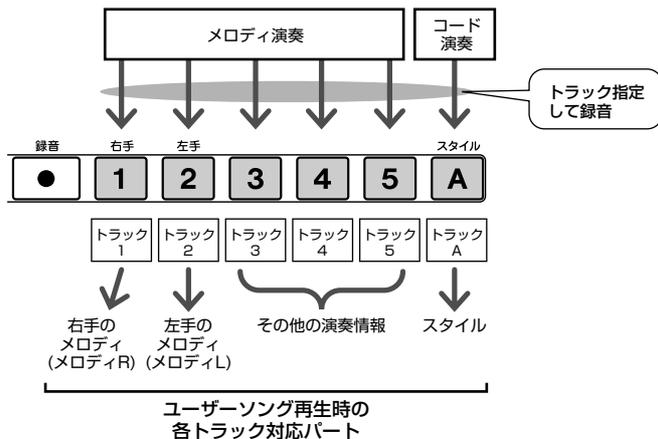
### NOTE

- ・ユーザーソングは5曲までしか記憶できません。5曲録音した状態で6曲目を録音したい場合は、消去してもいい曲の番号(031～035)を選んでそこに録音するか、ユーザーソングをコンピューターに保存して、空いた番号に録音するなどしてください。
- ・録音容量：メロディトラックだけに録音した場合、約10,000の音符数が録音できます。スタイルトラックだけに録音した場合、約5,500のコード数が録音できます。

\*印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

## トラックの構成

自分の演奏を録音するには、ソングメモリー (SONG MEMORY)の[1]～[5]、[A]ボタンを押して、演奏を入れるトラックを指定します。トラックとは、音の情報を入れる場所です。ユーザーソングは以下の6つのトラックから構成されており、どのトラックに録音したかによって、再生されるパートが決められています。



- ・トラック[1]に入れた演奏は、右手メロディ(メロディR)として再生されます。
- ・トラック[2]に入れた演奏は、左手メロディ(メロディL)として再生されます。
- ・トラック[3]～[5]に入れた演奏は、その他の演奏情報として再生されます。
- ・トラック[A]に入れた演奏は、スタイル(自動伴奏)として再生されます。

### NOTE

- ・MELODY R (メロディR)とMELODY L(メロディL)のちがいは？  
ソングは「メロディ」と自動伴奏の組み合わせでできています。通常、メロディというと右手で弾くパートと思われるかもしれませんが、この楽器でいう「メロディ」は両手パートあり、右手パートと左手パートに分かれています。メロディRは右手で弾くメロディパート、メロディLは左手で弾くメロディパートのことです。

## 録音の手順

- 1** [ソング](SONG) ボタンを押し、ダイヤルを回して録音を入れたいユーザーソング番号(031~035)を表示させます



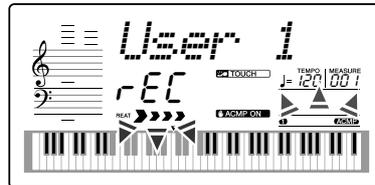
ダイヤルを回して、ここに031~035の番号のうち、どれか1つを表示させます

- 2** 画面のトラック表示を確認し、録音するトラックを選びます

◆メロディトラック1つと伴奏トラックを同時に録音する場合

[録音](REC) ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]を押します。

続けて[録音](REC) ボタンを押したまま、[A] ボタンを押します。  
選ばれたトラックが点滅します。



・すでに録音されているトラックへ録音すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。

**NOTE**

- ・録音にスタイルトラック[A]を選ぶと、自動的にスタイルはオンになります。
- ・録音スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。
- ・スプリット音色を使って録音する場合、スプリットポイントよりも低い音は録音されません。

◆メロディトラックを録音する場合

[録音](REC) ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]を押します。

選ばれたトラックが点滅します。



**NOTE**

- ・スタイルがオンで、スタイルトラック[A]がまだ録音されていない場合は、メロディトラックを選ぶと、スタイルトラック[A]も自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディだけを録音したい場合は、スタイルトラック[A]を消灯させます。
- ・選択したトラックへの録音をキャンセルする場合は、そのトラックボタンをもう一度押します。スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。

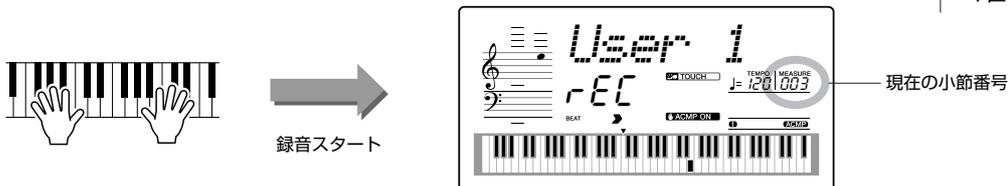
### 3 鍵盤を弾くと録音が始まります

また、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押しても録音が始まります。

録音中は、画面に現在の小節番号が表示されます。

**NOTE**

・録音中にメモリ一杯になった場合は、メッセージを表示し録音が終了します。ソングクリアまたはトラッククリア(41ページ)により空きメモリを増やしたあとで、録音をやり直してください。



### 4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンまたは [録音](REC) ボタンを押して録音を終了します



スタイルトラック録音中に、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングにふさわしいフレーズを演奏して録音が終了します。録音を終了すると、画面の小節番号は「001」に戻り、録音したトラックの表示は点灯します。

●他のトラックを録音する場合

手順2~4をくり返し、他のトラックを録音しましょう。ソングメモリー (SONG MEMORY) [1]~[5]、[A] ボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック表示は消灯)、他のトラックを録音することもできます。

●録音をやり直すには

やり直したいトラックを録音トラックとして選びます。録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)します。

### 5 録音が終わったら

◆ユーザーソングを再生させる場合

通常のソング再生と同じ手順です。(30ページ)

- 1 [ソング](SONG) ボタンを押します。
- 2 **ダイヤル**を使って、聞きたいユーザーソング(031~035)の番号を表示させます。
- 3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します。

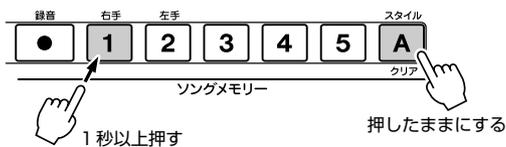
## ユーザーソングの消去(ソングクリア)

録音済みのユーザーソングを1曲すべて(全トラック)をクリアします。

- 1 [ソング](SONG) ボタンを押し、消去したいユーザーソング番号(031～035)を選びます

- 2 ソングメモリー (SONG MEMORY) [A] ボタンを押しながら、ソングメモリー (SONG MEMORY) [1] ボタンを1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。



### NOTE

- ・ユーザーソング1曲中の特定のトラックだけを消去したいときは、トラッククリアを行いません。

- 3 [+ ] ボタンを押します

クリア確認の画面が表示されます。

消去をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。

- 4 消去するときは、もう一度 [+ ] ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、ソングが消去されます。

### NOTE

- ・ソングクリアを実行するときは [+ ] ボタン、ソングクリアをキャンセルするときは [-] ボタンを押します。

## ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア)

録音済みのユーザーソングの1つのトラックを選んで、そのトラックのデータだけを消去します。

- 1 [ソング](SONG) ボタンを押し、消去したいユーザーソング番号(031～035)を選びます

- 2 消去したいトラック番号のソングメモリー (SONG MEMORY) ボタン ([1]～[5]、[A]) を1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。



- 3 [+ ] ボタンを押します

クリア確認の画面が表示されます。

消去をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。

- 4 消去するときは、もう一度 [+ ] ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、指定したトラックのデータが消去されます。

### NOTE

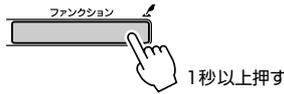
- ・トラッククリアを実行するときは [+ ] ボタン、トラッククリアをキャンセルするときは [-] ボタンを押します。



# バックアップと初期化

## バックアップ

DGX-205、PSR-295の一部の内部データは、設定を保存せずに電源を切るとそれぞれの初期値に戻ります。設定内容を保存したい場合は、[ファンクション](FUNCTION)ボタンを1秒以上押してください。



- バックアップされる内容
  - ・ユーザーソング
  - ・タッチレスポンス オン/オフ(ON/OFF)
  - ・レジストレーションメモリー
  - ・FUNCTION(機能設定)の各設定：チューニング、スプリットポイント、タッチ感度、スタイル音量、ソング音量、メトロノーム音量、採点、デモキャンセル、パネルサステイン

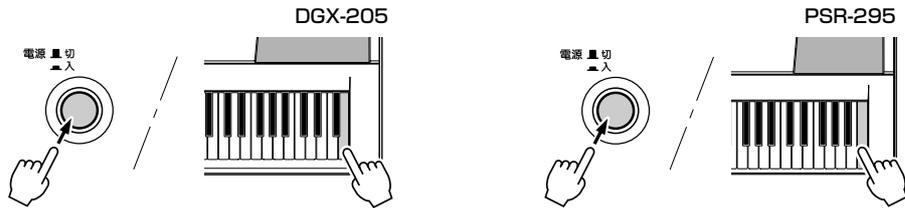
## 初期化

この楽器のフラッシュメモリーにあるソングデータやバックアップデータを消去し、設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

### ■バックアップクリア .....

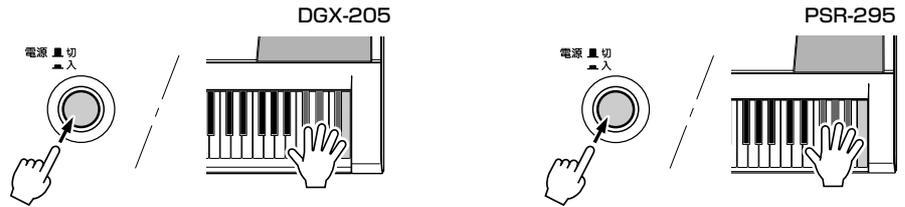
本体のフラッシュメモリーにバックアップしたバックアップデータ(パネルセッティング、レジストレーションメモリー(60ページ)、ユーザーソング(39ページ))をクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら

[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去され、楽器は初期設定値に戻ります。



### ■フラッシュクリア .....

コンピューターから本体フラッシュメモリーにダウンロードしたソングデータをクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押しながら[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去されます。



!

- ・フラッシュクリアすると、購入した有料のソングデータも消去されます。消去したくないデータは、必要に応じてコンピューターにセーブしましょう。



# 基本操作と画面表示

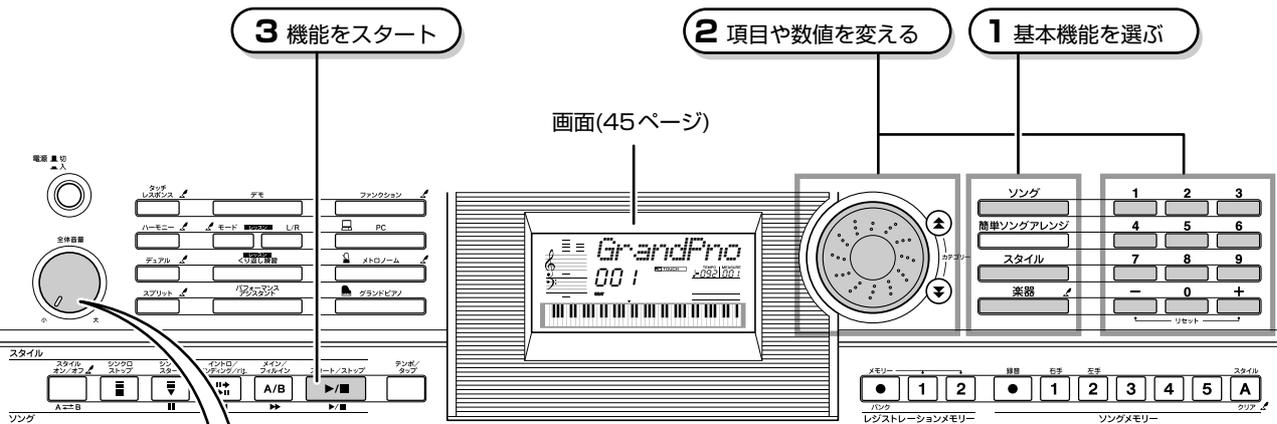
## 基本操作

DGX-205、PSR-295では以下の操作が基本になります。

1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

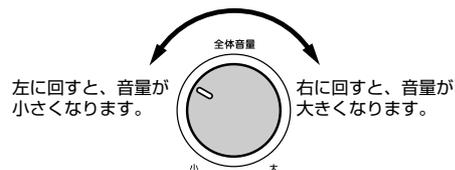
2 ダイヤルなどを使って項目や数値を変える

3 機能をスタートする



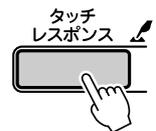
### ● 音量の設定

スピーカーの音量、および PHONES 端子に接続したヘッドフォンの音量を調節します。



### ボタンを「長く押す」マークについて

が印刷されているボタンは、1秒以上押し続けたままにすると、そのボタンの機能に関する設定項目をダイレクトに表示することができます。機能の数値を変更するときなどに、とても便利です。

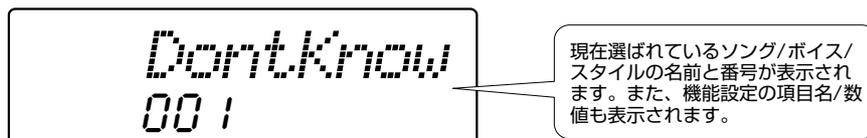


## 1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

- ソング**  
[ ] ———— 聞きたいソングやレッスンしたいソングを選べる状態になります。
- 簡単ソングアレンジ**  
[ ]
- スタイル**  
[ ] ———— スタイル(自動伴奏)を選べる状態になります。
- 楽器**   
[ ] ———— 鍵盤で弾きたい音を選べる状態になります。

## 2 ダイアルなどを使って項目や数値を変える

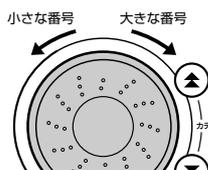
基本の機能を選ぶと、ソング名、スタイル名、楽器名と番号が画面に表示されます。他のパネルボタンを押したときは、その機能に関連した項目や数値が表示され、**ダイヤル**や数字ボタン[0]～[9]などを使って変えることができます。



### ■数値の変え方.....

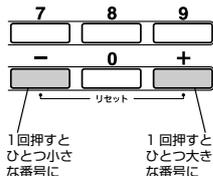
#### ● ダイアル

右(時計回り)に回すとひとつ大きな番号に、左に回すとひとつ小さな番号になります。回し続けると連続して変わります。



#### ● [+], [-]ボタン

[+] ボタンを1回押すとひとつ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すとひとつ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。

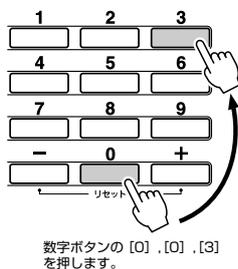


#### ● 数字ボタン[0]～[9]

ソングなどの番号や値を直接数値で設定します。100の位、もしくは100の位と10の位が0の場合は、「0」の入力を省略できます。

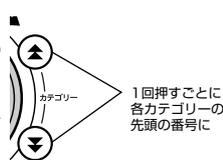
例) ソング番号003を選ぶ場合、次のどの方法でも入力できます。

- ・ [0]→[0]→[3]と押す。
- ・ [0]→[3]を押す。(しばらく待つと“003”と表示されます)
- ・ [3]を押す。(しばらく待つと“003”と表示されます)



#### ● カテゴリーボタン[▲]、[▼]

ソング、スタイル、ボイスの設定の際、ボタンを1回押すごとに各カテゴリーの先頭の番号が順番に選ばれます。



カテゴリーボタン[▲]、[▼]は、たとえば番号の大きい楽器音を選ぶときに使うと便利です。

例) 楽器音を選択する



カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押したあとで**ダイヤル**や[+]、[-]ボタンを使って具体的な楽器を選べば、狙った範囲から手早く選択することができます。

この取扱説明書の操作手順では、画面の項目を選んだり、数値の変更をするのにもっとも簡単な方法として、**ダイヤル**の使用を多くお勧めしています。**ダイヤル**で変更できる項目は、ほとんどの場合、[+]、[-]ボタンや数字ボタン[0]～[9]でも変えられます。

## 3 機能をスタートする



このボタンを[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンと呼びます。[ソング](SONG)ボタンや[スタイル](STYLE)ボタンを押したあとこのボタンを押すと、ソングやスタイル(リズム)がスタートします。

## 画面の表示について

画面には、ソング、スタイル、楽器音など、基本的な設定状態が表示されます。

また、どの機能がオンになっているのかがアイコンなどで表示されますので、操作は画面を見ながら行ってください。

### 音符表示

レッスン機能のときは、ソングのメロディ符やコード符を、コードディクショナリー機能のときは、コードの構成音を表示します。通常は押した鍵盤を表示します。



#### NOTE

- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

### テンポ(TEMPO)、小節(MEASURE)表示

ソングやスタイルのテンポ、小節番号を表示します。(17ページ)

TEMPO | MEASURE  
J=092 | 001

### コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。

F

### ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報を表示します。(57ページ)

1 2 3 4 5 ACMP

### 乾電池交換の表示

電池が消耗すると表示します。(10ページ)



### ビート表示

スタイルやソングのビート(拍)を、矢印で点滅表示します。(17ページ)



### パフォーマンスアシスタント オン/オフ (PERFORMANCE ASSISTANT)表示

パフォーマンスアシスタントがオンのとき表示します。(15ページ)



### タッチレスポンス オン/オフ (TOUCH)表示

タッチレスポンスがオンのとき表示します。(22ページ)



### ハーモニー オン/オフ (HARMONY)表示

ハーモニーがオンのとき表示します。(26ページ)



### デュアル オン/オフ (DUAL)表示

デュアルがオンのとき表示します。(19ページ)



### スプリット オン/オフ (SPLIT)表示

スプリットがオンのとき表示します。(20ページ)



### スタイル「オン」 (ACMP ON)表示

伴奏機能がオンのとき表示します。(24ページ)



### シンクロストップ (SYNC STOP)表示

シンクロストップがオンのとき表示します。(28ページ)





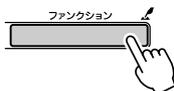
# 演奏するときの便利な機能

## リバーブ効果をかける

演奏音に、コンサートホールで弾いたような残響音(リバーブ)を加えることができます。

スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なリバーブタイプが自動的に選ばれます。自分でリバーブタイプを選びたい場合は、以下の方法で設定してください。リバーブタイプの説明については86ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します

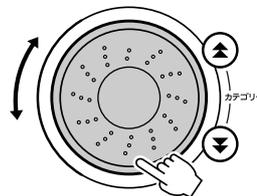


### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、Reverb Typeの項目を表示させます。「Reverb」と数秒表示されたあと、現在選択されているリバーブタイプが表示されます



現在選ばれているリバーブタイプ

### 3 ダイヤルを回して好きなリバーブタイプを選びます 鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



選ばれたリバーブタイプ

#### ●リバーブセンドレベルの調整

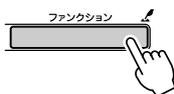
メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、リバーブのかかり具合を調整できます。手順2でカテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、ダイヤルを回して調整してください(詳細については62ページもご覧ください)。

- ・メインボイス (M. Reverb項目)
- ・デュアルボイス (D. Reverb項目)
- ・スプリットボイス (S. Reverb項目)

## コーラス効果をかける

同時に複数のパートを演奏しているかのような厚みを音に加える機能です。スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なコーラスタイプが自動的に選ばれます。コーラスタイプを自分で選びたい場合は、以下の方法で設定してください。

### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します

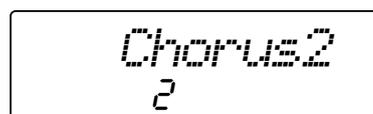
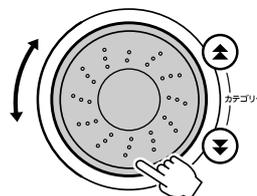


### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、Chorus Typeの項目を表示させます。「Chorus」と数秒表示されたあと、現在選択されているコーラスタイプが表示されます



現在選ばれているコーラスタイプ

### 3 ダイアルを回して好きなコーラスタイプを選びます 鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



#### ●コーラスセンドレベルの調整

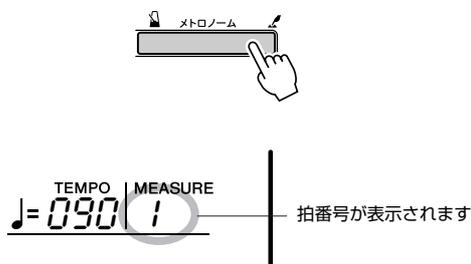
メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、コーラスのかかり具合を調整できます。手順2でカテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、ダイヤルを回して調整してください。(詳細については62ページもご覧ください)。

- ・メインボイス (M. Chorus項目)
- ・デュアルボイス (D. Chorus項目)
- ・スプリットボイス (S. Chorus項目)

## メトロノームを鳴らす

15拍子まで設定できるメトロノームです。1拍目に「チーン」と鳴り、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。選ばれているソングやスタイルのテンポと拍子でメトロノームの音が鳴りますが、テンポや拍子は自由に変更できます。

- 1** [メトロノーム](METRONOME)ボタンを押すと、メトロノームがスタートします

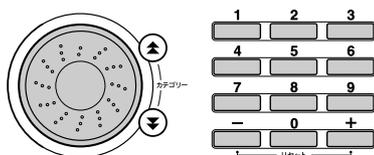


もう一度[メトロノーム](METRONOME)ボタンを押すと停止します。

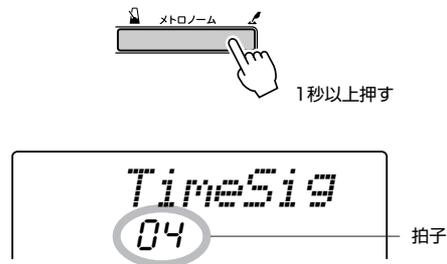
- 2** [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押してテンポを表示させます



- 3** ダイアルや数字ボタン[0]~[9]を使って、テンポ(♩=032~280)を設定します



- 4** [メトロノーム](METRONOME)ボタンを1秒以上押し、Time Signature(拍子)の項目を表示させます



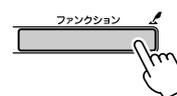
**NOTE**

・[ファンクション](FUNCTION)ボタンを押してから、カテゴリボタン[▲]、[▼]を何度か押してTime Signatureの項目に移動することもできます。(62ページ)

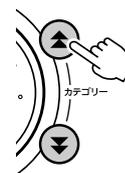
- 5** ダイアルや数字ボタン[0]~[9]を使って、拍子(00~15)を設定します

### ■メトロノーム音量の設定.....

- 6** [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します



- 7** カテゴリボタン[▲]、[▼]を何度か押してメトロノームボリュームの項目を表示させます



- 8** ダイアルや数字ボタン[0]~[9]を使ってメトロノーム音量を設定してください

## 鍵盤を弾く強弱で音量を変える

タッチレスポンスがオンの場合のタッチ感度(鍵盤を弾く強さによって音量が変化する割合)を、3段階(1~3)に設定することができます。

- 1** [タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを押して、タッチレスポンスをオンにします  
 タッチレスポンスがオンになったかどうかは、画面のアイコン表示で確認してください(22ページ、45ページ参照)。



- 2** [タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを1秒以上押し、Touch Sensitivityの項目を表示させます  
 TouchSnsと数秒表示されたあと、現在選ばれているタッチ感度が表示されます



- 3** ダイアルを回してタッチ感度(1~3)を設定します。設定値が大きくなるほど、弾く強さによる演奏の強弱がつけやすくなります

**NOTE**

- ・工場出荷時、タッチ感度は「2」に設定されています。
- ・[ファンクション](FUNCTION) ボタンを押してから、Touch Sensitivityの項目に移動することもできます。(62ページ)

## ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS)

ソングやスタイルを鳴らしながら自分も鍵盤を弾いて演奏する場合、どの楽器音を選べば一番バランスのとれた演奏ができるのか。それを選択してくれるのがワンタッチセッティング(One Touch Setting)です。楽器音に000 OTSを選択すると、ソングやスタイルを選んだ際、そのソングやスタイルに最適な楽器音が自動的に選ばれます。

- 1** ボイスの楽器音に楽器番号000を選びます(→18ページ手順1~2)

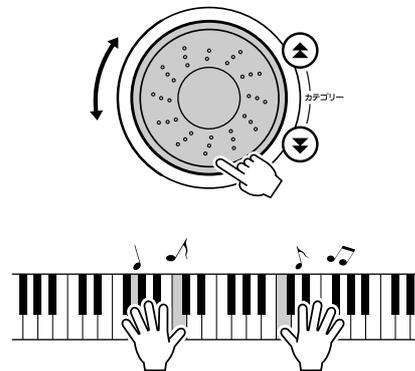


- 2** 好きなソングを選んで再生させます(→30ページ手順1~3)  
**3** 鍵盤を弾いて、どんな音色が覚えておきます



手順の途中でソング再生が終わった場合は、もう一度、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押してソングを再生させてください。

- 4** ダイアルを回してソングを変えたら、再び鍵盤を弾いてみましょう



手順3で弾いたときの鍵盤の楽器音とはちがうことがわかります。ソングを変えるたびに、000の楽器音が最適なものにどんどん切り替わっていくのがわかります。

## 音色を微調整する

メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイスそれぞれに、リバーブのかかり具合や、音の聞こえてくる方向などを設定できます。[ファンクション](FUNCTION)ボタンを押したあと、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押すと以下の項目が表示されるので、ダイヤルを回して調整してください。

### ●メインボイスに関する各種設定 (63ページ)

- ・音量 (M. Volume項目)
- ・オクターブ (M. Octave項目)
- ・パン (M. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (M. Reverb項目)
- ・コーラスセンドレベル (M. Chorus項目)

### ●デュアルボイスに関する各種設定 (63ページ)

- ・音量 (D. Volume項目)
- ・オクターブ (D. Octave項目)
- ・パン (D. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (D. Reverb項目)
- ・コーラスセンドレベル (D. Chorus項目)

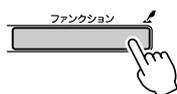
### ●スプリットボイスに関する各種設定 (63ページ)

- ・音量 (S. Volume項目)
- ・オクターブ (S. Octave項目)
- ・パン (S. Pan項目)
- ・リバーブセンドレベル (S. Reverb項目)
- ・コーラスセンドレベル (S. Chorus項目)

## ハーモニー音量を変える

ハーモニータイプ01(Duet)~05(Octave)では、ハーモニー音量を調整できます。

### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します



### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、 ハーモニーボリュームの項目を表示させます



### 3 ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、ハーモニー音量(000~127)を設定します

## パネルサステイン

鍵盤を弾いたときの音に余韻が残ります。

フットスイッチとは別に、常に音に効果をかけたいときに使います。

[ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します。カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してSustain項目を表示させます。[+]、[-]ボタンを使って、オン/オフを選択します。オンにするとサステイン効果がかかります。

#### NOTE

- ・音色によっては、パネルサステインをオンにしても、余韻の長さ  
にあまり変化がない音もあります。



# スタイル(自動伴奏)に関する機能

自動伴奏の基本的な操作については、クイックガイド『自動伴奏を鳴らしてみよう』(24ページ)で説明しました。

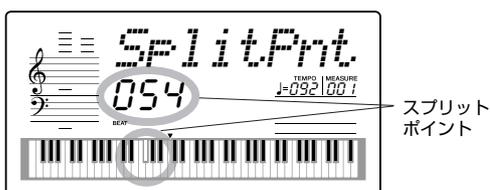
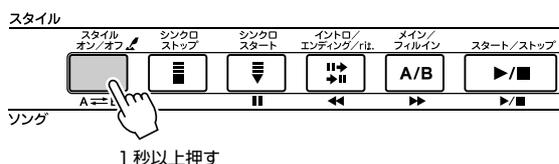
ここでは、スタイルのいろいろな鳴らし方やスタイル音量の調整方法、スタイルを鳴らすためのコードなどについて説明します。

## スプリットポイントの設定

スプリットポイントは初期値では54(F#2)に設定されていますが、自由に変更することができます。

**1** [スタイル](STYLE) ボタンか[簡単ソングアレンジ](EASY SONG ARRANGER) ボタンを押します

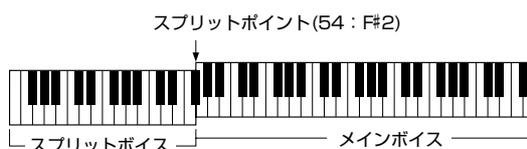
**2** [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを1秒以上押し、Split Pointの項目を表示させます



### NOTE

- ・[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを1秒以上押し、スプリットポイント項目を表示できるのは、[スタイル](STYLE) ボタンか[簡単ソングアレンジ](EASY SONG ARRANGER) ボタンが点灯しているときだけです。

**3** ダイヤルや数字ボタン[0]~[9]を使って、スプリットポイント000(C-2)~127(G8)を設定します



### NOTE

- ・スプリットポイントを変更すると、自動伴奏のスプリットポイントも同時に変更されます。
- ・ソングレスン時のスプリットポイントは変更できません(固定)。
- ・スプリットポイントの鍵盤ではスプリットボイスが鳴ります。

### NOTE

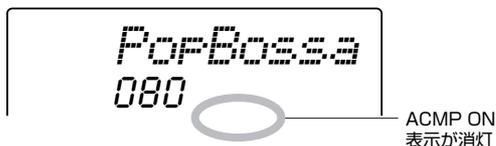
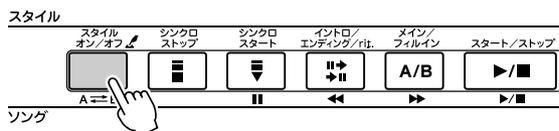
- ・[ファンクション](FUNCTION) ボタンを押してから、Split Pointの項目に移動することもできます。(62ページ)

## スタイルのリズムだけを鳴らす

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンは、押すたびにスタイルのオン/オフが切り替わります。

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオフ(ACMP ON表示が消灯) にしてスタイルをスタートさせると、スタイルのリズムだけを鳴らすことができます。

[スタイル](STYLE) ボタンを押してスタイルモードに入ります。



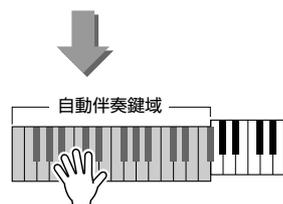
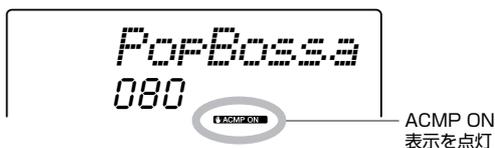
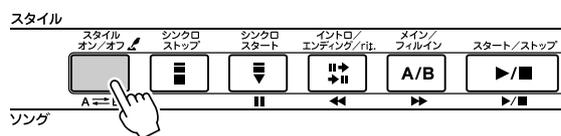
### NOTE

- ・スタイル番号112と124~135(ピアニスト)は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。

## リズムなしでコード音を鳴らす

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオン(ACMP表示が点灯)にしたあと、左手(自動伴奏) 鍵域を弾くと、リズムを再生させずにコード音を鳴らすことができます。これをストップアカンパニメント機能といいます。自動伴奏鍵域で押された押鍵情報を DGX-205、PSR-295 がコードとして認識するため、スタイルを再生することなくハーモニー機能を使うこともできます。画面にはコードのルート/タイプが表示されます。

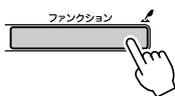
[スタイル](STYLE) ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。



## スタイル音量の設定

[スタイル](STYLE) ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。

1 [ファンクション](FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]で <sup>スタイルボリューム</sup> Style Volume の項目を表示させます



3 ダイアルや数字ボタン[0]~[9]を使って、スタイル音量(000~127)を設定します

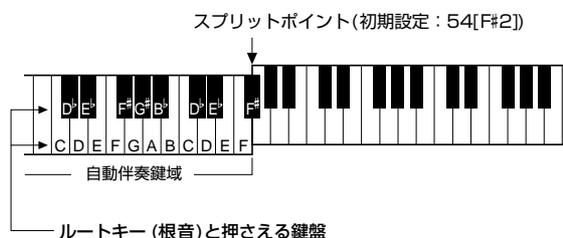
## 伴奏コードの押さえ方

- 簡単なコードの押さえ方
- 通常のコードの押さえ方

の2種類があります。

この楽器では、どちらの押さえ方でもコードを自動的に判断します。これをマルチフィンガリングといいます。

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して、スタイルをオン(24ページ)にしてください。スプリットポイント(初期設定：54[F#2])より左の鍵盤が**自動伴奏鍵域**になります。この範囲の鍵盤でコードを弾いてください。



### ■簡単なコードの押さえ方

自動伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

	・メジャー (M)コード ルートキー (根音)を押さえてください。
	・マイナー (m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。
	・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
	・マイナーセブンス (m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

### ■通常のコードの押さえ方

自動伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出しスタイルが演奏されます。

●C(ド)がルート音の場合の押さえ方


⊙で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

■通常の押さえ方で認識されるコード

この表はC(ド)がルート音の場合の表です。

コード	押鍵	コード(C)	画面表示
メジャー [M]	1 - 3 - 5	C	C
アッドナインス[(9)]	1 - 2 - 3 - 5	C <sup>(9)</sup>	C <sup>(9)</sup>
シックス [6]	1 - (3) - 5 - 6	C <sub>6</sub>	C <sub>6</sub>
シックスナインス [6(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 6	C <sub>6</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>6</sub> <sup>(9)</sup> *
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7 または 1 - (3) - 5 - 7	C <sub>M7</sub>	C <sub>M7</sub>
メジャーセブンスナインス [M7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 7	C <sub>M7</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>M7</sub> <sup>(9)</sup> *
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス [M7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - 7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - 7	C <sub>M7</sub> <sup>(#11)</sup>	C <sub>M7</sub> <sup>(#11)</sup> *
フラットファイブ [(b5)]	1 - 3 - b5	C <sup>(b5)</sup>	C <sup>(b5)</sup> *
メジャーセブンスフラットファイブ [M7b5]	1 - 3 - b5 - 7	C <sub>M7</sub> <sup>(b5)</sup>	C <sub>M7</sub> <sup>(b5)</sup> *
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5	C <sub>sus4</sub>	C <sub>sus4</sub>
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5	C <sub>aug</sub>	C <sub>aug</sub>
メジャーセブンスオーギュメント [M7aug]	1 - (3) - #5 - 7	C <sub>M7aug</sub>	C <sub>M7aug</sub> *
マイナー [m]	1 - b3 - 5	C <sub>m</sub>	C <sub>m</sub>
マイナーアッドナインス [m(9)]	1 - 2 - b3 - 5	C <sub>m</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>m</sub> <sup>(9)</sup>
マイナーシックス [m6]	1 - b3 - 5 - 6	C <sub>m6</sub>	C <sub>m6</sub>
マイナーセブンス [m7]	1 - b3 - (5) - b7	C <sub>m7</sub>	C <sub>m7</sub>
マイナーセブンスナインス [m7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - b7	C <sub>m7</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>m7</sub> <sup>(9)</sup>
マイナーセブンスアッドイレブンス [m7(11)]	1 - (2) - b3 - 4 - 5 - (b7)	C <sub>m7</sub> <sup>(11)</sup>	C <sub>m7</sub> <sup>(11)</sup> *
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1 - b3 - (5) - 7	C <sub>mM7</sub>	C <sub>mM7</sub>
マイナーメジャーセブンスナインス [mM7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - 7	C <sub>mM7</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>mM7</sub> <sup>(9)</sup> *
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7	C <sub>m7</sub> <sup>(b5)</sup>	C <sub>m7</sub> <sup>(b5)</sup>
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ [mM7b5]	1 - b3 - b5 - 7	C <sub>mM7</sub> <sup>(b5)</sup>	C <sub>mM7</sub> <sup>(b5)</sup> *
ディミニッシュ [dim]	1 - b3 - b5	C <sub>dim</sub>	C <sub>dim</sub>
ディミニッシュセブンス [dim7]	1 - b3 - b5 - 6	C <sub>dim7</sub>	C <sub>dim7</sub>
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - b7 または 1 - (3) - 5 - b7	C <sub>7</sub>	C <sub>7</sub>
セブンスフラットナインス [7(b9)]	1 - b2 - 3 - (5) - b7	C <sub>7</sub> <sup>(b9)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(b9)</sup>
セブンスアッドフラットサードティーンズ [7(b13)]	1 - 3 - 5 - b6 - b7	C <sub>7</sub> <sup>(b13)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(b13)</sup>
セブンスナインス [7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - b7	C <sub>7</sub> <sup>(9)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(9)</sup>
セブンスアッドシャープイレブンス [7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - b7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - b7	C <sub>7</sub> <sup>(#11)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(#11)</sup>
セブンスアッドサードティーンズ [7(13)]	1 - 3 - (5) - 6 - b7	C <sub>7</sub> <sup>(13)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(13)</sup>
セブンスシャープナインス [7(#9)]	1 - #2 - 3 - (5) - b7	C <sub>7</sub> <sup>(#9)</sup>	C <sub>7</sub> <sup>(#9)</sup>
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7	C <sub>7b5</sub>	C <sub>7b5</sub> *
セブンスオーギュメント [7aug]	1 - 3 - #5 - b7	C <sub>7aug</sub>	C <sub>7aug</sub>
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - (5) - b7	C <sub>7sus4</sub>	C <sub>7sus4</sub>
ワンプラスツープラスファイブ [1+2+5]	1 - 2 - 5	C <sub>1+2+5</sub>	C *

\* DICTIONARY画面では表示されません。

NOTE

- ・カッコ( )内の音符は省略しても構いません。
- ・完全5度の押鍵ではルート音と5度の音による伴奏が演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。
- ・オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
- ・コード押鍵はすべて基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。  
m7、m7b5、6、m6、sus4、aug、dim7、7b5、6(9)、1+2+5

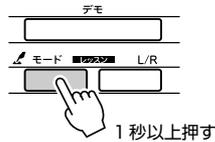
NOTE

- ・7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、伴奏が変化しないことがあります。
- ・鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

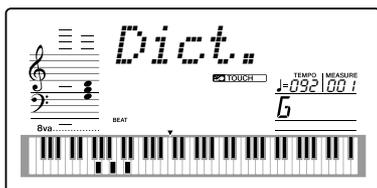
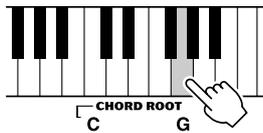
## コードディクショナリーでコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コードディクショナリーで調べることができます。

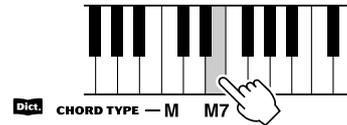
- 1** [レッスンモード] (LESSON MODE) ボタンを1秒以上押し続けます。DICTIONARY画面が表示されます



- 2** たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の下に書かれた「CHORD ROOT」から「G」の鍵盤を押します (音は鳴りません)。設定されたルート音が画面に表示されます



- 3** 鍵盤の下に書かれた「CHORD TYPE」から「M7 (メジャーセブンス)」の鍵盤を押さえます (音は鳴りません)。設定されたコード (ルート音 + コードタイプ) の押さえ方が、画面に楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます



調べたコードの音符      調べたコードのコード名



調べたコードの押さえ方

[+]、[-] ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

### NOTE

- メジャーコードについて  
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。  
例：Cの表記はCメジャーを意味します。  
メジャーコードを調べる場合は、ルート音を押したあとに「M」を押してください。

- 4** 画面の表示にしたがって、自動伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が点滅します

## ■コードについて .....

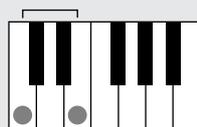
音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

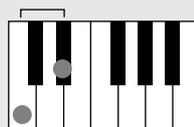


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

長3度.....半音4つの間隔

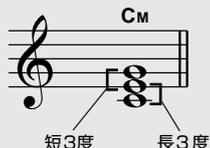


短3度 .... 半音3つの間隔

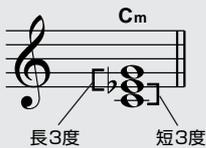


その組み合わせは次の4種類になります。

◆メジャーコード



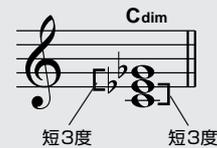
◆マイナーコード



◆オーギュメントコード



◆ディミニッシュコード



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

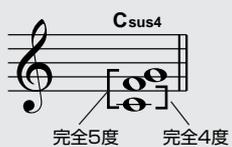
### ●和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。

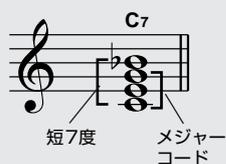


### ●和音の種類(通常押さえ方で認識されるコードの一部)

◆サスフォーコード



◆セブンスコード



◆マイナーセブンスコード



◆メジャーセブンスコード



◆マイナーメジャーセブンスコード



◆セブンスフラットファイブコード



◆マイナーセブンスフラットファイブコード



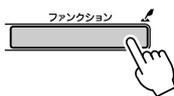
◆セブンスサスフォーコード



# ソングの再生に関する設定

## ソング音量の設定

1 [ファンクション](FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]でSong Volumeの項目を表示させます



3 ダイヤルや数字ボタン[0]～[9]を使ってソング音量(000～127)を設定します

**NOTE**

・ソング音量は、ソングが選ばれているときに設定できます。

## ソングの一部をくり返して聞く

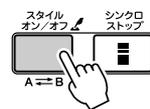
ソングのある特定の範囲(A点とB点)を指定して、くり返し再生することができます。



1 ソングを再生(30ページ)し、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいところで[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します



2 くり返し再生の終了位置(B点)にしたいところで、もう一度[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します



3 ソングはA-B間でくり返し再生されます

くり返し設定を取り消すには、くり返し再生中に[A⇌B](ABリピート)ボタンを押します。

**NOTE**

- ・くり返しの設定は、小節単位で行ないます。
- ・画面には、001などの小節番号が表示されます。現在どの小節を再生中かわらわしてあり、ソングの進行にしたがって小節番号も変わります。
- ・くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A⇌B](ABリピート)ボタンを押して設定します。

## ソングの一部をミュート(消音)する

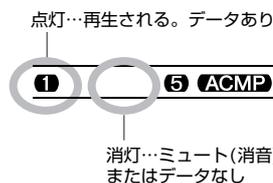
ソングは、演奏のパートや伴奏などに分かれた複数のトラックが同時に鳴っています。

それらの一部のトラックを鳴らさずに自分で弾いたり、特定のトラックだけを鳴らしたりすることができます

トラックのオン/オフは、ソングメモリー (SONG MEMORY)の[1]～[5]、[A]ボタンで行ないます。

オフにすると、そのトラックの演奏はミュート(消音)され、画面のトラック表示が消灯します。

ソングのトラック構成については、38ページに詳しい説明があります。

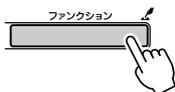


## ソングのキーを変える

### ◆大きく音程を変える場合 (TRANSPOSE)

楽器全体の音の高さを、半音単位で、±1オクターブの範囲で変更できます。

#### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します



#### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してTransposの項目を表示させます

トランスポーズ



#### 3 ダイヤルや数字ボタン[0]～[9]を使ってトランスポーズ量(-12～+12)を変更します

**NOTE**

・ドラムキットの音程は変えられません。

### ◆微妙な調整をする場合 (TUNING)

楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を、-100～100(単位:セント)の範囲で設定することができます。

#### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します



#### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押してTuningの項目を表示させます

チューニング



#### 3 ダイヤルや数字ボタン[0]～[9]を使って音の高さ(-100～+100)を微調整します

**NOTE**

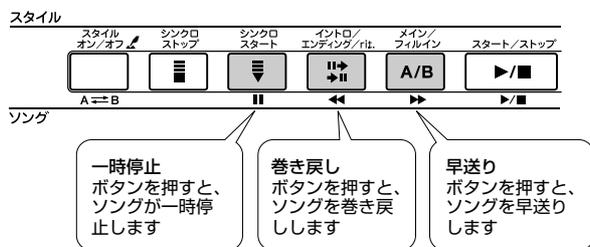
・ドラムキットの音程は変えられません。

## ソングを早送り、巻き戻し、一時停止するには

CDプレーヤーやカセットデッキのように、早送り[▶▶]、巻き戻し[◀◀]、一時停止[||]ボタンでソングの再生をコントロールできます。

**NOTE**

・A⇌Bリピートが設定されている場合、早送りや巻き戻しはその設定範囲内でのみ可能です。



## メロディ音色を変える

ソングのメロディ音色を、好みの楽器音に変えることができます。

**NOTE**

・ユーザーソングのメロディ音色は変えられません。

**1** [ソング](SONG) ボタンを押して、好きなソングをスタートさせます

**2** [楽器](VOICE) ボタンを押したあと、ダイヤルを回して好きな楽器音を選びます



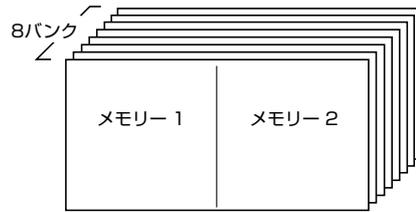
**3** [楽器](VOICE) ボタンを1秒以上押します。「MELODY VOICE CHANGE」と数秒表示されたあと、手順2で選んだ楽器音が、ソングのメロディ音色になります





# 好みのパネル設定を記憶させよう

この楽器には、楽器音やスタイルなど、パネル上での設定内容を16種類(8バンク×2)まで本体に記録させることができるREGISTRATION MEMORY(レジストレーションメモリー)という機能があります。記録したパネル設定は、いつでも呼び出すことができます。



16種類(8バンク×2)のパネルを記録できる

## レジストレーションメモリーに記録する

### ■レジストレーションメモリーに記録/呼び出しできる設定内容.....

- ・スタイル設定\*.....スタイル番号、スタイル オン/オフ、スプリットポイント、スタイル設定(メインA/B)、スタイル音量、テンポ
- ・楽器音設定.....メインボイス設定(楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)、デュアルボイス設定(デュアル オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)、スプリットボイス設定(スプリット オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル)
- ・エフェクト設定.....リバーブタイプ、コーラスタイプ、パネルサステイン オン/オフ
- ・ハーモニー設定.....ハーモニー オン/オフ、ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- ・その他.....トランスポーズ設定  
ピッチバンドレンジ(DGX-205のみ)

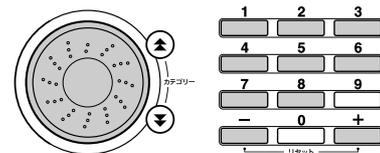
\*ソングを選んでいる状態では、スタイル設定は記録/呼び出しできません。

### ■レジストレーションメモリーへの記録.....

- 1 パネル設定(楽器音、スタイルなど本体パネル上で行う設定)を、記録させたい状態にします
- 2 **[●]**(メモリー/バンク) ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



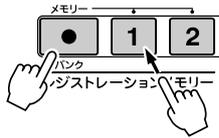
- 3 記録したいバンク(1~8)の番号をダイヤルや数字ボタン[1]~[8]を使って選択します



#### NOTE

- ・ソング再生中は、レジストレーションメモリーへの記録はできません。

- 4** [●](メモリー/バンク)ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーボタン([1]または[2])を押します。これで現在のパネル設定が本体に記録されました



**NOTE**

- すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。



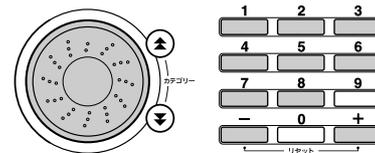
- 書き込み中の表示をしているあいだは電源を切らないでください。データがこわれるおそれがあります。

**■レジストレーションメモリーの呼び出し ..**

- 1** [●](メモリー/バンク)ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



- 2** 呼び出したいバンク(1~8)の番号をダイヤルや数字ボタン[1]~[8]を使って選択します



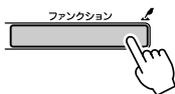
- 3** 呼び出したい記録が入っているレジストレーションメモリーボタン([1]または[2])を押します。これで希望するパネル設定が呼び出されました



チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのがFUNCTION(機能設定)です。よく使う機能などはボタンを1秒以上押すことでダイレクトにその項目に移動できます。

## 各設定の変更

### 1 [ファンクション](FUNCTION)ボタンを押します



### 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]で目的の項目に移動します

63ページの機能設定リストをご覧ください。



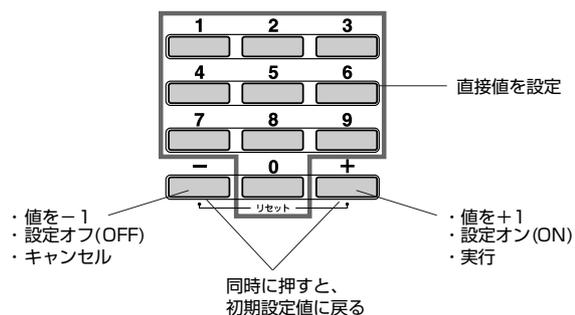
選ばれている項目タイトル

### 3 ダイアルや[+]、[-]ボタン、または数字ボタン[0]～[9]で、値を設定します

オン(ON)/オフ(OFF)の設定には、[+]ボタン(オン)/[-]ボタン(オフ)を使います。

実行/キャンセルの設定には[+]ボタン(実行)/[-]ボタン(キャンセル)を使います。

また、[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセットアップセンド、バルクセンドを除く)



### 4 必要に応じて[ファンクション](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、フラッシュメモリーへバックアップをします

ファンクション各設定は、設定した時点で記憶されます。しかし、電源を切るとその内容はすべて消えてしまいます。バックアップ操作を行なうと、次回電源を入れたときにフラッシュメモリー内のバックアップデータが読み込まれます。(42ページ)



1秒以上押す



書き込み中は電源を切らないでください。データがこわれるおそれがあります。

## ■機能設定画面リスト

カテゴリー	設定	項目タイトル	設定値	内容
ボリューム (VOLUME)	スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000~127	スタイルの再生音量を設定します。
	ソング音量	<i>SongVol</i>	000~127	ソングの再生音量を設定します。
オーバーオール (OVERALL)	トランスポーズ	<i>Transpos</i>	-12~12	音程を半音単位で設定します。
	チューニング	<i>Tuning</i>	-100~100	楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を設定します。単位はセント。
	ピッチベンドレンジ (DGX-205のみ)	<i>PBRange</i>	01~12	ピッチベンドの変化幅を半音単位で設定します。
	スプリットポイント	<i>SplitPnt</i>	000~127 (C-2~G8)	スプリットボイスとメインボイスの境目を設定します。自動伴奏のスプリットポイントにもこの設定が当てられます。
	タッチ感度	<i>TouchSns</i>	1(Soft)、2(Medium)、3(Hard)	タッチレスポンスがオンの場合のタッチ感度を設定します。
メインボイス (MAIN VOICE)	音量	<i>M. Volume</i>	000~127	メインボイスの音量を設定します。
	オクターブ	<i>M. Octave</i>	-2~+2	メインボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	<i>M. Pan</i>	000~64~127 (左~中央~右)	メインボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	<i>M. Reverb</i>	000~127	メインボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	<i>M. Chorus</i>	000~127	メインボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
デュアルボイス (DUAL VOICE)	楽器音	<i>D. Voice</i>	001~487	デュアルボイスの楽器音を設定します。
	音量	<i>D. Volume</i>	000~127	デュアルボイスの音量を設定します。
	オクターブ	<i>D. Octave</i>	-2~+2	デュアルボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	<i>D. Pan</i>	000~64~127 (左~中央~右)	デュアルボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	<i>D. Reverb</i>	000~127	デュアルボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	<i>D. Chorus</i>	000~127	デュアルボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
スプリットボイス (SPLIT VOICE)	楽器音	<i>S. Voice</i>	001~487	スプリットボイスの楽器音を設定します。
	音量	<i>S. Volume</i>	000~127	スプリットボイスの音量を設定します。
	オクターブ	<i>S. Octave</i>	-2~+2	スプリットボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	<i>S. Pan</i>	000~64~127 (左~中央~右)	スプリットボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブセンドレベル	<i>S. Reverb</i>	000~127	スプリットボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスセンドレベル	<i>S. Chorus</i>	000~127	スプリットボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
エフェクト (EFFECT)	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	01~10	リバーブタイプを選択します。10はリバーブ オフ。エフェクトタイプリスト参照(86ページ)
	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	01~05	コーラスタイプを選択します。5はコーラス オフ。エフェクトタイプリスト参照(86ページ)
	パネルサステイン	<i>Sustain</i>	ON/OFF	MAIN/DUAL/SPLIT 音色に常にサステイン効果をかける(ON)か、かけない(OFF)かを設定します。(50ページ)
ハーモニー (HARMONY)	ハーモニータイプ	<i>HarmType</i>	01~26	ハーモニータイプを選択します。エフェクトタイプリスト参照(86ページ)
	ハーモニー音量	<i>HarmVol</i>	000~127	ハーモニータイプ1~5が選ばれているときの、ハーモニー音量を設定します。

カテゴリ	設定	項目タイトル	設定値	内容
PCモード(PC)	PCモード	<i>PC mode</i>	PC1/PC2/OFF	コンピューターと接続する際のMIDI設定を、もっとも適したものにします(67ページ)。 PC1は外部シーケンサーなどを使用したり、LOCAL OFF/EXTERNAL CLOCK ONで使用する場合はモードです。 PC2は将来のコンピューター用アプリケーションのための拡張用です。 OFFでの設定はLOCAL ON、EXTERNAL CLOCK OFF、KEYBOARD OUT ON、STYLE OUT ON、SONG OUT ONになります。
MIDI (MIDI)	ローカル オン/オフ	<i>Local</i>	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。(66ページ)
	外部クロック	<i>ExtClock</i>	ON/OFF	この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。(66ページ)
	キーボードアウト	<i>KbdOut</i>	ON/OFF	鍵盤の演奏情報をUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	スタイルアウト	<i>StyleOut</i>	ON/OFF	スタイルの再生時にスタイルデータをUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	ソングアウト	<i>SongOut</i>	ON/OFF	ソングの再生時にソングデータをUSB端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	イニシャルセットアップ センド	<i>InitSend</i>	YES/NO	この楽器のパネル設定をコンピューターに送信します。[+]ボタンを押すと実行、[-]ボタンを押すとキャンセル。
	バルクセンド	<i>BulkSend</i>	YES/NO	ユーザーソングとレジストレーションメモリーデータを、お使いのコンピューター上のシーケンスソフトウェアに、バルクデータとして送信/保存することができます。楽器と、USB MIDIドライバーがインストールされたコンピューターを接続します。楽器の画面にBulk Send項目を表示させ、[+]ボタンを押すとバルクデータが送信されます。[-]ボタンを押すと送信がキャンセルされます。楽器とコンピューターとの接続については67ページ、USB MIDIドライバーのインストールについては71ページをご覧ください。
メトロノーム (METRONOME)	拍子	<i>TimeSig</i>	00~15	メトロノームの拍子を設定します。
	メトロノーム音量	<i>MtrVol</i>	000~127	メトロノームの音量を設定します。
レッスン (LESSON)	レッスントラックR	<i>R-Part</i>	GuideTrack 1~16	右手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。フラッシュメモリー内のSMFフォーマット0のソング(036~)にだけ機能します。
	レッスントラックL	<i>L-Part</i>	GuideTrack 1~16	左手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。フラッシュメモリー内のSMFフォーマット0のソング(036~)にだけ機能します。
ユーティリティ (UTILITY)	採点	<i>Grade</i>	ON/OFF	レッスン機能終了後に採点をする(ON)かしない(OFF)かを設定します。
	デモキャンセル	<i>D-Cancel</i>	ON/OFF	オン(ON)にすると、[デモ](DEMO)ボタンを押してもデモソングがスタートしません。

\* [+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセットアップセンド、バルクセンドを除く)

# コンピューターと接続してお使いになりたい方へ

シンセサイザーやシーケンサーといった電子楽器(デジタル楽器)やコンピューターミュージックは、MIDIという規格に基づいて演奏情報や設定情報を表しています。この楽器のソングやスタイルの演奏情報やパネル設定なども、もちろんMIDI規格に基づいています。

この楽器とコンピューターを接続し、MIDI情報を通信することで、音楽制作の幅を広げることができます。ここではMIDIの基礎知識とこの楽器でのMIDI機能について説明します。

## MIDIとは

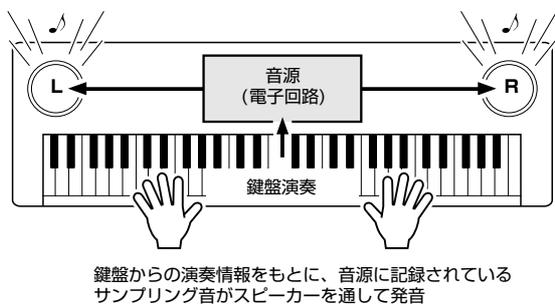
「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか?今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはグランドピアノやギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。それでは電子楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

### ●アコースティック楽器の発音



### ●電子楽器(デジタル楽器)の発音



上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、この楽器をグランドピアノの音色で、「ド」の鍵盤を4分音符の長さで、強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どの楽器音で」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えられて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るので

### 【演奏情報の例】

楽器音番号(どの楽器音で)	1(グランドピアノ)
ノート番号(どの鍵盤を)	60(ド:C3)
ノートオン(いつ押さえたか)&ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

このようにこの楽器では、鍵盤演奏や楽器音変更などのパネル操作のひとつひとつがMIDIデータとして処理されています。また、ソングや自動伴奏(スタイル)、ユーザーソングなども同様にMIDIデータで構成されています。

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどで)演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。このMIDIを使うことにより、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

### ●チャンネルメッセージ

この楽器はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	この楽器の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	楽器の設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	楽器の設定(音量、パン)など

### ●システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	この楽器の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラスタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック、スタート/ストップなど

## コンピューターとの接続

この楽器とコンピューターを接続することで、MIDIデータの送受信ができます。

この楽器リアパネルのUSB端子とコンピューターのUSB端子を、USBケーブルを使って接続します (USBケーブルは別途お買い求めいただく必要があります)。

さらに、この楽器に付属のCD-ROMに入っている「USB-MIDIドライバー」をコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは『アクセサリ CD-ROMインストールガイド』(70ページ)をご覧ください。

また、付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「Musicsoft Downloader」を使うと、コンピューター上のソングファイルはこの楽器のフラッシュメモリーへ転送することができます。



### ■USBに関するご注意

USB端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。

以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。

コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。



- ・USB端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止) モードを解除してください。
- ・本体の電源を入れる前に、USB端子とコンピューターを接続してください。
- ・本体の電源を入れたり切ったりする前や、USBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
  - ・すべてのアプリケーションを終了させてください。
  - ・本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
- ・本体の電源を入れたり切ったりすることや、USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。
- ・楽器とコンピューターのUSB端子は、ハブを経由せずに接続してください。

### NOTE

- ・以下の場合には、「Musicsoft Downloader」からこの楽器にアクセスできません。
  - ・MIDI BULK送受信中
  - ・スタイルが再生しているとき
  - ・ソングが再生しているとき

## MIDI設定

MIDIデータの送受信に関する設定を行ないます。

### ■ローカルオン/オフ (ON/OFF) (Local) .....

この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす (オン) か鳴らさない (オフ) かの設定です。

#### オン (ON : ローカルオン)

..... この楽器での演奏は、通常通りこの楽器で発音します。また、USB端子より受信した情報もこの楽器で発音します。

#### オフ (OFF : ローカルオフ)

..... この楽器での演奏 (鍵盤演奏、ハーモニー、スタイル) は、この楽器で発音しません。ただし、演奏データはUSB端子より送信されます。また、USB端子より受信した情報はこの楽器で発音します。

ローカルオン (ON)/オフ (OFF) の設定は、FUNCTIONのLocalの項目で行ないます。(64ページ)



- ・ローカルがオフ (OFF) に設定されていると、鍵盤を弾いても楽器から音は鳴りません。

### ■外部クロックオン/オフ (ON/OFF) (External Clock) .....

この楽器のクロックを内部クロックで動作させる (オフ) か、外部クロックで動作させる (オン) かの設定です。

#### オン (ON : 外部クロックで動作)

..... USB端子に接続した外部機器から送られるクロックで動作します。

#### オフ (OFF : 内部クロックで動作)

..... この楽器の内部クロックで動作します。(通常動作)

外部クロックオン (ON)/オフ (OFF) の設定は、FUNCTIONのExternal Clockの項目で行ないます。(64ページ)



- ・外部クロックをオン (ON) にすると、外部からクロック信号が入力されない限り、ソング、スタイルはスタートしません。



## ■ Musicsoft Downloader を使って、アクセサリーCD-ROMのMIDIソングを楽器のフラッシュメモリーに転送してみましょう ●

### NOTE

・楽器がソングやスタイルを再生中の場合は、ストップさせてください。

1 Musicsoft DownloaderおよびUSB-MIDIドライバーをコンピューターにインストールします(73ページ)

2 アクセサリーCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、スタート画面を閉じてください

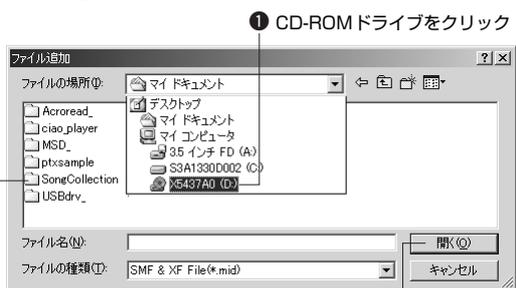
3 デスクトップのMusicsoft Downloaderのショートカットアイコンをダブルクリックします。Musicsoft Downloaderが起動し、画面が表示されます

### NOTE

・Musicsoft Downloader起動中は、楽器の操作はできません。

4 [ファイル追加] ボタンをクリックすると、ファイル追加画面が表示されます

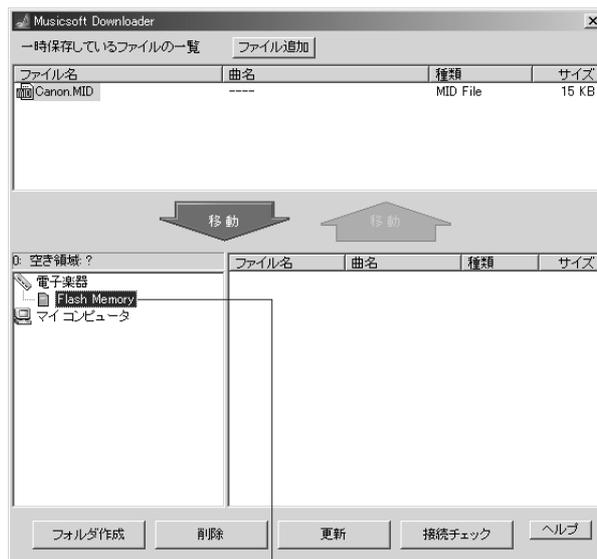
5 「ファイルの場所」の右横にある▼ボタンをクリックして、ポップアップメニューのCD-ROMドライブをクリックします。画面上に「SongCollection」フォルダが表示されるので、ダブルクリックします。電子楽器に転送したいソングファイルを選択し、[開く] をクリックします



② 「SongCollection」フォルダをダブルクリックします。「for\_CD」フォルダをダブルクリックし、転送したいファイルをクリック

③ [開く]をクリック

6 画面上部の「一時保存しているファイルの一覧」に、選んだMIDIソングファイルのコピーが表示されます。コピーの移動先として、画面左下にメディア[Flash Memory]が表示されるので、メディア[Flash Memory]をクリックします



① [Flash Memory]をクリック

7 転送したいファイルを選択して[移動]ボタンを押すと、確認のメッセージが出ます。[OK]をクリックすると、一時保存しているファイルの一覧から楽器のメディアへソングが転送されます

8 画面を閉じて、Musicsoft Downloaderを終了させてください

### NOTE

・転送したソングを再生するには、Musicsoft Downloaderを終了させる必要があります。

9 転送したソングを再生させるには、[ソング](SONG)ボタンを押します。ダイヤルを回して聞きたいソング名を表示させます。[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングが再生されます



・通信中はUSBケーブルを抜かないでください。送信中のデータが保存されないだけでなく、メディアの動作が不安定になり、メモリー内容が電源を入れたり切ったりするときにすべて消える可能性があります。



・保存したデータは、故障や誤操作のために失われることがあります。大切なデータはコンピューター側に保存しておくことをおすすめします。  
・データを受信するときは、アダプターをご使用になることをおすすめします。電池でご使用中、受信時に電池がなくなるとデータがこわれる原因になります。

●コンピューターから転送したソングをレッスンで使うために...

コンピューターから転送したSMFフォーマット0のソングを使ってレッスンをするには、どのチャンネルを右手/左手パートとして再生させるのか設定しておく必要があります。これをガイドトラックの設定と呼びます。

- 1 [ソング](SONG) ボタンを押して、ガイドトラックの設定を行ないたいメディア内のソング(036～)を選択しておきます
- 2 [ファンクション](FUNCTION) ボタンを押します
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押して、R-Part(右手パート)項目、またはL-Part(左手パート)項目を表示させます
- 4 **ダイヤル**を使って、右手パート、左手パートとして再生させたいチャンネルを表示させます

右手パートには1ch、左手パートには2chを設定することをおすすめします。

■Musicsoft Downloaderを使って、アクセサリー CD-ROMの楽譜データのサンプルを、コンピューターに接続したプリンターで印刷してみましょう.....

楽譜データを印刷するには、インターネットに接続している必要があります。

- 1 Musicsoft Downloaderをインストール(73ページ)したあと、コンピューターとプリンターを接続します。詳細はお使いのプリンター付属の取扱説明書をご参照ください
- 2 アクセサリー CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 3 マイコンピュータをダブルクリックすると、CD-ROMが表示されます。CD-ROMアイコンを右クリックして[開く]をクリックすると、「ptxsample」フォルダが表示されます
- 4 「ptxsample」フォルダをダブルクリックします。「ptxsample」ファイルが表示されるので、ダブルクリックします。印刷ドライバ画面が表示されるので、必要に応じて設定をし、OKボタンをクリックすると印刷が始まります



## 5 ソフトウェアをインストールします

- ひいチャオプレーヤとMusicsoft Downloader :  
73ページをご覧ください。
- YAMAHA USB MIDI Driver :  
71ページをご覧ください。

## 6 ソフトウェアを起動します

これ以降の操作については、各ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

## ソフトウェアの動作環境

データ名	OS	CPU	メモリー	ハードディスク	ディスプレイ
Musicsoft Downloader	Windows 98SE/Me/2000/ XP Home Edition/ XP Professional	233MHz 以上の Intel® Pentium® および Celeron® ファミリー	64MB 以上 (256MB 以上推奨)	128MB 以上の 空き領域 (512MB 以上 推奨)	800×600 HighColor(16-bit)
USB Driver for Windows 98/Me	Windows 98/98SE/Me	166MHz 以上の Intel® Pentium® および Celeron® ファミリー	32MB 以上 (64MB 以上推奨)	2MB 以上の 空き領域	—
USB Driver for Windows 2000/XP	Windows 2000/XP Home Edition/XP Professional			13MB 以上の 空き領域	800×640 HighColor(16-bit)
ひいチャオプレーヤ	Windows 98/Me/2000/ XP Home Edition/ XP Professional				

## ソフトウェアのインストール

### ●アンインストール (アプリケーションの削除)

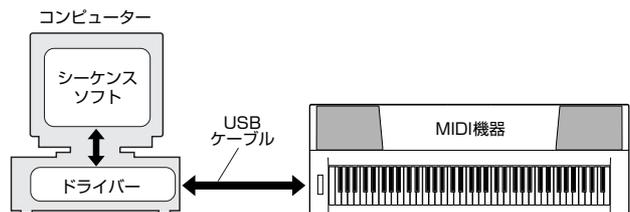
次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。  
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。  
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

#### NOTE

- ・ご使用の OS によりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

### ■USB MIDI ドライバーのインストール・・・

MIDI 機器をコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。  
USB-MIDI ドライバーは、シーケンスソフトなどから USB ケーブルを通じて、MIDI 機器に MIDI 信号を送信したり、逆に MIDI 機器からシーケンスソフトなどに MIDI 信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows 98/Meをお使いの場合→72ページ

Windows 2000をお使いの場合→72ページ

Windows XPをお使いの場合→73ページ

お使いの CD-ROM ドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中の CD-ROM アイコンの下に表示されています。(CD-ROM ドライブのルートディレクトリーはそれぞれ D:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

## Windows 98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 3 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます  
Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバーを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。  
ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバーの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブの「USBdrv\_」フォルダーを指定して[次へ]をクリックします。  
画面の指示に従ってインストールし、手順8へお進みください。

## NOTE

・Windows Meへインストールする場合、手順4～7は不要です。

- 4 [次へ]をクリックします  
検索方法を選択する画面が表示されます。
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします  
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 検索場所指定の左側にチェックを入れ、[参照]をクリックしたあと、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv\_」ディレクトリー (D:\¥USBdrv\_¥など)を直接指定します。
- 7 CD-ROMの中のドライバーを検出し、インストールの準備が終わると、ドライバーをインストールする準備ができた旨のメッセージが表示されます。「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります
- 8 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されます。  
[完了]をクリックします

## NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

## Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログインします
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視-ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください
- 4 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。  
[次へ]をクリックします
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします  
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。  
[次へ]をクリックします

## NOTE

・ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k」ディレクトリー (D:\¥USBdrv2k\_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。  
[完了]をクリックします

## NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8 コンピューターを再起動します

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

## Windows XPへのインストール

**1** コンピューターを起動します

**2** [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。コントロールパネルがカテゴリー表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます

**3** [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします

**4** [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます

**5** CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、画面を閉じてください

**6** MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます

**NOTE**

・コンピューターによっては、この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

**7** 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります

**8** インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします

**NOTE**

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

**9** コンピューターを再起動します

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

**■ Musicsoft Downloader と  
ひいチャオプレーヤのインストール .....****IMPORTANT**

・ Musicsoft DownloaderをWindows 2000またはXPにインストールするには、administrator権限のあるアカウントでログインしてください。

**IMPORTANT**

・ この楽器とコンピューターの間でファイル転送を行なう場合、使用可能なアプリケーションはMusicsoft Downloaderのみです。その他のファイル転送アプリケーションは使えません。

**1** アクセサリ CD-ROMをコンピューターのドライブに挿入します。自動的にスタート画面が起動し、アプリケーションソフトウェアの項目が表示されます

**NOTE**

・自動的にスタート画面が起動しない場合は、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開きます。CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「開く」を選びます。「Start.exe」をダブルクリックします。そのまま手順2に進んでください。

**2** インストールしたいソフトをクリックし、[インストール]ボタンを押します。画面の指示に従ってインストールを実行します

ひいチャオプレーヤの詳しい操作については、ヘルプをご覧ください。ひいチャオプレーヤを起動させて、[ヘルプ]をクリックします。

Musicsoft Downloaderの詳しい操作については、ヘルプをご覧ください。Musicsoft Downloaderを起動させて、[ヘルプ]をクリックします。

\*下記URLで、「Musicsoft Downloader」の最新バージョンを入手できます。

<http://www.yamaha.co.jp/download/msd/>

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

CD-ROMの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに（14日以内に）ご返却ください（ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません）。

### ソフトウェア使用許諾契約

#### 1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル（以下「許諾プログラム」といいます）を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているCD-ROMの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

#### 2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

#### 3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

#### 4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

#### 5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

#### 6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。弊社は、第三者ソフトウェアに関する操作手法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

#### 7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。



# 故障かな?と思ったら

## ■DGX-205、PSR-295本体

現象	原因と解決方法
[電源 切/入](STANDBY/ON) スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がある。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか?ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。 MIDI のローカルがオフ(OFF)に設定されていませんか?ローカルの設定をオン(ON)にしてください。(66 ページ)
右手の鍵盤を弾いても、音が鳴らない。	コードディクショナリー(55 ページ)を使用していませんか?右手の鍵盤はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・リズムが止まる。 ・ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。 ・突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。	電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン(ON)に設定されていませんか?66 ページの「外部クロック オン/オフ(ON/OFF)」の項を参照して、外部クロックをオフ(OFF)に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか?スタイル音量の設定を確認してください。(63 ページ) コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか?「スプリットポイントの設定」(51 ページ)の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP 表示は出ていますか?表示がでない場合は、もう一度【スタイル オン/オフ】(ACMP ON/OFF) ボタンを押して ACMP を表示させてください。
スタイル番号 112 と 124 ~ 135(ピアニスト) を選んでいるとき、【スタート/ストップ】(START/STOP) ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。スタイル番号 112 と 124 ~ 135(ピアニスト)は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルオン時に自動伴奏鍵盤でコードを押さえると、リズム以外のパートを含んだスタイルを鳴らすことができます。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(32音)を越えています。 デュアルボイスやスプリットボイス、スタイルやソングなどを合わせて最大32音の範囲で鳴らすことができます。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう1度電源を入れ直してください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにかけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
鍵盤を押したとおりの音で鳴らない。	パフォーマンスアシスタント機能がオンになっていませんか?【パフォーマンスアシスタント】(PERFORMANCE ASSISTANT) ボタンを押して OFF にしてください。
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押しても ACMP が表示されない。	【スタイル】(STYLE) ボタンは点灯していますか?スタイルに関する機能を使うときは、まず【スタイル】(STYLE) ボタンを押してください
ハーモニーが鳴らない	ハーモニー(01 ~ 26)はタイプ別に鳴らし方が異なります。01 ~ 05は、スタイルオン時、自動伴奏鍵盤でコードを押さえてスタイルを鳴らし、右側の鍵盤を弾くとハーモニー音が加わります。06 ~ 26はスタイル オン/オフには関係ありませんが、06 ~ 12は2音同時に押さえる必要があります。

## ■付属ソフトウェア

### ドライバーがインストールできない

- **USBケーブルは正しく接続されていますか？**  
USBケーブルの接続を確認してください(MIDI機器 取扱説明書)。  
一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- **お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか？**  
初めてMIDI機器をコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

**1** 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。

**2** 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。  
「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

- **不明なデバイスが登録されていませんか？**  
何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MIDI機器が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

**1** 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。

**2** 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。

**3** 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。

**4** USBケーブルをMIDI機器から抜いて、接続し直します。

**5** 以下、72ページの手順3以降(Win98/Me)、72ページの手順4以降(Win2000)、73ページの手順6以降(WinXP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

### USB経由でコンピューターよりMIDI機器を操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

- ドライバーはインストールしましたか(71ページ)？
- USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MIDI機器取扱説明書)？
- 音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？

- **ドライバーは最新のをインストールしましたか？**  
ヤマハホームページ([http://www.yamaha.co.jp/download/usb\\_midi/](http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/))から最新のドライバーをダウンロードできます。

### 演奏がもたつく

- **お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか？**
- **他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？**

### 正常にサスペンド、レジュームができない

- **MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？**  
Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MIDI機器は正常に動作します。)

### ドライバーの削除、再インストールがしたい

#### 【Windows Me/98の場合】

- 1** MIDI機器が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3** MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。

#### NOTE

・ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール(表示)」メニューから「フォルダーオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダー)を表示する」に設定しておいてください。

- ・ ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥\*\*\*\*.INF
- ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.drv
- ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys

- 4** USBケーブルを抜きます。
- 5** コンピューターを再起動します。
- 6** 71ページのドライバーのインストールに従って、再インストールします。



# 仕様一覧

## 鍵盤

- DGX-205 レギュラーサイズ 76 鍵 (E0 ~ G6: タッチレスボンス付き)
- PSR-295 レギュラーサイズ 61 鍵 (C1 ~ C6: タッチレスボンス付き)

## ディスプレイ

- 大型液晶ディスプレイ (バックライト付き)

## セットアップ

- [電源切/入](STANDBY/ON) スイッチ
- 全体音量 (MASTER VOLUME) コントロール: 小~大

## パネルコントロール

- [タッチレスボンス](TOUCH)、[ハーモニー](HARMONY)、[デュアル](DUAL)、[スプリット](SPLIT)、[DEMO]、[LESSON MODE]、[LESSON L/R]、[LESSON REPEAT&LEARN]、[PERFORMANCE ASSISTANT]、[FUNCTION]、[PC]、[METRONOME]、[PORTABLE GRAND]、[SONG]、[EASY SONG ARRANGER]、[STYLE]、[VOICE]、ダイアル、カテゴリー[▲]/[▼]、[0] ~ [9]、[+]、[-]、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)/[A ⇄ B]、[シンクロストップ](SYNC STOP)、[シンクロスタート](SYNC START)/[II]、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)/[◀]、[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)/[▶▶]、[スタート/ストップ](START/STOP)/[▶/■]、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)、レジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY)([●]) (MEMORY/BANK)、[1]、[2]、ソングメモリー (SONG MEMORY)([REC]、[1] ~ [5]、[A])

## リアルタイムコントロール

ピッチベンドホイール (DGX-205 のみ)

## 楽器

- 114 パネル音色 + 12 ドラムキット + 359 XGlite 音色 + 2 XGlite オプション音色 (最大同時発音数 32)
- デュアルボイス
- スプリットボイス

## スタイル

- 135 プリセット
- スタイルコントロール: スタイルオン/オフ、シンクロストップ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダンド、メイン/フィルイン
- マルチフィンガリング
- スタイル音量

## レッスン機能

- コードディクショナリー
- レッスン 1 ~ 3、くり返し練習

## レジストレーションメモリー

- 8バンク × 2

## 機能

- ボリューム : スタイル音量、ソング音量
- オーバーオール: トランスポーズ、チューニング、ピッチベンドレンジ (DGX-205 のみ)、スプリットポイント、タッチ感度
- メインボイス: 音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- デュアルボイス: 楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- スプリットボイス: 楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル
- エフェクト : リバーブタイプ、コーラスタイプ、パネルサステイン
- ハーモニー : ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- PC モード : PC1/PC2/オフ

- MIDI : ローカル オン/オフ、外部クロック、イニシャルセットアップセンド、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト、バルクセンド
- メトロノーム : 拍子、メトロノーム音量
- レッスン : レッスントラック R、レッスントラック L
- ユーティリティ : 採点オン/オフ、デモキャンセル

## エフェクト

- リバーブ : 9 種類
- コーラス : 4 種類
- ハーモニー : 26 種類

## ソング

- プリセットソング 30 曲 + ユーザーソング 5 曲 + 付属 CD-ROM (70 曲)
- ソングクリア、トラッククリア
- ソング音量

## パフォーマンスアシスタント

### 録音

- ソング  
ユーザーソング : 5 曲  
録音トラック : 1、2、3、4、5、スタイル

### MIDI

ローカル オン/オフ、イニシャルセットアップセンド、外部クロック、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト、バルクセンド

### 付属端子

- USB、SUSTAIN、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V

### アンプ実用最大出力

- DGX-205 : 6W + 6W
- PSR-295 : 3W + 3W

### スピーカー

- 12cm × 2 + 3cm × 2

### 電源

- DGX-205 : 電源アダプター PA-5D
- PSR-295 : 電源アダプター PA-3C
- 電池 : 単 1 乾電池 (1.5V) × 6

### 電池寿命

- マンガン電池で約 8 時間

### 消費電力

- DGX-205 : 電源アダプター PA-5D 使用時 : 27W
- PSR-295 : 電源アダプター PA-3C 使用時 : 22W

### 寸法 (幅 × 奥 × 高 mm)

- DGX-205 : 1,178 × 412 × 150
- PSR-295 : 952 × 388 × 146

### 質量

- DGX-205 : 8.8 kg (乾電池含まず)
- PSR-295 : 7.0 kg (乾電池含まず)

### 付属品

- 電源アダプター PA-5D (DGX-205)、電源アダプター PA-3C (PSR-295)、譜面立て、和文シート、アクセサリ CD-ROM、取扱説明書、保証書、ソングブック

### オプション(別売)品

- キーボードスタンド : LW-16 (DGX-205)  
L-2C/L-2L (PSR-295)
- ソフトケース : SCC-35 (PSR-295 のみ)
- ヘッドフォン : HPE-150/HPE-30
- フットスイッチ : FC4/FC5

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。



# 楽器リスト

## ■ 最大同時発音数について .....

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先\*で発音します。

\*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

### NOTE

- ・MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo. を使用してください。
- ・プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo. から1を引いた数で指定します。たとえば、No.128のプログラムを指定する場合は、127の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

### [ パネル楽器リスト ]

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
001	000	112	001	グランドピアノ
002	000	112	002	ブライツピアノ
003	000	112	004	ホンキートンクピアノ
004	000	112	003	ミディグランドピアノ
005	000	113	003	CP80
006	000	112	007	ハーブシコード
エレピ				
007	000	114	005	クール! ギャラクシーエレクトリックピアノ
008	000	112	005	ファンキーエレクトリックピアノ
009	000	112	006	DXモダンエレクトリックピアノ
010	000	113	006	ハイパータイムズ
011	000	114	006	ビーナスエレクトリックピアノ
012	000	112	008	クラブ
オルガン				
013	000	118	019	クール! オルガン
014	000	112	017	ジャズオルガン1
015	000	113	017	ジャズオルガン2
016	000	112	018	クリックオルガン
017	000	116	017	ブライツオルガン
018	000	112	019	ロックオルガン
019	000	114	019	パープルオルガン
020	000	118	017	16'+2' オルガン
021	000	119	017	16'+4' オルガン
022	000	114	017	シアターオルガン
023	000	112	020	チャーチオルガン
024	000	113	020	チャペルオルガン
025	000	112	021	リードオルガン
アコーディオン				
026	000	113	022	トラディショナルアコーディオン
027	000	112	022	ミュゼットアコーディオン
028	000	113	024	バンドネオン
029	000	112	023	ハーモニカ
ギター				
030	000	112	025	クラシックギター
031	000	112	026	フォークギター
032	000	113	026	12弦ギター
033	000	112	027	ジャズギター
034	000	113	027	オクターブギター
035	000	112	028	クリーンギター
036	000	117	028	60年代風クリーンギター
037	000	112	029	ミュートギター
038	000	112	030	オーバードライブギター
039	000	112	031	ディストーションギター
ベース				
040	000	112	033	アコースティックベース
041	000	112	034	フィンガーベース
042	000	112	035	ピックベース
043	000	112	036	フレットレスベース
044	000	112	037	スラップベース
045	000	112	039	シンセベース
046	000	113	039	ハイQベース
047	000	113	040	ダンスベース
ストリングス				
048	000	112	049	ストリングス
049	000	112	050	チェンバーストリングス
050	000	112	051	シンセストリングス
051	000	113	050	スローストリングス
052	000	112	045	トレモロストリングス
053	000	112	046	ピチカートストリングス

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
054	000	112	041	バイオリン
055	000	112	043	チェロ
056	000	112	044	コントラバス
057	000	112	106	バンジョー
058	000	112	047	ハーブ
059	000	112	056	オーケストラヒット
コーラス				
060	000	112	053	コーラス
061	000	113	053	ボーカルアンサンブル
062	000	112	054	ボックスフマーナ
063	000	112	055	エアコーラス
サククス				
064	000	117	067	スイート! テナーサククス
065	000	113	065	スイート! ソプラノサククス
066	000	112	067	テナーサククス
067	000	112	066	アルトサククス
068	000	112	065	ソプラノサククス
069	000	112	068	バリトンサククス
070	000	114	067	ブレッシーテナーサククス
071	000	112	069	オーボエ
072	000	112	072	クラリネット
073	000	112	070	イングリッシュホルン
074	000	112	071	バスーン
トランペット				
075	000	115	057	スイート! トランペット
076	000	112	057	トランペット
077	000	112	060	ミュートトランペット
078	000	112	058	トロンボーン
079	000	113	058	トロンボーンセクション
080	000	112	061	フレンチホルン
081	000	112	059	チューバ
ブラス				
082	000	112	062	ブラスセクション
083	000	113	062	ビッグバンドブラス
084	000	119	062	メローホーン
085	000	112	063	シンセブラス
086	000	113	063	80年代風ブラス
087	000	114	063	テクノブラス
フルート				
088	000	114	074	スイート! フルード
089	000	113	076	スイート! パンフルード
090	000	112	074	フルード
091	000	112	073	ピッコロ
092	000	112	076	パンフルード
093	000	112	075	リコーダー
094	000	112	080	オカリナ
シンセリード				
095	000	112	081	矩形波リード
096	000	112	082	ノコギリ波リード
097	000	112	086	ボイスリード
098	000	112	099	スターダスト
099	000	112	101	ブライツネス
100	000	115	082	アナログ
101	000	119	082	ファゴ
シンセパッド				
102	000	112	089	ファンタジア
103	000	113	101	ベルパッド
104	000	112	092	ゼノンパッド
105	000	112	095	イクイノックス
106	000	113	090	ダークムーン

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
<b>パーカッション</b>				
107	000	112	012	ビブラフォン
108	000	112	013	マリンバ
109	000	112	014	シロフォン
110	000	112	115	スチールドラム
111	000	112	009	チェレスタ
112	000	112	011	ミュージックボックス
113	000	112	015	チューブラーベル
114	000	112	048	ティンパニ
<b>ドラムキット</b>				
115	127	000	001	スタンダードキット1
116	127	000	002	スタンダードキット2
117	127	000	009	ルームキット
118	127	000	017	ロックキット
119	127	000	025	エレクトロニックキット
120	127	000	026	アナログキット
121	127	000	028	ダンスキット
122	127	000	033	ジャズキット
123	127	000	041	ブラッシュキット
124	127	000	049	シンフォニーキット
125	126	000	001	SFXキット1
126	126	000	002	SFXキット2

[XGlite 楽器 / XGlite オプション楽器 \* リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
<b>ピアノ</b>				
127	000	000	001	グランドピアノ
128	000	001	001	グランドピアノ KSP
129	000	040	001	ピアノストリングス
130	000	041	001	ドリーム
131	000	000	002	ブライトピアノ
132	000	001	002	ブライトピアノ KSP
133	000	000	003	エレクトリックグランドピアノ
134	000	001	003	エレクトリックグランドピアノ KSP
135	000	032	003	デチューンド CP 80
136	000	000	004	ホンキートンク ピアノ
137	000	001	004	ホンキートンク ピアノ KSP
138	000	000	005	エレクトリック ピアノ 1
139	000	001	005	エレクトリック ピアノ 1 KSP
140	000	032	005	コーラス エレクトリック ピアノ 1
141	000	000	006	エレクトリック ピアノ 2
142	000	001	006	エレクトリック ピアノ 2 KSP
*143	000	032	006	コーラス エレクトリック ピアノ 2
144	000	041	006	DX+アナログ エレクトリック ピアノ
145	000	000	007	ハーブシコード
146	000	001	007	ハーブシコード KSP
147	000	035	007	ハーブシコード 3
148	000	000	008	クラビ
149	000	001	008	クラビ KSP
<b>クロマティック</b>				
150	000	000	009	チェレスタ
151	000	000	010	グロッケンシュピール
152	000	000	011	ミュージックボックス
153	000	064	011	オルゴール
154	000	000	012	ビブラフォン
155	000	001	012	ビブラフォン KSP
156	000	000	013	マリンバ
157	000	001	013	マリンバ KSP
158	000	064	013	サインマリンバ
159	000	097	013	バリオン
160	000	098	013	ログドラム
161	000	000	014	シロフォン
162	000	000	015	チューブラーベル
163	000	096	015	チャーチベル
164	000	097	015	カリヨン
165	000	000	016	ダルシマー
166	000	035	016	ダルシマー 2
167	000	096	016	ツィンパロン
168	000	097	016	サントウル
<b>オルガン</b>				
169	000	000	017	ドローパー オルガン

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
170	000	032	017	デチューンド ドローパー オルガン
171	000	033	017	60's ドローパー オルガン 1
172	000	034	017	60's ドローパー オルガン 2
173	000	035	017	70's ドローパー オルガン 1
174	000	037	017	60's ドローパー オルガン 3
175	000	040	017	16'+2' 2/3
176	000	064	017	オルガンベース
177	000	065	017	70's ドローパー オルガン 2
178	000	066	017	チージー オルガン
179	000	067	017	ドローパー オルガン 3
180	000	000	018	パーカッシブ オルガン
181	000	024	018	70's パーカッシブ オルガン
182	000	032	018	デチューンド パーカッシブ オルガン
183	000	033	018	ライト オルガン
184	000	037	018	パーカッシブ オルガン 2
185	000	000	019	ロック オルガン
186	000	064	019	ロータリー オルガン
187	000	065	019	スロー ローター
188	000	066	019	ファスト ローター
189	000	000	020	チャーチ オルガン
190	000	032	020	チャーチ オルガン 3
191	000	035	020	チャーチ オルガン 2
192	000	040	020	ノートル ダム
193	000	064	020	オルガン フルート
194	000	065	020	トレモロ オルガン フルート
195	000	000	021	リード オルガン
196	000	040	021	パフ オルガン
197	000	000	022	アコーディオンF
198	000	000	023	ハーモニカ
199	000	032	023	ハーモニカ 2
200	000	000	024	タンゴアコーディオン
201	000	064	024	タンゴアコーディオン 2
<b>ギター</b>				
202	000	000	025	ナイロン弦 ギター
203	000	043	025	ペロシティギター-ハーモニクス
204	000	096	025	ウクレレ
205	000	000	026	スチール弦 ギター
206	000	035	026	12弦ギター
207	000	040	026	ナイロン&スチール弦 ギター
208	000	041	026	スチール弦ギター&ボディ サウンド
209	000	096	026	マンダリン
210	000	000	027	ジャズギター
211	000	032	027	ジャズアンプ
212	000	000	028	クリーンギター
213	000	032	028	コーラスギター
214	000	000	029	ミュートギター
215	000	040	029	ファンクギター 1
216	000	041	029	ミュートスチール弦ギター
217	000	045	029	ジャズマン
218	000	000	030	オーバードライブギター
219	000	043	030	ギターピンチ
220	000	000	031	ディストーションギター
221	000	040	031	フィードバックギター
222	000	041	031	フィードバックギター 2
223	000	000	032	ギターハーモニクス
224	000	065	032	ギターフィードバック
225	000	066	032	ギターハーモニクス 2
<b>ベース</b>				
226	000	000	033	アコースティックベース
227	000	040	033	ジャズリズム
228	000	045	033	ペロシティクロスフェードアップライトベース
229	000	000	034	フィンガーベース
230	000	018	034	フィンガーダーク
231	000	040	034	ベース & ディストーションギター
232	000	043	034	フィンガースラップベース
233	000	045	034	フィンガーベース 2
234	000	065	034	モジュレートッドベース
235	000	000	035	ピックベース
236	000	028	035	ミュートピックベース
237	000	000	036	フレットレスベース
238	000	032	036	フレットレスベース 2
239	000	033	036	フレットレスベース 3
240	000	034	036	フレットレスベース 4
241	000	000	037	スラップベース 1

# 楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
242	000	032	037	パンチサム ベース
243	000	000	038	スラップ ベース 2
244	000	043	038	ペロシティ スイッチ スラップ
245	000	000	039	シンセ ベース 1
246	000	040	039	テクノ シンセ ベース
247	000	000	040	シンセ ベース 2
248	000	006	040	メロー シンセ ベース
249	000	012	040	シーケンスド ベース
250	000	018	040	クリック シンセ ベース
251	000	019	040	シンセ ベース 2ダーク
*252	000	040	040	モジュラー シンセ ベース
253	000	041	040	DX ベース
<b>ストリングス</b>				
254	000	000	041	バイオリン
255	000	008	041	スロー バイオリン
256	000	000	042	ビオラ
257	000	000	043	チェロ
258	000	000	044	コントラバス
259	000	000	045	トレモロ ストリングス
260	000	008	045	スロー トレモロ ストリングス
261	000	040	045	サスペンス ストリングス
262	000	000	046	ピチカート ストリングス
263	000	000	047	ハーブ
264	000	040	047	ヤンチン
265	000	000	048	ティンパニ
<b>アンサンブル</b>				
266	000	000	049	ストリングス 1
267	000	003	049	ステレオ ストリングス
268	000	008	049	スロー ストリングス
269	000	035	049	60's ストリングス
270	000	040	049	オーケストラ
271	000	041	049	オーケストラ 2
272	000	042	049	トレモロ オーケストラ
273	000	045	049	ペロシティ ストリングス
274	000	000	050	ストリングス 2
275	000	003	050	ステレオ スロー ストリングス
276	000	008	050	レガート ストリングス
277	000	040	050	ウォーム ストリングス
278	000	041	050	キングダム
279	000	000	051	シンセ ストリングス 1
280	000	000	052	シンセ ストリングス 2
281	000	000	053	クワイアアー
282	000	003	053	ステレオ クワイア
283	000	032	053	メロー クワイア
284	000	040	053	クワイア ストリングス
285	000	000	054	ボイス ウー
286	000	000	055	シンセ ボイス
287	000	040	055	シンセ ボイス 2
288	000	041	055	コラル
289	000	064	055	アナログ ボイス
290	000	000	056	オーケストラ ヒット
291	000	035	056	オーケストラ ヒット 2
292	000	064	056	インパクト
<b>ブラス</b>				
293	000	000	057	トランペット
294	000	032	057	ウォーム トランペット
295	000	000	058	トロンボーン
296	000	018	058	トロンボーン 2
297	000	000	059	チューバ
298	000	000	060	ミュート トランペット
299	000	000	061	フレンチホルン
300	000	006	061	フレンチホルン ソロ
301	000	032	061	フレンチホルン 2
302	000	037	061	ホルン オーケストラ
303	000	000	062	ブラス セクション
304	000	035	062	トランペット & トロンボーン セクション
305	000	000	063	シンセ ブラス 1
306	000	020	063	レゾナント シンセ ブラス
307	000	000	064	シンセ ブラス 2
308	000	018	064	ソフト ブラス
309	000	041	064	クワイア ブラス
<b>リード</b>				
310	000	000	065	ソプラノ サックス
311	000	000	066	アルト サックス
312	000	040	066	サックス セクション

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
313	000	000	067	テナー サックス
314	000	040	067	ブレッシー テナー サックス
315	000	000	068	バリトン サックス
316	000	000	069	オーボエ
317	000	000	070	イングリッシュホルン
318	000	000	071	バスーン
319	000	000	072	クラリネット
<b>パイプ</b>				
320	000	000	073	ピッコロ
321	000	000	074	フルート
322	000	000	075	リコーダー
323	000	000	076	パンフルート
324	000	000	077	ポトル
325	000	000	078	尺八
326	000	000	079	口笛
327	000	000	080	オカリナ
<b>シンセ リード</b>				
328	000	000	081	スクエアリード
329	000	006	081	スクエアリード 2
330	000	008	081	LM スクエア
331	000	018	081	ハロー
332	000	019	081	シュラウド
333	000	064	081	メロー
334	000	065	081	ソロ サイン
335	000	066	081	サインリード
336	000	000	082	ソートゥース リード
337	000	006	082	ソートゥース リード 2
338	000	008	082	シック ソートゥース
339	000	018	082	ダイナミック ソートゥース
340	000	019	082	デジタル ソートゥース
341	000	020	082	ビッグリード
342	000	096	082	シーケンスド アナログ
343	000	000	083	カリオベリード
344	000	065	083	ピュアパッド
345	000	000	084	チフリード
346	000	000	085	チャランリード
347	000	064	085	ディステーションリード
348	000	000	086	ボイス リード
349	000	000	087	5度 リード
350	000	035	087	ビッグファイブ
351	000	000	088	ベース & リード
352	000	016	088	ビッグ & ロー
353	000	064	088	ファット & パーキー
354	000	065	088	ソフトホワール
<b>シンセ パッド</b>				
355	000	000	089	ニューエイジパッド
356	000	064	089	ファンタジー
357	000	000	090	ウォームパッド
358	000	000	091	ボリ シンセ パッド
359	000	000	092	クワイアパッド
360	000	066	092	アイトピア
361	000	000	093	ボウダパッド
362	000	000	094	メタリックパッド
363	000	000	095	ハローパッド
364	000	000	096	スイープパッド
<b>シンセ エフェクト</b>				
365	000	000	097	レイン
366	000	065	097	アフリカン ウィンド
367	000	066	097	カリブ
368	000	000	098	サウンドトラック
369	000	027	098	プロローグ
370	000	000	099	クリスタル
371	000	012	099	シンセドラム コンブ
372	000	014	099	ポップコーン
373	000	018	099	タイニーベル
374	000	035	099	ラウンドグロックンシュピール
375	000	040	099	グロックンシュピール チャイム
376	000	041	099	クリアベル
377	000	042	099	コーラスベル
378	000	065	099	ソフトクリスタル
379	000	070	099	エアベル
380	000	071	099	ベルハーブ
381	000	072	099	ガムリンバ
382	000	000	100	アトモスフィア
383	000	018	100	ウォームアトモスフィア

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
384	000	019	100	ハロー リリース
385	000	040	100	ナイロン エレクトリック ピアノ
386	000	064	100	ナイロン ハープ
387	000	065	100	ハープ ボックス
388	000	066	100	アトモスフィア パッド
389	000	000	101	ブライトネス
390	000	000	102	ゴブリン
391	000	064	102	ゴブリン シンセ
392	000	065	102	クリーパー
393	000	067	102	リチュアル
394	000	068	102	トゥーヘブン
395	000	070	102	ナイト
396	000	071	102	グリズン
397	000	096	102	ベルクワイア
398	000	000	103	エコー
399	000	000	104	サイエンスフィクション
ワールド				
400	000	000	105	シタール
401	000	032	105	デチューンド シタール
402	000	035	105	シタール 2
403	000	097	105	タンブーラ
404	000	000	106	バンジョー
405	000	028	106	ミュート バンジョー
406	000	096	106	ラバープ
407	000	097	106	ゴビチャント
408	000	098	106	ウード
409	000	000	107	三味線
410	000	000	108	琴
411	000	096	108	大正琴
412	000	097	108	カヌーン
413	000	000	109	カリンバ
414	000	000	110	バグパイプ
415	000	000	111	フィドル
416	000	000	112	シャナイ
パーカッション				
417	000	000	113	ティンクル ベル
418	000	096	113	ボナン
419	000	097	113	アルタイル
420	000	098	113	ガムラン
421	000	099	113	ステレオ ガムラン
422	000	100	113	ラマシンバル
423	000	000	114	アゴゴ
424	000	000	115	スチール ドラム
425	000	097	115	グラス パーカッション
426	000	098	115	タイベル
427	000	000	116	ウッドブロック
428	000	096	116	カスタネット
429	000	000	117	和太鼓
430	000	096	117	グランカッサ
431	000	000	118	メロディック タム
432	000	064	118	メロディック タム 2
433	000	065	118	リアル タム
434	000	066	118	ロック タム
435	000	000	119	シンセドラム
436	000	064	119	アナログ タム
437	000	065	119	エレクトロニック パーカッション
438	000	000	120	リバース シンバル
サウンド エフェクト				
439	000	000	121	フレット ノイズ
440	000	000	122	プレス ノイズ
441	000	000	123	海辺
442	000	000	124	鳥のさえずり 1
443	000	000	125	電話 1
444	000	000	126	ヘリコプター
445	000	000	127	拍手
446	000	000	128	銃声
447	064	000	001	カッチェン グ ノイズ 1
448	064	000	002	カッチェン グ ノイズ 2
449	064	000	004	ベース ストリングス スラップ
450	064	000	017	フルート キー クリック
451	064	000	033	雨
452	064	000	034	雷
453	064	000	035	風
454	064	000	036	せせらぎ
455	064	000	037	泡

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
456	064	000	038	フィード
457	064	000	049	犬
458	064	000	050	馬
459	064	000	051	鳥のさえずり 2
460	064	000	056	マオウ
461	064	000	065	フォン コール
462	064	000	066	ドアのきしみ
463	064	000	067	ドアを閉める
464	064	000	068	スクラッチ カット
465	064	000	069	スクラッチ スプリット
466	064	000	070	ウィンド チャイム
467	064	000	071	電話 2
468	064	000	081	イグニッション
469	064	000	082	タイヤ
470	064	000	083	レーシング カー
471	064	000	084	衝突
472	064	000	085	サイレン
473	064	000	086	列車
474	064	000	087	ジェット機
475	064	000	088	スターシップ
476	064	000	089	バースト
477	064	000	090	ローラー コースター
478	064	000	091	サブマリン
479	064	000	097	笑い声
480	064	000	098	悲鳴
481	064	000	099	バンチ
482	064	000	100	心音
483	064	000	101	足音
484	064	000	113	マシンガン
485	064	000	114	レーザーガン
486	064	000	115	爆発
487	064	000	116	花火

\*楽器No.の前に\*が付いているものがXGliteオプション楽器です。



# ドラムキットリスト

- ※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。
- ※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。
- ※ この楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。
- ※ 「Alternate assign」欄のオルタネート番号1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。
- ※ 「Key off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります(キーオフされます)。

	楽器No.						115	116	117	118	119	120
	MSB(0-127)/LSB(0-127)/PC(1-128)						127/000/001	127/000/002	127/000/009	127/000/017	127/000/025	127/000/026
	Keyboard	MIDI	Key	Alternate			スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトリックキット	アナログキット
NoteNo.	Note	NoteNo.	Note	off	assign							
E0												
F0	F#0											
G0	G#0											
A0	A#0											
B0												
C1	C#1											
D1	D#1											
E1												
F1	F#1											
G1	G#1											
A1	A#1											
B1												
C2	C#2											
D2	D#2											
E2												
F2	F#2											
G2	G#2											
A2	A#2											
B2												
C3	C#3											
D3	D#3											
E3												
F3	F#3											
G3	G#3											
A3	A#3											
B3												
C4	C#4											
D4	D#4											
E4												
F4	F#4											
G4	G#4											
A4	A#4											
B4												
C5	C#5											
D5	D#5											
E5												
F5	F#5											
G5	G#5											
A5	A#5											
B5												
C6	C#6											
D6	D#6											
E6												
F6	F#6											
G6												





# スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
8ビート	
001	8ビートモダン
002	60's ギターポップ
003	8ビートアドリア
004	60's 8ビート
005	8ビート
006	オフビート
007	60's ロック
008	ハードロック
009	ロックシャッフル
010	8ビートロック
16ビート	
011	16ビート
012	ポップシャッフル 1
013	ポップシャッフル 2
014	ギターポップ
015	16ビートアップテンポ
016	クールシャッフル
017	ジャズロック
018	ヒップホップライト
バラード	
019	ピアノバラード
020	ラブソング
021	6/8 モダンエレピ
022	6/8 スローロック
023	オルガンバラード
024	ポップバラード
025	16ビートバラード 1
026	16ビートバラード 2
ダンス	
027	ユーロトランス
028	イビサ
029	ハウスムジーク
030	スイングハウス
031	テクノボリス
032	クラブダンス
033	クラブラテン
034	ガラージ 1
035	ガラージ 2
036	テクノパーティー
037	UK ポップ
038	ヒップホップグループ
039	ヒップシャッフル
040	ヒップホップポップ
ディスコ	
041	70's ディスコ 1
042	70's ディスコ 2
043	ラテンディスコ
044	ディスコフィリー
045	サタデーナイト
046	ディスコチョコレート
047	ディスコハンズ
スイング&ジャズ	
048	BigBand ファスト
049	BigBand ミディアム
050	BigBand バラード
051	BigBand シャッフル
052	ジャズクラブ
053	スイング 1
054	スイング 2
055	5ビート

スタイル No.	スタイル名
056	ジャズバラード
057	ディキシーランド
058	ラグタイム
059	アフロキューバン
060	チャールストン
リズム&ブルース	
061	ソウル
062	デトロイトポップ 1
063	60's ロックンロール
064	6/8 ソウル
065	クロコツイスト
066	ロックンロール
067	デトロイトポップ 2
068	ブギーウギー
069	コンボブギー
070	6/8 ブルース
カントリー	
071	カントリー 8ビート
072	カントリーポップ
073	カントリースイング
074	カントリー 2/4
075	カウボーイブギー
076	カントリーシャッフル
077	ブルーグラス
ラテン	
078	ブラジリアンサンバ
079	ボサノバ
080	ポップボサ
081	ティファナ
082	ディスコラテン
083	マンボ
084	サルサ
085	ビギン
086	ギタールンバ
087	ルンバフラメンカ
088	ルンバアイランド
089	レゲエ
ボールルーム	
090	ウィンナーワルツ
091	イングリッシュワルツ
092	スローフォックス
093	フォックストロット
094	クイックステップ
095	タンゴ
096	パソドブレ
097	サンバ
098	チャチャチャ
099	ルンバ
100	ジャイブ
トラディショナル	
101	US マーチ
102	6/8 マーチ
103	ジャーマンマーチ
104	ポルカポップ
105	ポルカオーバークライナー
106	タランテラ
107	ショーチューン
108	クリスマススイング
109	クリスマスワルツ
110	スコティッシュリール
111	ハワイアン

スタイル No.	スタイル名
ワルツ	
112	ギターセレナーデ
113	スイングワルツ
114	ジャズワルツ 1
115	ジャズワルツ 2
116	カントリーワルツ
117	ワルツオーバークライナー
118	ミュゼット
DJ	
119	DJ- ヒップホップ
120	DJ- ダンススイング
121	DJ- ハウス
122	DJ- ガラージハウス
123	DJ- ポップ R&B
ピアニスト	
124	ストライド
125	ピアノスイング
126	ピアノラグ
127	アルペジオ
128	ミュージカル
129	ハバネラ
130	スローロック
131	8ビートピアノバラード
132	ピアノマーチ
133	6/8 ピアノマーチ
134	ピアノワルツ
135	ピアノビギン



# ソングリスト

## ●内蔵ソング

ソング No.	ソング名
お気に入り	
001	ドント・ノー・ホワイ (Jesse Harris (Norah Jones))
002	私のお気に入り (Richard Rodgers)
003	やさしく歌って (Charles Fox (Roberta Flack))
簡単メロディ	
004	ダウン・バイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
005	線路は続くよどこまでも (Traditional)
006	なつかしのバージニア (James A. Bland)
007	庭の千草 (Thomas Moore)
008	牧人ひつじを (Traditional)
ピアニスト	
009	エンターテイナー (S. Joplin)
010	グリーンスリーブス (Traditional)
011	ロンドンデリーの歌 (Traditional)
012	トロイメライ (R. Schumann)
013	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 3番 牧歌 (J.F. Burgmüller)
オルガニスト	
014	結婚行進曲 (F. Mendelssohn)
015	父なる御神に (N. Decius)
016	目覚めよと呼ぶ声あり (J.S. Bach)
チャレンジ曲	
017	ベートーベンのメヌエット (L.v. Beethoven)
018	前奏曲 作品28の7 (F. Chopin)
019	野ばらに寄す (E.A. Macdowell)
020	エリーゼのために (L.v. Beethoven)
021	別れの曲 (F. Chopin)
バンドプレイ	
022	オーラ・リー (G. Poulton)
023	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
024	よろこびのうた (L.v. Beethoven)
デュエット	
025	アビニョンの橋の上で (Traditional)
026	きらきら星 (Traditional)
027	マッフィン・マン (Traditional)
クリスマス	
028	もろびとこぞりて (G.F. Händel)
029	シューベルトのアベマリア (F. Schubert)
030	ジングル・ベル (Traditional)

## ●アクセサリ CD-ROM内のMIDIソング 70曲

ファイル名	ソング名
AMERICA	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)
ATHOME	故郷の人々 (S.C. Foster)
AURALEE	オーラ・リー (G. Poulton)
BABBINO	私のお父さん (ジャンニ・スキッキより) (G. Puccini)
BANJO	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)
BILLBAIL	ビル・ベイリ (帰っておいでよ) (H. Cannon)
BROWNJUG	茶色の小瓶 (Traditional)
CAMPTOWN	草競馬 (S.C. Foster)
CANON	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
D_AGSTIN	かわいいオーガスティン (DUET) (Traditional)
D_CHTREE	もみの木 (DUET) (Traditional)
D_CLOSE	むすんでひらいて (DUET) (J.J. Rousseau)
D_CUCKOO	かっこう (DUET) (Traditional)
D_IMMAI	ちょうちょ (DUET) (Traditional)
D_INDIAN	10人のインディアン (DUET) (Septimus Winner)
D_LONDON	ロンドン橋 (DUET) (Traditional)
D_MARY	メリーさんのひつじ (DUET) (Traditional)
D_ROWROW	こげこげボート (DUET) (Traditional)
D_SCARBO	スカボロ・フェア (DUET) (Traditional)

ファイル名	ソング名
D_SMOKY	オン・トップ・オブ・オールド・スモキー (DUET) (Traditional)
D_THREE	3匹のいたずらねずみ (DUET) (Traditional)
D_WEASEL	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (DUET) (Traditional)
D_WEWISH	おめでとうクリスマス (DUET) (Traditional)
DANUBEWA	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)
FRULIED	春の歌 (F. Mendelssohn)
FRUSTIME	円舞曲「春の声」(J. Strauss II)
FUNICULA	フニクリ・フニクラ (L. Denza)
GAVOTTE	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)
GUILLAUM	ウィリアム・テル序曲 (G. Rossini)
IRISHEYE	アイルランド人のほほ笑みはほほ笑むアイルランドの娘 (E.R. Ball)
JOYOFMAN	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)
LIEBEST3	愛の夢 第3番 (F. Liszt)
LOMOND	ロッホ・ローモンド (Traditional)
LORELEI	ローレライ (F. Silcher)
MAGICFLT	歌劇「魔笛」より (W.A. Mozart)
MIRLITON	葦笛の踊り (くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
MONDSHIN	月光の曲 (L.v. Beethoven)
MUSSIDEN	別れ (F. Silcher)
MYBONNIE	マイ・ボニー (Traditional)
ORPHEE	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)
P_ANGELS	天使のセレナーデ (Traditional)
P_ARABES	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 2番 アラベスク (J.F. Burgmüller)
P_CANDEU	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 1番 すなおな心 (J.F. Burgmüller)
P_CHEVAL	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 25番 貴婦人の乗馬 (J.F. Burgmüller)
P_CONSOL	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 13番 なぐさめ (J.F. Burgmüller)
P_INOCEN	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 5番 無邪気 (J.F. Burgmüller)
P_MENUUBA	バッハのメヌエット (J.S. Bach)
P_MENUUBO	ポッケリーニのメヌエット (L. Boccherini)
P_MOMENT	楽興の時 第3番 (F. Schubert)
P_PCHIEN	小犬のワルツ (F. Chopin)
P_PETITE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 4番 こどもの集会 (J.F. Burgmüller)
P_PROGRE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 6番 進歩 (J.F. Burgmüller)
P_SARAFa	赤いサラファン (Traditional)
P_TENDRE	(ブルグミュラー：25の練習曲から) 10番 やさしい花 (J.F. Burgmüller)
P_TMARCH	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)
P_VIOLET	すみれ (Streabog)
PEARLFIS	真珠採りの歌 (G. Bizet)
PRIMVERA	四季より「春」(A. Vivaldi)
SAINTSGO	聖者の行進 (Traditional)
SERENAHY	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)
SILENTNT	きよしの夜 (F. Gruber)
SLAVON10	スラヴ舞曲第10番 (A. Dvořák)
SURPRISE	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)
SUSANNA	おお、スザンナ (S.C. Foster)
SYMPHO9	よろこびのうた (L.v. Beethoven)
THAIS	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)
TOREADOR	闘牛士の歌 (G. Bizet)
TURKEY	わらの中の七面鳥 (Traditional)
UNGARIS5	ハンガリー舞曲 第5番 (J. Brahms)
VOGLEIN	小鳥ならば (Traditional)

ファイル名の先頭に“P\_”のマークが付いたファイルはコード情報を含まないため、パフォーマンスアシスタント機能とイージーソングアレンジャー機能は使えません。



# エフェクトタイプリスト

## [ハーモニータイプリスト]

No.	タイプ	解説
01	Duet (デュエット)	ハーモニータイプ01～05は、メロディ音(右手演奏)に対して、1音～3音のハーモニー音が付加されます。 これらハーモニータイプ01～05は、スタイル動作時に自動伴奏鍵域でコードが指定された場合に機能します。また、コード情報を含んだソングを再生したときも機能します。
02	Trio (トリオ)	
03	Block (ブロック)	
04	Country (カントリー)	
05	Octave (オクターブ)	
06	Trill 1/4 (トリル1/4)	ハーモニータイプ06～26は、メロディ音(右手演奏)に対して、同じ音程の音が遅れたり鳴ったり、最後に押した2つの音どうしが交互に鳴ったりします。 これらハーモニータイプ06～26は、スタイルのオン/オフに関係なく効果がかかりますが、その効果のスピードはテンポの設定に従い、スタイルオン時にはリズムに同期します。 3連符の設定も可能です。  <ul style="list-style-type: none"> <li>トリルエフェクトタイプ(06～12)：2つの音を押しえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードでくり返し発音します。</li> <li>トレモロエフェクトタイプ(13～19)：メロディに、選ばれたスピードのトレモロ効果がかかります。</li> <li>エコーエフェクトタイプ(20～26)：メロディに、選ばれたスピードのエコー(こだま)効果がかかります。</li> </ul>
07	Trill 1/6 (トリル1/6)	
08	Trill 1/8 (トリル1/8)	
09	Trill 1/12 (トリル1/12)	
10	Trill 1/16 (トリル1/16)	
11	Trill 1/24 (トリル1/24)	
12	Trill 1/32 (トリル1/32)	
13	Tremolo 1/4 (トレモロ1/4)	
14	Tremolo 1/6 (トレモロ1/6)	
15	Tremolo 1/8 (トレモロ1/8)	
16	Tremolo 1/12 (トレモロ1/12)	
17	Tremolo 1/16 (トレモロ1/16)	
18	Tremolo 1/24 (トレモロ1/24)	
19	Tremolo 1/32 (トレモロ1/32)	
20	Echo 1/4 (エコー 1/4)	
21	Echo 1/6 (エコー 1/6)	
22	Echo 1/8 (エコー 1/8)	
23	Echo 1/12 (エコー 1/12)	
24	Echo 1/16 (エコー 1/16)	
25	Echo 1/24 (エコー 1/24)	
26	Echo 1/32 (エコー 1/32)	

## [リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解説
01～03	Hall 1～3 (ホール1～3)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
04～05	Room 1～2 (ルーム1～2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
06～07	Stage 1～2 (ステージ1～2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
08～09	Plate 1～2 (プレート1～2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

## [コーラスタイプリスト]

No.	タイプ	解説
01～02	Chorus 1～2 (コーラス1～2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
03～04	Flanger 1～2 (フランジャー 1～2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
05	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。





# MIDIデータフォーマット

- MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、自動伴奏、およびソングに影響します。
  - MIDIマスターチューン
  - リバース、コーラスの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、スタイルまたはハーモニー演奏中に送信されることがあります。
- エクスクルーシブ
  - <GMシステムオン>  
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
    - MIDI マスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。
  - <MIDIマスターボリューム>  
F0H, 7EH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H
    - 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
    - mm の値を MIDI マスターボリューム値として使用します。(IIは無視)
  - <MIDIマスターチューニング>  
F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mm, II, cc, F7H
    - 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
    - mm, IIの値をMIDIマスターチューニング値として使用します。
    - mm, IIのデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。

- <リバーブタイプ>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H
  - II: リバーブタイプMSB
  - mm: リバーブタイプLSB
 詳細はエフェクトマップを参照してください。
- <コーラスタイプ>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, IIH, mmH, F7H
  - II: コーラスタイプMSB
  - mm: コーラスタイプLSB
 詳細はエフェクトマップを参照してください。
- スタイルやソングのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH (スタイルのスタート)、FCH (スタイルのストップ)を受信します。
- ローカル オン/オフ
  - <ローカル オン> Bn, 7A, 7F
  - <ローカル オフ> Bn, 7A, 00
    - n: 無視されます。

## ■ エフェクトマップ .....

- TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、受信LSBの値以下で、エフェクトタイプを持つ最大のLSBのタイプとなります。
- ( )内の番号/名前はパネルディスプレイ上でのものです。

### [ リバース ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(01)Hall1				(02)Hall2	(03)Hall3				
002	Room					(04)Room1		(05)Room2		
003	Stage				(06)Stage1	(07)Stage2				
004	Plate				(08)Plate1	(09)Plate2				
005...127	No Effect									

### [ コーラス ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000...063	No Effect									
064	Thru									
065	Chorus		(02)Chorus2							
066	Celeste					(01)Chorus1				
067	Flanger			(03)Flanger1		(04)Flanger2				
068...127	No Effect									



# さくいん

## アルファベット順

▲、▼	13, 44, 62
A ↔ B	13, 57
	13, 58
◀	13, 58
▶	13, 58
▶■	13, 24, 25, 30, 44
↙	43

<b>A</b>	
ABリピート	13, 57
ACMP ON/OFF	13, 24
ACMP表示	24

<b>C</b>	
CD-ROM	70
Chorus Type	47, 63, 86

<b>D</b>	
D. Chorus Level	50, 63
D. Octave	50, 63
D. Pan	50, 63
D. Reverb Level	50, 63
D. Volume	50, 63
DC IN 12V 端子	10, 13
DEMO	13, 17
Demo Cancel	64
Dictionary	55
DUAL	13, 19

<b>E</b>	
EASY SONG ARRANGER	13, 36
External Clock	64, 66

<b>F</b>	
FUNCTION画面(設定)	13, 62

<b>G</b>	
Grade	34, 64

<b>H</b>	
HARMONY	13, 26
Harmony Type	26, 27, 63, 86
Harmony Volume	50, 63

<b>I</b>	
Initial Send	64
INTRO/ENDING/rit.	13, 25, 28, 29

<b>K</b>	
Keyboard Out	64

<b>L</b>	
LESSON L/R	13, 32
LESSON MODE	13, 33
LESSON REPEAT & LEARN	13, 35
Local	64, 66
L-Part	64, 69

<b>M</b>	
M. Chorus Level	50, 63
M. Octave	50, 63
M. Pan	50, 63

M. Reverb Level	50, 63
M. Volume	50, 63
MAIN/AUTO FILL	13, 26
MASTER VOLUME	11, 43
MELODY L、MELODY R	38
MELODY VOICE CHANGE	37
MEMORY/BANK	13, 60
METRONOME	13, 48
MIDI	64, 65, 66
MIDIインプリメンテーションチャート	87
MIDIデータフォーマット	88

<b>P</b>	
PCモード	13, 64, 67
PERFORMANCE ASSISTANT	13, 14, 16
PHONES/OUTPUT 端子	11, 13
PITCH BEND ホイール	13, 22
PORTABLE GRAND	13, 22

<b>R</b>	
REC	13, 39
REGISTRATION MEMORY	13, 60, 61
Reverb Type	46, 63, 86
R-Part	64, 69

<b>S</b>	
S. Chorus Level	50, 63
S. Octave	50, 63
S. Pan	50, 63
S. Reverb Level	50, 63
S. Volume	50, 63
SMF	67
SONG	13, 30, 31
SONG MEMORY	13, 38, 39, 57
Song Out	64
Song Volume	57, 63
SPLIT	13, 20
Split Point	51, 63
STANDBY/ON	11, 13
START/STOP	13, 24, 30, 44
STYLE	13, 24
Style Out	64
Style Volume	52, 63
SUSTAIN 端子	11, 13
SYNC START	13, 25, 28
SYNC STOP	13, 28

<b>T</b>	
TEMPO/TAP	13, 17
Time Signature	48, 64
TOUCH	13, 22
Touch Sensitivity	49, 63
Transpose	58, 63
Tuning	58, 63

<b>U</b>	
USB-MIDIドライバー	66, 68, 70, 71
USB 端子	11, 13, 66

<b>V</b>	
VOICE	13, 18

<b>X</b>	
XGlite音色	6, 79

## アイウエオ順

### ア

アクセサリ CD-ROM ..... 7, 70

### イ

一時停止 ..... 13, 58  
イントロ/エンディング/rit.  
..... 13, 25, 28, 29

### エ

エフェクトタイプリスト ..... 86  
エフェクトマップ ..... 88

### オ

オプション ..... 77

### カ

外部クロックオン/オフ ..... 64, 66  
楽器音 ..... 18, 23, 59  
楽器リスト ..... 13, 78  
カテゴリーボタン ..... 13, 44, 62  
画面 ..... 45  
簡単ソングアレンジ ..... 13, 36  
乾電池 ..... 10  
乾電池交換の表示 ..... 10, 45

### キ

機能設定 ..... 62

### ク

グランドピアノ ..... 13, 22  
クリア ..... 41, 42  
くり返し(ABリピート) ..... 13, 57  
くり返し練習 ..... 13, 35

### コ

効果音 ..... 23  
コード ..... 25, 28, 38, 52,  
53, 54, 55, 56  
コードディクショナリー ..... 55  
コーラス ..... 47  
コーラスタイプリスト ..... 86  
故障かな?と思ったら ..... 75  
コンピューター .. 11, 31, 65, 66, 67

### サ

サステイン ..... 11

### シ

システムメッセージ ..... 65  
自動伴奏(スタイル) .. 24, 25, 28, 51  
自動伴奏鍵域 ..... 25  
仕様 ..... 77  
小節 ..... 35, 57  
初期化 ..... 42  
シンクロスタート ..... 13, 25, 28  
シンクロストップ ..... 13, 28

### ス

数字ボタン ..... 44  
スタート/ストップボタン  
..... 13, 24, 30, 44  
スタイル(自動伴奏) .. 13, 24, 28, 51  
スタイルオン/オフ ..... 13, 24  
スタイル音量 ..... 52, 63  
スタイルリスト ..... 84

スタンダードMIDIファイル(SMF) .... 67  
スプリット(ボイス) ..... 13, 20  
スプリットポイント ..... 20, 51, 63

### セ

全体音量 ..... 11, 13, 43

### ソ

ソフトウェアのご使用条件 ..... 74  
ソング ..... 12, 30, 31, 38  
ソング音量 ..... 57, 63  
ソングクリア ..... 41  
ソングブック ..... 7  
ソングメモリー .. 13, 38, 39, 41, 57  
ソングリスト ..... 85

### タ

ダイアル ..... 13, 44, 62  
タッチ感度 ..... 22, 49  
タッチレスポンス ..... 13, 22, 49

### チ

チャンネルメッセージ ..... 65  
チューニング ..... 58, 63

### テ

デモソング ..... 17, 64  
デュアルボイス ..... 13, 19, 63  
電源アダプター ..... 7, 10  
電源 切/入スイッチ ..... 11, 13  
転送 ..... 67, 68, 69  
テンポ ..... 17, 34, 48  
テンポ/タップ ..... 13, 17, 48

### ト

トラック ..... 38, 39, 41, 57  
トラッククリア ..... 41  
ドラムキット ..... 23  
ドラムキットリスト ..... 82  
トランスポーズ ..... 58, 63

### ナ

長く押す ..... 43

### ハ

ハーモニー ..... 13, 26, 50  
ハーモニー音量 ..... 50, 63  
ハーモニータイプ ..... 86  
バックアップ ..... 42  
パネルサステイン ..... 50, 63  
パフォーマンスアシスタント  
..... 13, 14, 16  
早送り ..... 13, 58  
バルクセンド ..... 64  
バンク ..... 60

### ヒ

ピッチベンド ..... 13, 22  
ピッチベンドレンジ ..... 63  
評価 ..... 34  
拍子 ..... 17, 48

### フ

ファンクション(FUNCTION)  
..... 13, 62, 63, 64  
フットスイッチ ..... 11, 50

譜面立て ..... 7  
フラッシュメモリー ..... 42  
プリセットソング ..... 31

### ヘ

ヘッドフォン ..... 11

### ホ

ボイス ..... 13, 18

### マ

巻戻し ..... 13, 58  
マルチフィンガリング ..... 53, 77

### メ

メイン/フィルイン ..... 13, 26  
メインボイス ..... 18, 63  
メトロノーム ..... 13, 48  
メモリー ..... 38, 60, 71  
メロディ音色 ..... 59

### ユ

ユーザーソング ..... 31, 38, 39

### リ

リバーブ ..... 46  
リバーブタイプリスト ..... 86

### レ

レジストレーションメモリー .... 13, 60  
レッスン ..... 13, 32, 35

### ロ

ローカルオン/オフ ..... 64, 66  
録音 ..... 13, 31, 38

### ワ

和文シート ..... 7  
ワンタッチセッティング ..... 49

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## ● 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。  
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号	
		京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市千川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 465-1158

## ◆ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL 053-460-5272

●受付日 月曜日～土曜日（日・祝日およびセンターの休業日を除く） ●受付時間 10:30～19:00

● <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

### 国内楽器営業本部

EM営業部 企画推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5476

### PA・DMI事業部

EKB営業部 CL・PK営業課 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

## ◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」  
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・よくあるご質問 (Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

# ヤマハ株式会社